

【資料編】

目次

資料編－ 1 行政区域内人口の推計	資-1
1 設定方法	資-1
2 行政区域内人口の推計の結果	資-2
3 各町の行政区域内人口の推計	資-3
資料編－ 2 ごみ排出量の推計	資-6
1 計画収集区域内人口	資-6
2 設定方法	資-6
3 各町の各種ごみ排出量の推計結果	資-10
4 和泊町におけるごみ排出量の推計	資-14
5 知名町におけるごみ排出量の推計	資-27
6 本圏域の排出抑制前のごみ排出量	資-40
資料編－ 3 排出抑制量	資-44
1 和泊町の減量化目標	資-44
2 知名町の減量化目標	資-59
3 本圏域の排出抑制後のごみ排出量（減量化目標値）	資-71

1 設定方法

本圏域における将来の行政区域内人口は、過去の実績の傾向から、将来の傾向を見定めることとします。ここでは、過去の実績を基に（一般に行政区域内人口は10年間、ごみ排出量は5年間）、厚生省水道環境部監修「ごみ処理施設構造指針解説」で解説されている5推計式（一次傾向線、二次傾向線、一次指数曲線、べき曲線、ロジスティック曲線）を用いて推計しました。

なお、推計式の採用にあたっては、過去の推移を反映するものとして、

- ①極端な増減を示すものを除く
- ②実績と傾向が似ているもの（過去の平均増減数に近いもの）
- ③相関性の高いもの

などの点に注目して採用式（採用する推計式）の選定を行いました。

◆図表 1-1 推計式の概要

推計式	概要	特性
一次傾向線 $Y = a + bX$	最も一般的な式であり使用頻度の高い式です。過去の実績値が漸増・漸減している場合等に良く適合するという経験則があり、採用されるケースが多くなっています。	①傾向を直線に置き換えたときの推計式です。 ②式のbはこの直線の勾配の値で、b正符号のとき上昇傾向となり、bが負符号のとき下降傾向となります。 ③見積りが少なく出る傾向があります。
二次傾向線 $Y = a + bX + cX^2$	本推計式は、増減の大きな傾向曲線を示す場合が多く、実績値によっては、傾向曲線の中に極値を含み、増減の逆転が生じる場合もあります。したがって、人口推計の場合、あまり整合性が良くありませんが、ごみ量の推計では、採用されることがあります。	①傾向を放物線に置き換えたときの推計式です。 ②通増的・通減的な増加または減少を示す曲線でありま す。 ③人口推定ではあまり整合性は良くありませんが、ごみ量の推計では用いられることがあります。
一次指数曲線 $Y = a \times b^x$	過去のデータが等比級数的な傾向の時に整合性が良いといわれています。したがって、発展性の強い都市以外では、推定値が大きくなる可能性があります。	①過去のデータの伸びを一定の比率で通増または通減させる推計式です。 ②増加あるいは減少傾向は急激になります。 ③過去のデータが等比級数的な傾向のときに整合性が良いといわれています。
べき曲線 $Y = c + b(X - 1)^a$	比較的整合性が良く、多くの都市の人口推定に適用できます。しかし、推定値が過大となるおそれもあるので十分な配慮が必要となります。	①過去のデータの伸びを徐々に増加させる推計式です。 ②実績値が増加し続ける条件で、最も適合性が良いとされています。 ③多くの都市の人口推定に適用できます。
ロジスティック曲線 $Y = c \div \{1 + e^{(b-x)}\}$	本推計式は、人口増加の法則の研究から導かれたものであり、一定年後に増加率が、最大となりその後増加率が減少して無限年後に飽和に達するような曲線式をもとにする方法で、大規模な都市の人口を推計する場合によく適用されます。	①前半は加速的に増加率が増加し、後半は次第に増加率が鈍化して、無限年数に飽和に達するような傾向を表わす推計式です。 ②S字曲線で表現することができます。

2 行政区域内人口の推計の結果

本圏域の行政区域内人口の予測結果を以下に示します。

過去 10 年間の実績は減少傾向にあり、今後も少子化による自然減少や本圏域からの転出者等に加え、工場立地や住宅開発等の予定もないため減少傾向を示すと考えられます。

本圏域の行政区域内人口は和泊町及び知名町の行政区域内人口の合計であり、各町の推計の結果、本計画目標年度である令和 9 年度の本圏域の行政区域内人口は、次のとおりとなります。

行政区域内人口：10,803 人

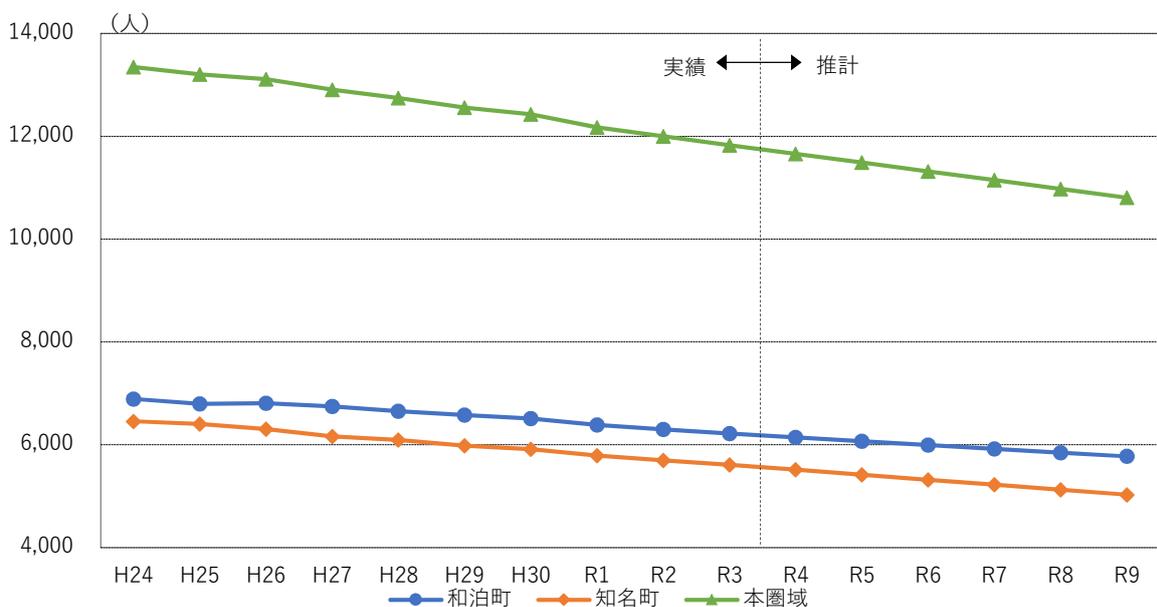
なお、現行計画における計画目標年度（令和 9 年度）の本圏域の行政区域内人口は 12,232 人であり、本計画と現行計画で 1,429 人の差異（-11.6%）が生じることが予測されます。

◆図表 1-2 本圏域における行政区域内人口の実績及び見通し

実績		単位：人									
項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
和泊町	6,891	6,798	6,809	6,743	6,650	6,576	6,510	6,384	6,299	6,216	
知名町	6,455	6,403	6,303	6,160	6,092	5,981	5,915	5,787	5,697	5,611	
本圏域	13,346	13,201	13,112	12,903	12,742	12,557	12,425	12,171	11,996	11,827	

推計						
項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9
和泊町	6,142	6,069	5,995	5,922	5,848	5,775
知名町	5,514	5,417	5,320	5,223	5,125	5,028
本圏域	11,656	11,486	11,315	11,145	10,973	10,803

◆図表 1-3 本圏域における行政区域内人口の推移



3 各町の行政区域内人口の推計

(1) 和泊町

推計結果を図表 1-4 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、減少傾向となっており、過去 10 年間の平均増減数は-75 人/年となっています。

推計結果は、「べき曲線」は増加傾向を示しましたが、その他の推計式は全て減少傾向を示しており、その中でも「一次傾向線」の平均増減数が最も近く、相関係数も高いことから、「一次傾向線」を採用することとします。

(2) 知名町

推計結果を表 1-5 に示します。

過去 10 年間の実績は、減少傾向となっており、過去 10 年間の平均増減数は-94 人/年となっています。

推計結果は、「べき曲線」は増加傾向を示しましたが、その他の推計式は全て減少傾向を示しており、その中でも「一次傾向線」の平均増減数が最も近く、相関係数が最も高いことから、「一次傾向線」を採用することとします。

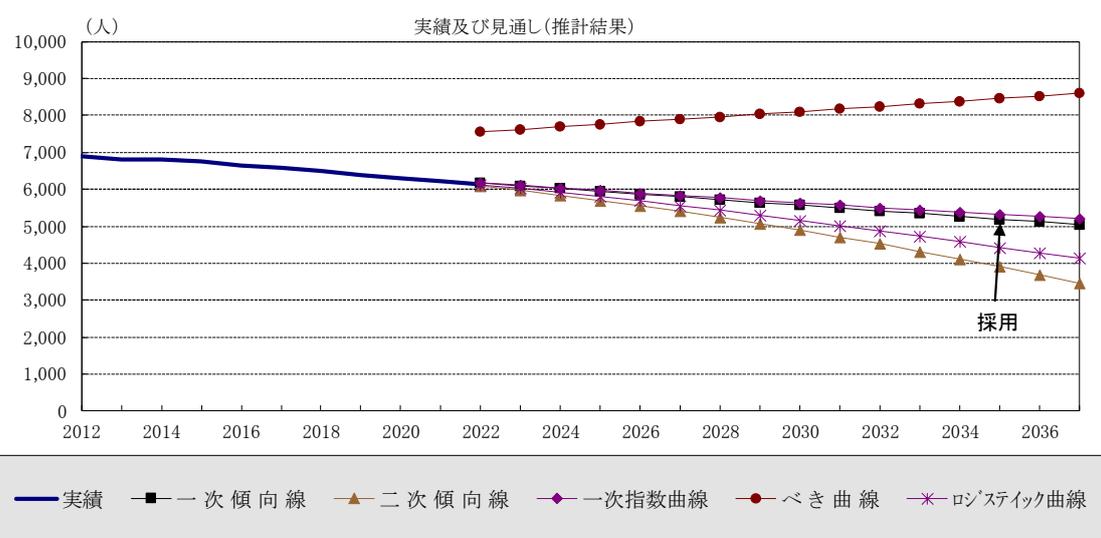
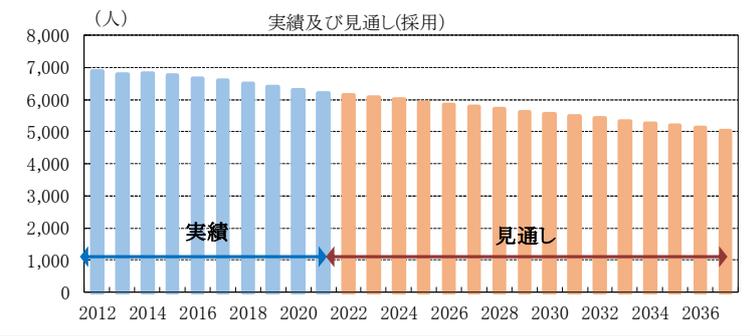
◆図表 1-4 和泊町における行政区域内人口の実績及び見通し

(単位:人)

和泊町		行政区域内人口		
西暦	tの値	採用値	増減数	
実績	2012	24	6,891	—
	2013	25	6,798	-93
	2014	26	6,809	11
	2015	27	6,743	-66
	2016	28	6,650	-93
	2017	29	6,576	-74
	2018	30	6,510	-66
	2019	31	6,384	-126
	2020	32	6,299	-85
	2021	33	6,216	-83
平均増減数		—	-75	

年度	tの値	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	6,142	-74	6,172	-44	6,087	-129	6,180	-36	7,554	1,338	6,125	-91
	2023	35	6,069	-73	6,097	-75	5,965	-122	6,109	-71	7,622	68	6,022	-103
	2024	36	5,995	-74	6,021	-76	5,836	-129	6,039	-70	7,692	70	5,914	-108
	2025	37	5,922	-73	5,945	-76	5,698	-138	5,970	-69	7,761	69	5,801	-113
	2026	38	5,848	-74	5,870	-75	5,553	-145	5,902	-68	7,830	69	5,683	-118
	2027	39	5,775	-73	5,794	-76	5,400	-153	5,834	-68	7,900	70	5,561	-122
	2028	40	5,701	-74	5,719	-75	5,240	-160	5,767	-67	7,970	70	5,433	-128
	2029	41	5,628	-73	5,643	-76	5,071	-169	5,701	-66	8,040	70	5,302	-131
	2030	42	5,554	-74	5,568	-75	4,895	-176	5,636	-65	8,110	70	5,166	-136
	2031	43	5,480	-74	5,492	-76	4,712	-183	5,571	-65	8,181	71	5,026	-140
2032	44	5,407	-73	5,417	-75	4,520	-192	5,507	-64	8,251	70	4,883	-143	
2033	45	5,333	-74	5,341	-76	4,321	-199	5,444	-63	8,322	71	4,736	-147	
2034	46	5,260	-73	5,265	-76	4,114	-207	5,382	-62	8,393	71	4,586	-150	
2035	47	5,186	-74	5,190	-75	3,899	-215	5,320	-62	8,464	71	4,434	-152	
2036	48	5,113	-73	5,114	-76	3,677	-222	5,259	-61	8,535	71	4,280	-154	
2037	49	5,039	-74	5,039	-75	3,447	-230	5,199	-60	8,606	71	4,125	-155	
15年間平均増減数		—	-74	—	-74	—	-173	—	-64	—	149	—	-131	

採用推計式	—	◎	—	—	—		
推計式	—	$Y_t=a+b \times t$	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	$Y_t=a+b^t$	$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$	
算定根拠	a=	—	8,740.82	5,634.45	9,142.02	60.72	-4.17
	b=	—	-75.552	144.676	0.989	1.038	-0.082
	c=	—	—	-3.864	—	—	—
	Y ₀ =	—	—	—	—	6,891.000	—
	t ₀ =	—	—	—	—	24.000	—
	K=	—	—	—	—	—	7,662.000
	r=	—	0.987976	0.996342	0.986105	0.989888	0.994804



◆図表 1-5 知名町における行政区域内人口の実績及び見通し

(単位:人)



1 計画収集区域内人口

本圏域は、和泊町及び知名町の全域を計画処理区域及び収集対象区域としているため、計画収集区域内人口は各町の行政区域内人口となります。

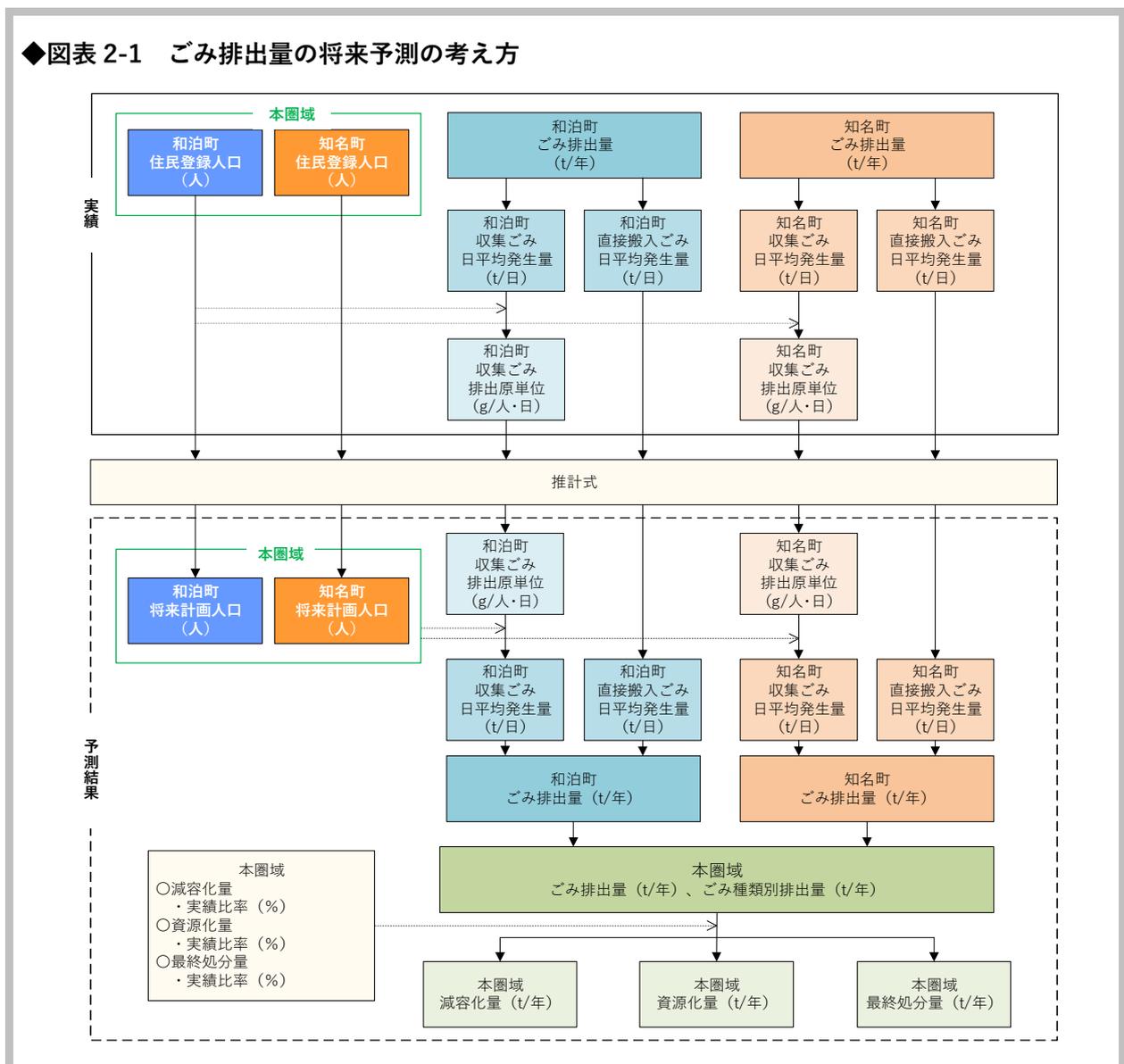
2 設定方法

本圏域のごみ排出量は「一般廃棄物処理基本計画策定指針」に基づき、将来推計を行いました。ごみ排出量の将来推計方法は人口推計と同様に、「ごみ処理施設構造指針解説」にて示されている推計式を用いました。

本圏域のごみ排出量の将来予測の考え方は図表 2-1 に示すように、収集ごみは将来のごみ排出原単位を、直接搬入ごみは将来の日平均発生量をそれぞれ推計式から求めます。

次に、収集ごみは和泊町及び知名町それぞれのごみ排出原単位とそれぞれの行政区域内人口を掛け合わせて各町の将来の日平均排出量を算出し、収集ごみ及び直接搬入ごみの年間のごみ排出量の合計値を本圏域の将来のごみ排出量とします。

◆図表 2-1 ごみ排出量の将来予測の考え方



【収集ごみ】

燃えるごみの1人1日平均排出量 (g/人・日)

燃えないごみ・空き缶・その他の1人1日平均排出量 (g/人・日)

空きビンの1人1日平均排出量 (g/人・日) ※1

ペットボトル・発泡スチロールの1人1日平均排出量 (g/人・日) ※1

【直接搬入ごみ】

燃えるごみ (t/年)

燃えないごみ・空き缶・その他 (t/年)

粗大ごみ (t/年)

ペットボトル・発泡スチロール (t/年) ※1

ダンボール (t/年) ※1

※1：資源ごみ

上記のごみ発生量を発生原単位として過去10年間（平成24年度～令和3年度）の実績を基に推計を行いました。

推計にあたっては、以下の事項に留意して行います。

- ・ 発生原単位の推計は、5つの推計式（図表1-1）を用いて各町のごみの種類ごとに行います。
- ・ 推計式の採用にあたっては、過去の実績の推移を反映し、今後の見通しとしてふさわしい傾向を示している式とします。
- ・ 収集ごみについては、採用した推計値 (g/人・日) に計画収集人口 (人) を乗じて、計画年間平均日発生量 (t/日) とします。
- ・ 直接搬入ごみ量については、採用した推計値 (t/年) を365日で除して、計画直接年間平均日発生量 (t/日) とします。

以上より、算出した各町それぞれの計画年間日平均発生量の合計値を本圏域における計画年間日平均発生量とします。

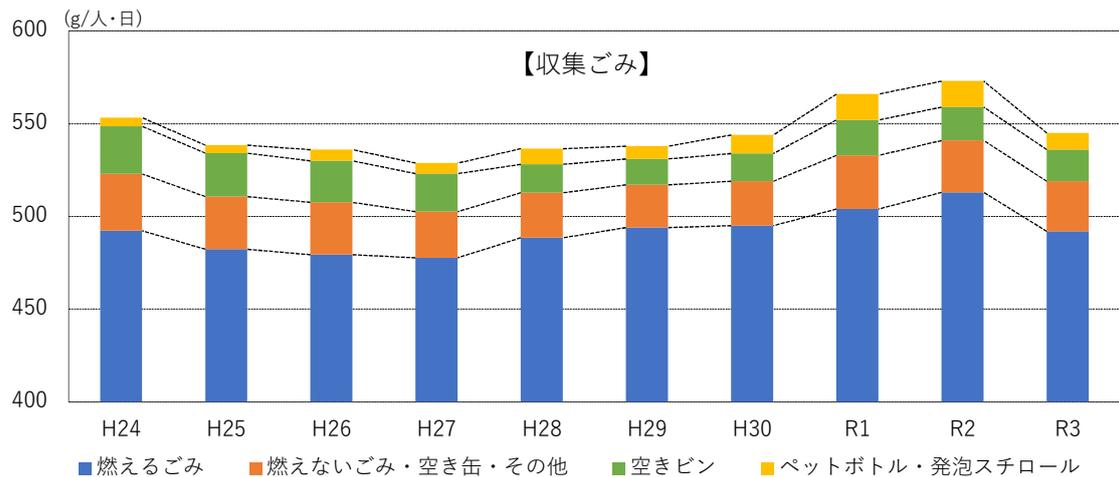
次頁に過去10年間の本圏域における発生原単位の推移を示します。

※推計を行う際、端数処理を詳細に行ったため、H29～R3の実績値が第3章と相違する箇所があります。

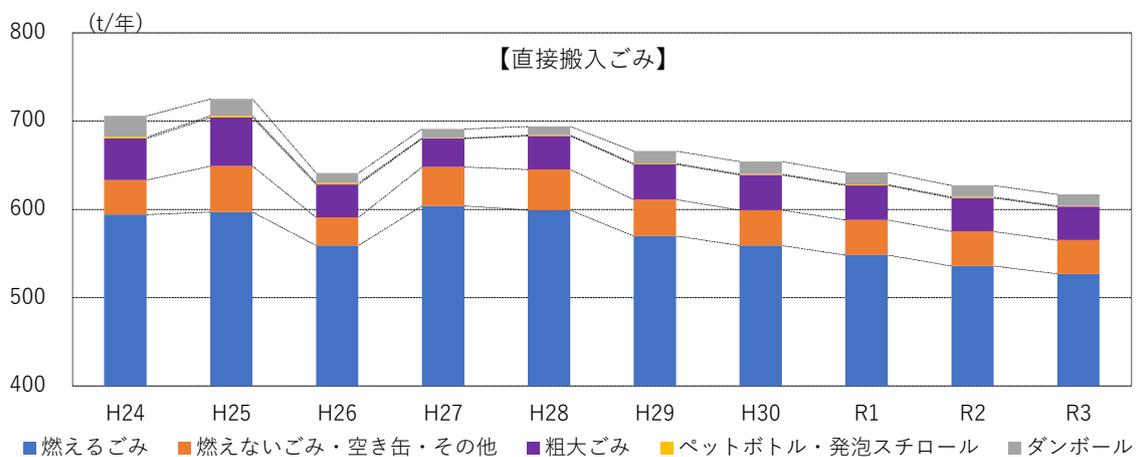
◆図表 2-2 ごみ発生原単位の実績（和泊町）

区分		単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均
収集 ごみ	燃えるごみ	t/年	1,265	1,228	1,209	1,203	1,203	1,187	1,178	1,179	1,181	1,117	1,195
		g/人・日	492	482	479	478	488	494	495	504	513	492	492
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	79	72	71	63	60	56	58	70	66	62	66
		g/人・日	31	28	28	25	24	23	24	29	28	27	27
	空きビン	t/年	66	60	56	52	38	36	36	46	43	40	47
		g/人・日	26	23	22	21	15	14	15	19	18	17	19
	ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	12	11	15	14	21	19	25	35	33	22	21
		g/人・日	5	4	6	6	8	7	10	14	14	9	8
	計	t/年	1,422	1,371	1,351	1,332	1,322	1,298	1,298	1,329	1,323	1,241	1,329
		g/人・日	553	538	536	529	537	539	543	566	573	546	546
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	t/年	594	597	559	604	599	570	559	548	536	527	569
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	39	52	32	44	46	41	40	40	39	38	41
	粗大ごみ	t/年	47	55	37	32	38	40	40	39	38	38	40
	ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	ダンボール	t/年	24	19	11	10	10	14	14	14	13	13	14
	計	t/年	706	725	641	691	694	666	654	642	627	617	666

◆図表 2-3 収集ごみの発生原単位の推移（和泊町）



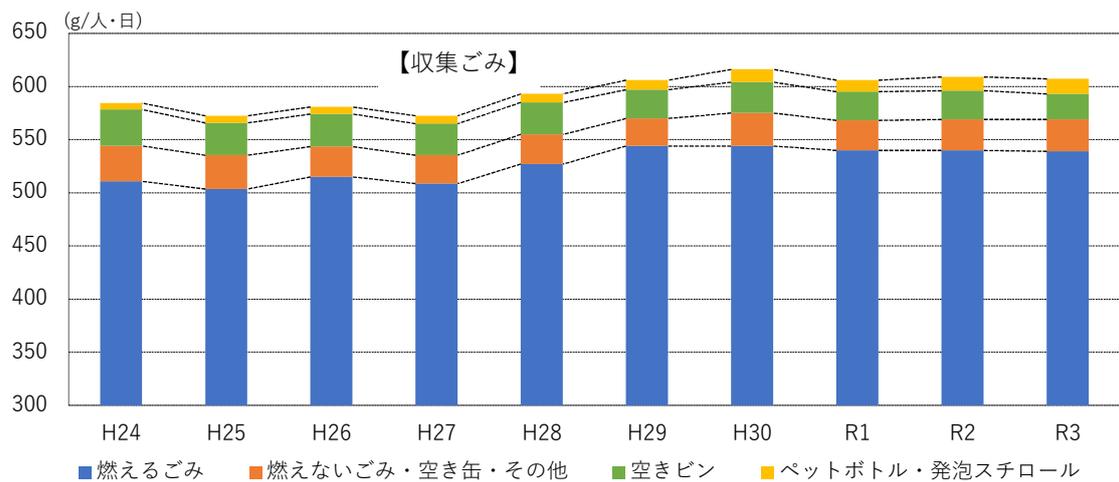
◆図表 2-4 直接搬入ごみ発生原単位の推移（和泊町）



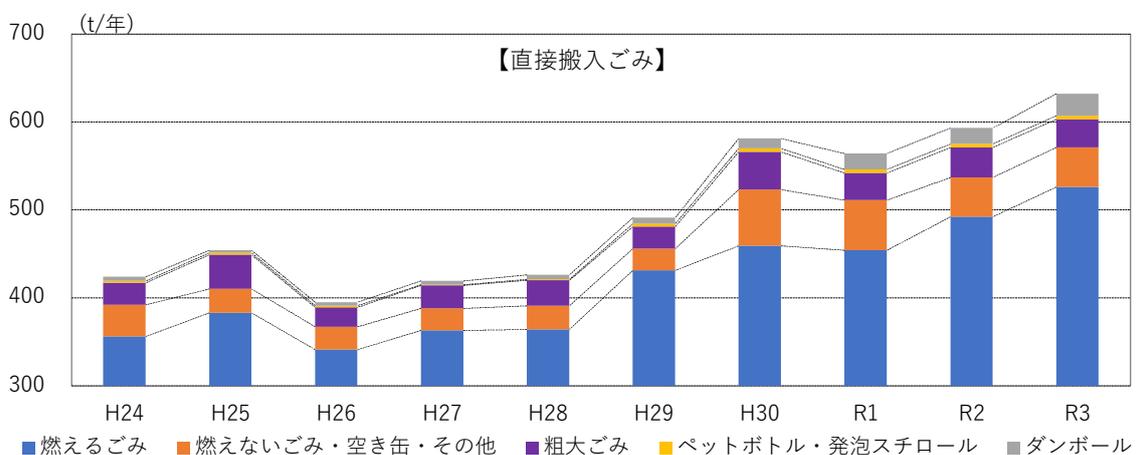
◆図表 2-5 ごみ発生原単位の実績（知名町）

区分		単位	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均
収集 ごみ	燃えるごみ	t/年	1,216	1,197	1,211	1,178	1,196	1,188	1,175	1,145	1,124	1,104	1,173
		g/人・日	511	504	515	509	527	544	544	540	540	539	527
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	80	76	67	62	64	57	67	61	62	63	66
		g/人・日	34	32	29	27	28	26	31	28	29	30	29
	空きビン	t/年	81	73	72	68	68	61	63	59	58	51	65
		g/人・日	34	31	31	30	30	27	29	27	27	24	29
	ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	14	16	15	17	18	21	28	25	28	29	21
		g/人・日	6	7	7	7	8	9	12	11	13	14	9
	計	t/年	1,391	1,362	1,365	1,325	1,346	1,326	1,333	1,292	1,272	1,247	1,326
		g/人・日	584	572	581	572	593	605	616	606	608	607	594
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	t/年	356	383	341	363	364	431	459	454	492	526	417
	燃えないごみ・ 空き缶・その他	t/年	36	27	26	25	27	25	64	57	45	45	38
	粗大ごみ	t/年	25	39	22	26	29	25	43	31	34	32	31
	ペットボトル・ 発泡スチロール	t/年	2	2	2	1	1	3	4	4	4	4	3
	ダンボール	t/年	5	3	4	4	5	7	11	18	18	25	10
	計	t/年	424	454	395	419	426	492	582	563	593	632	498

◆図表 2-6 収集ごみの発生原単位の推移（知名町）



◆図表 2-7 直接搬入ごみ発生原単位の推移（知名町）



3 各町の各種ごみ排出量の推計結果

(1) 和泊町

和泊町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみ排出量の推計結果を以下に示します。

ア 収集ごみ

推計の結果、和泊町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

【収集ごみ】	
燃えるごみ	510.6 g/人・日
燃えないごみ・空き缶・その他	25.7 g/人・日
空きビン	13.6 g/人・日
ペットボトル・発泡スチロール	9.8 g/人・日

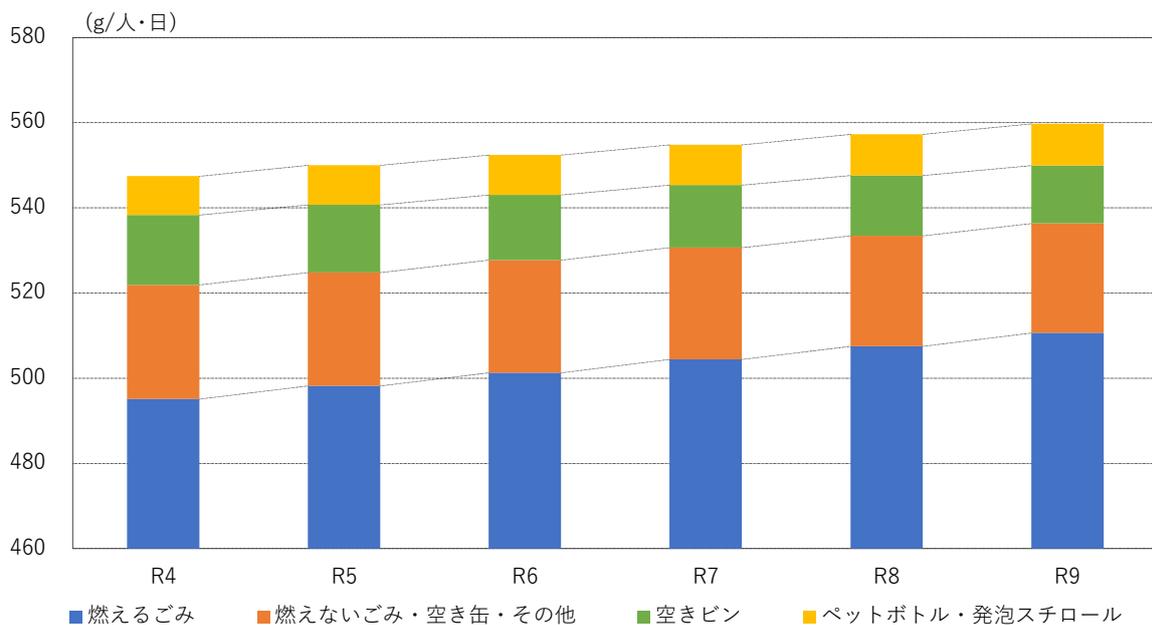
◆図表 2-8 収集ごみの推計結果（和泊町）

単位：g/人・日

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
収集 ごみ	燃えるごみ	495.1	498.2	501.3	504.4	507.5	510.6
	燃えないごみ・空き缶・その他	26.8	26.6	26.4	26.2	25.9	25.7
	空きビン	16.4	15.9	15.3	14.7	14.2	13.6
	ペットボトル・発泡スチロール	9.1	9.3	9.4	9.5	9.6	9.8
	計	547.4	550.0	552.4	554.8	557.2	559.7

※端数処理のため合計値が合わない箇所があります。

◆図表 2-9 収集ごみの推計値の推移（和泊町）



イ 直接搬入ごみ

推計の結果、和泊町における本計画目標年度（令和 9 年度）の直接搬入ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

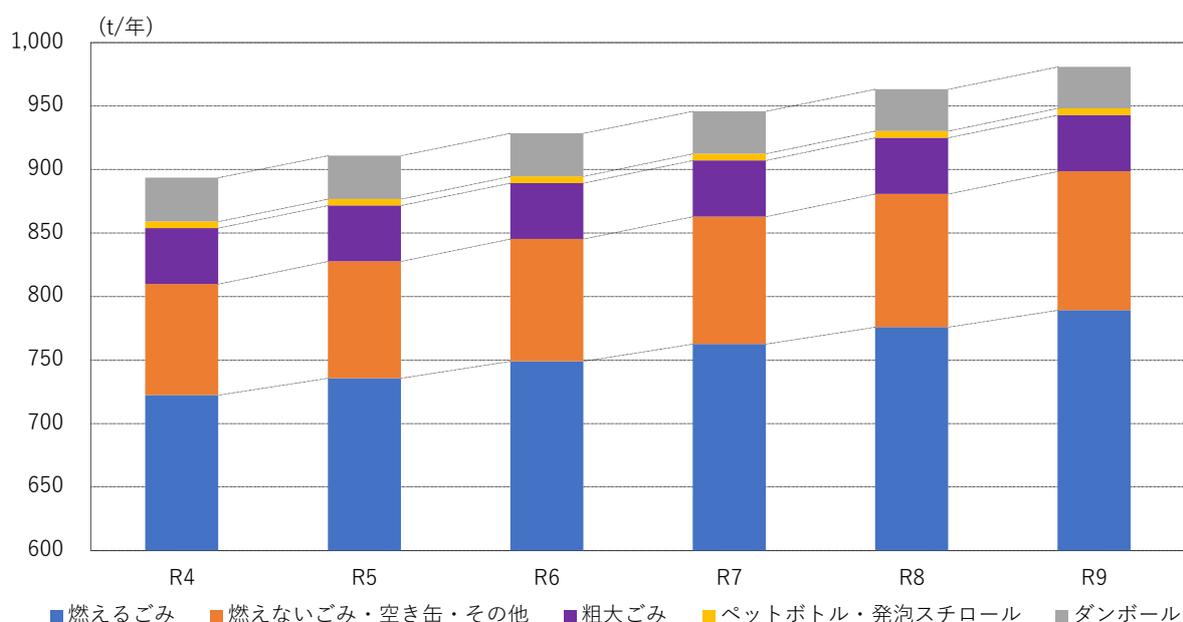
【直接搬入ごみ】	
燃えるごみ：789.1t/年	
燃えないごみ・空き缶・その他：109.3t/年	
粗大ごみ：44.3t/年	
ペットボトル・発泡スチロール：5.4t/年	
ダンボール：32.6t/年	

◆図表 2-10 直接搬入ごみの推計結果（和泊町）

単位：t/年

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	722.3	735.7	749.0	762.4	775.7	789.1
	燃えないごみ・空き缶・その他	87.4	91.8	96.1	100.5	104.9	109.3
	粗大ごみ	44.1	44.1	44.2	44.2	44.3	44.3
	ペットボトル・発泡スチロール	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3	5.4
	ダンボール	34.6	34.2	33.8	33.4	33.0	32.6
	計	893.5	910.9	928.3	945.8	963.2	980.7

◆図表 2-11 直接搬入ごみの推計値の推移（和泊町）



(2) 知名町

知名町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみ排出量の推計結果を以下に示します。

ア 収集ごみ

推計の結果、知名町における本計画目標年度（令和 9 年度）の収集ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

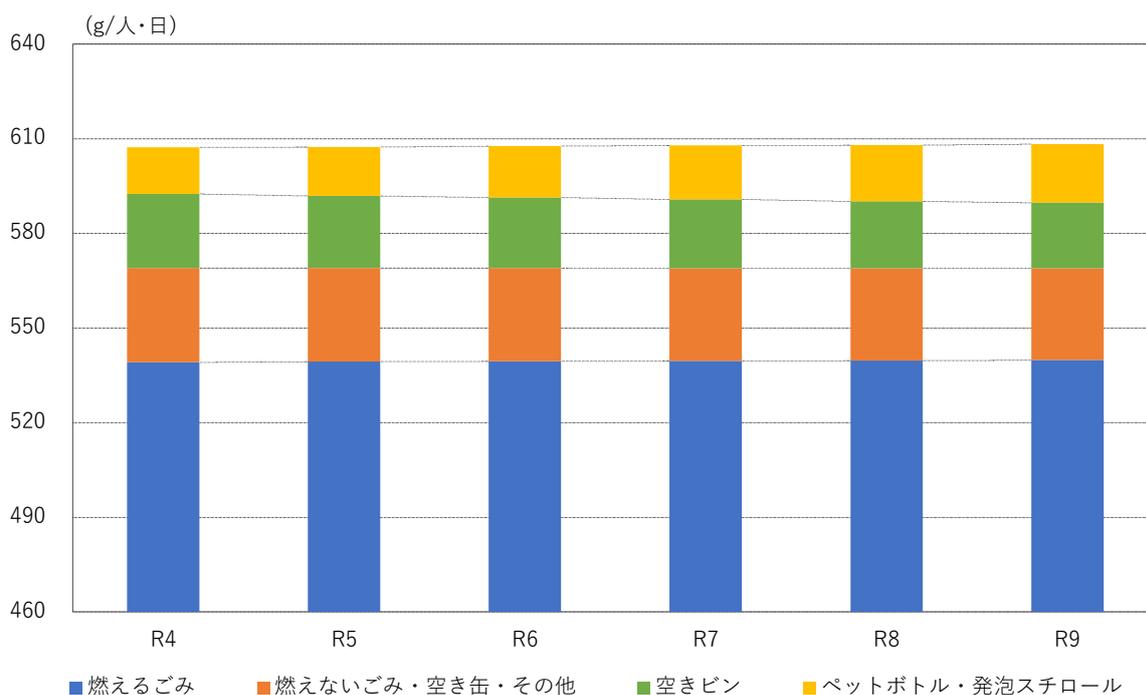
【収集ごみ】	
燃えるごみ	539.8 g/人・日
燃えないごみ・空き缶・その他	29.1 g/人・日
空きビン	20.8 g/人・日
ペットボトル・発泡スチロール	18.6 g/人・日

◆図表 2-12 収集ごみの推計結果（知名町）

単位：g/人・日

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
収集 ごみ	燃えるごみ	539.1	539.3	539.4	539.5	539.6	539.8
	燃えないごみ・空き缶・その他	29.9	29.7	29.6	29.4	29.3	29.1
	空きビン	23.5	22.9	22.4	21.9	21.3	20.8
	ペットボトル・発泡スチロール	14.8	15.5	16.3	17.1	17.8	18.6
	計	607.3	607.4	607.7	607.9	608.0	608.3

◆図表 2-13 収集ごみの推計値の推移（知名町）



イ 直接搬入ごみ

推計の結果、知名町における本計画目標年度（令和 9 年度）の直接搬入ごみの排出原単位は以下に示すとおりとなります。

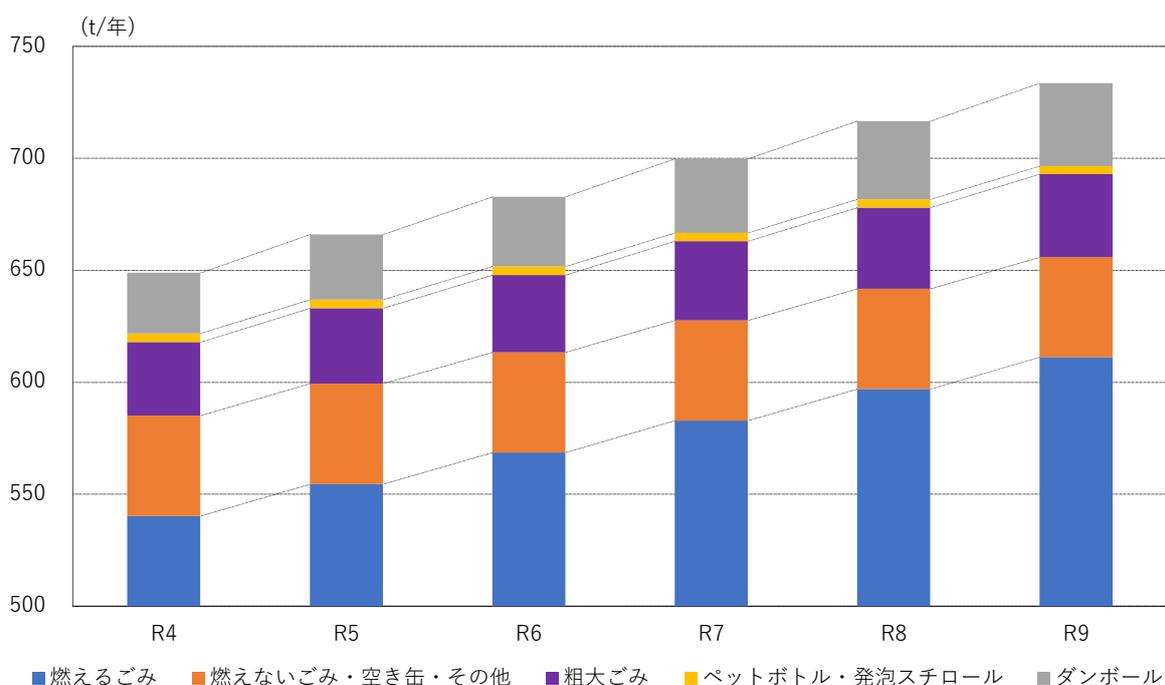
【直接搬入ごみ】	
燃えるごみ	611.2t/年
燃えないごみ・空き缶・その他	44.6t/年
粗大ごみ	37.1t/年
ペットボトル・発泡スチロール	3.6t/年
ダンボール	37.0t/年

◆図表 2-14 直接搬入ごみの推計結果（知名町）

単位：t/年

本計画		R4	R5	R6	R7	R8	R9
直接 搬入 ごみ	燃えるごみ	540.2	554.4	568.6	582.8	597.0	611.2
	燃えないごみ・空き缶・その他	44.9	44.9	44.8	44.8	44.7	44.6
	粗大ごみ	32.8	33.7	34.5	35.4	36.2	37.1
	ペットボトル・発泡スチロール	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7	3.6
	ダンボール	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0
	計	648.8	665.9	682.7	699.7	716.6	733.5

◆図表 2-15 直接搬入ごみの推計値の推移（知名町）



4 和泊町におけるごみ排出量の推計

和泊町における各種ごみ排出量の推計について以下に示します。

(1) 収集ごみ

ア 燃えるごみ

燃えるごみの推計結果を図表 2-16 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 27 年度までは減少傾向となっていました、平成 27 年度を境に増加傾向となり、令和 2 年まで増加したのち、令和 3 年度で減少に転じています。

上述した傾向から、平成 27 年度までの平均増減数は-5 g/人・日（3 年間：平成 24 年度～平成 27 年度）、平成 28 年度～令和 2 年度までの平均増減数は 5 g/人・日となっており、過去 10 年間の平均増減数は 0 g/人・日となります。令和 3 年度は令和 2 年度と比べると 21 g/人・日減少しているものの、単年度の減少であり、一過性の可能性もあると考えられることから、今後も平成 28 年度～令和 2 年度までの増減数（平均増減数：5 g/人・日）に近い増加傾向を示すことが伺えます。

推計結果は、「一次傾向線」及び「一次指数曲線」が緩やかな増加傾向、「二次傾向線」が増加傾向を示し、「ロジスティック曲線」はゆるやかな減少傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平成 28 年度～令和 2 年度の平均増減数に近い「一次傾向線」及び「一次指数曲線」のうち、年間平均増減数 3.1 g/人・日と、より緩やかな増加傾向を示す「一次傾向線」を採用することとします。

イ 燃えないごみ・空き缶・その他

燃えないごみの推計結果を図表 2-17 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは減少傾向となっていました、平成 29 年度を境に増加に転じ、平成 30 年度～令和元年度まで増加した後、令和元年度を境に再び減少に転じています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は-1 g/人・日（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、平成 30 年度～令和元年度までの平均増減数は 3 g/人・日（2 年間）、令和 2 年度～3 年度までの平均増減数は-1 g/人・日（2 年間）となっており、過去 10 年間の平均増減数は-0.3 g/人・日となります。また、令和元年度～令和 3 年度の過去 3 年間は減少傾向にあり、今後も令和元年度～令和 3 年度までの増減数（平均増減数：-1 g/人・日）に近い増加傾向を示すことが伺えます。

推計結果は、「二次傾向線」は増加傾向を示し、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」は増減がなく（年間平均増減数：0 g/人・日）、「一次傾向線」及び「一次指数曲線」は緩やかな減少傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近い「一次傾向線」及び「一次指数曲線」のうち、相関係数が高い「一次傾向線」を採用することとします。

ウ 空きビン

空きビンの推計結果を図表 2-18 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 28 年度～令和元年度は増減があるものの経年的に減少傾向となっています。

上述した傾向から、過去 10 年間の平均増減数は-1 g/人・日となります。今後も一時的な変動等は起こるかもしれませんが、これまでの減少傾向に沿った傾向（平均増減数：-1 g/人・日）を示すことが伺えます。

推計結果は、「二次傾向線」は増加傾向を示し、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」は緩やかな増加傾向を示し、「一次傾向線」及び「一次指数曲線」は緩やかな減少傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近い「一次傾向線」及び「一次指数曲線」のうち、相関係数が高い「一次指数曲線」を採用することとします。

エ ペットボトル・発泡スチロール

ペットボトル・発泡スチロールの推計結果を図表 2-19 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にありましたが、令和 3 年度では減少に転じています。

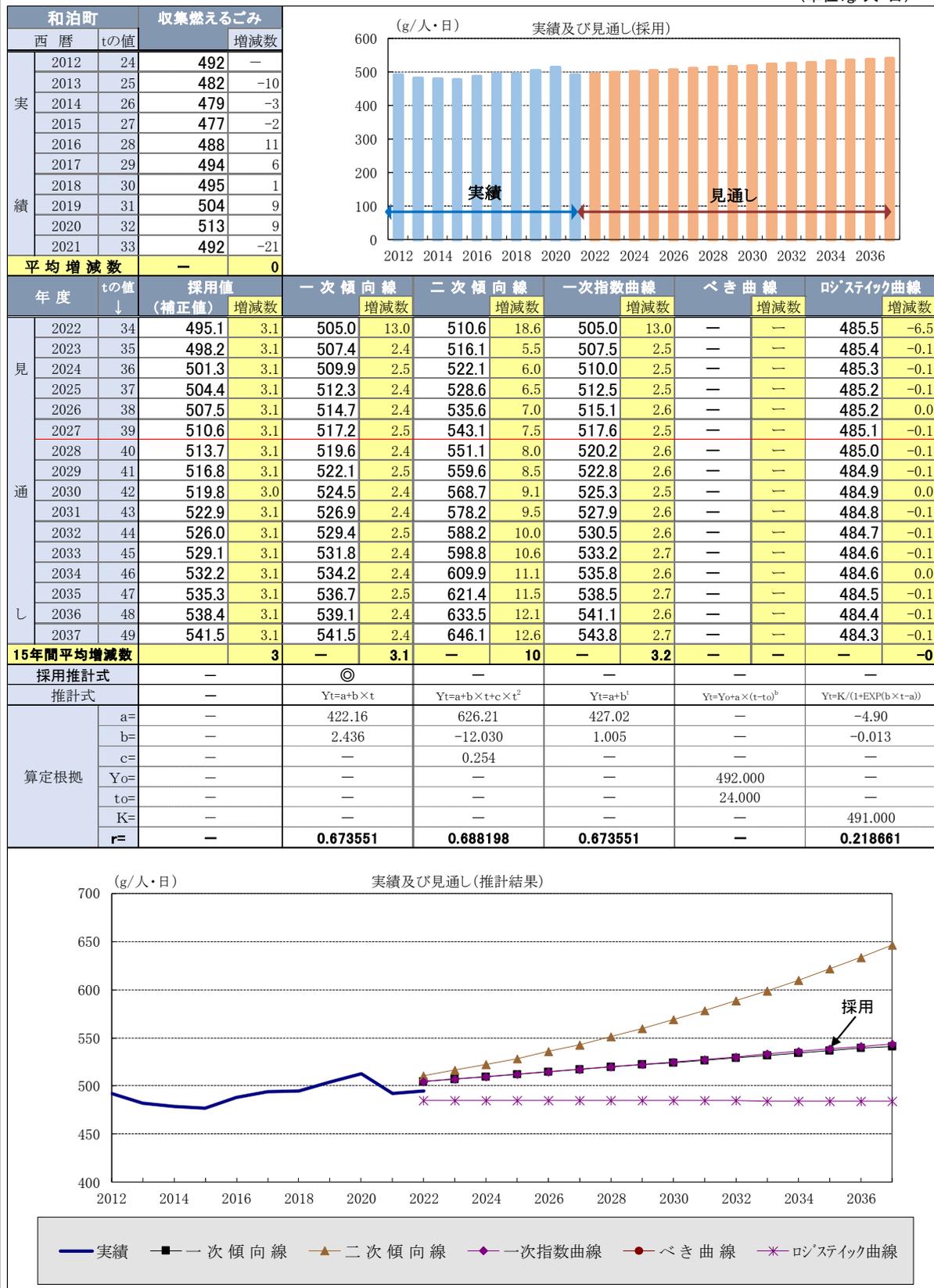
上述した傾向から、令和 2 年度までの平均増減数は+1 g/人・日（9 年間：平成 24 年度～令和 2 年度）となっており、令和 3 年度は減少していますが、一過性の可能性もあると考えられ、今後も過去 9 年間の平均増減数（平均増減数：+1 g/人・日）に近い増加傾向を示すことが伺えます。

推計結果は、「二次傾向線」は緩やかに増加から減少に転じる凸型の放物線状の傾向を示し、「一次指数曲線」は増加傾向を示し、「一次傾向線」、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」が緩やかな増加傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 9 年間の平均増減数に近い「一次傾向線」、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」のうち、相関係数が最も高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

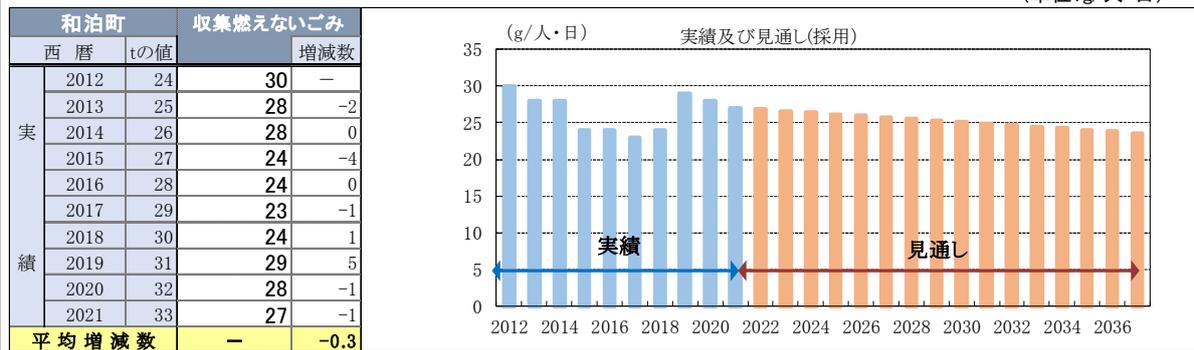
◆図表 2-16 収集燃えるごみの推計結果

(単位:g/人・日)

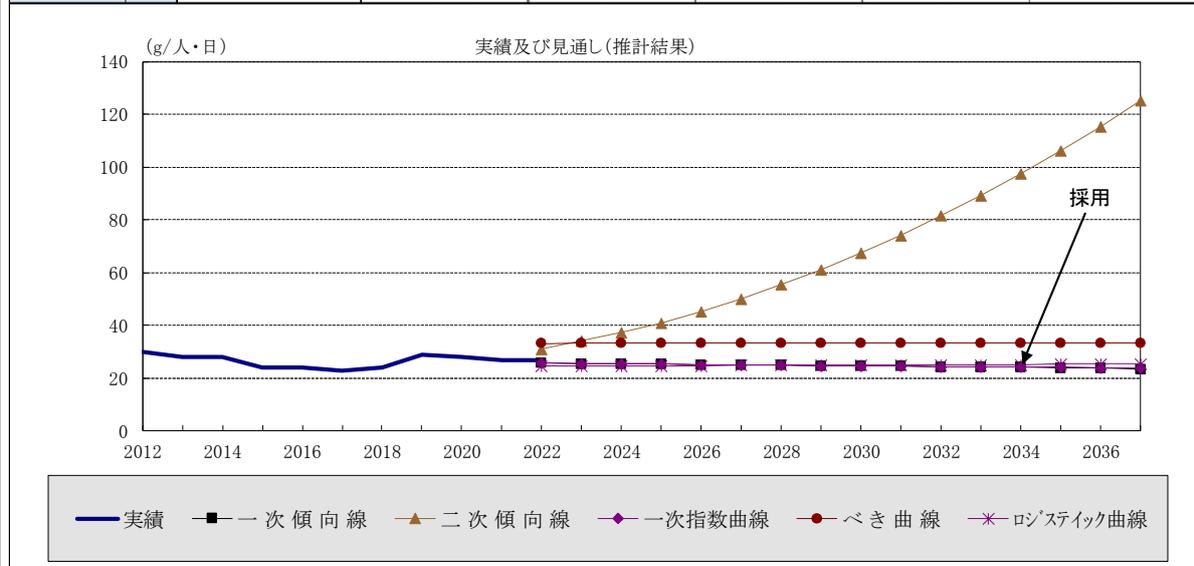


◆図表 2-17 収集燃えないごみ・空き缶・その他の推計結果

(単位:g/人・日)

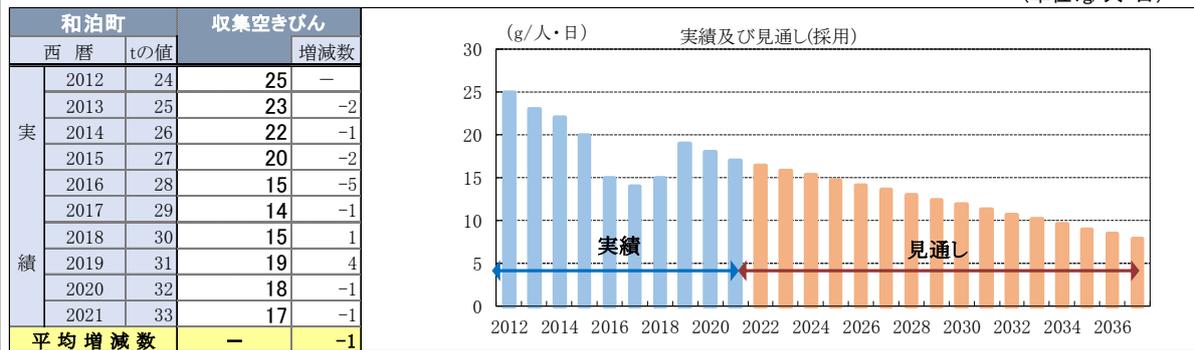


年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	26.8	-0.2	25.7	-1.3	31.2	4.2	25.7	-1.3	33.3	6.3	24.5	-2.5
	2023	35	26.6	-0.2	25.6	-0.1	34.0	2.8	25.6	-0.1	33.4	0.1	24.6	0.1
	2024	36	26.4	-0.2	25.5	-0.1	37.3	3.3	25.4	-0.2	33.4	0.0	24.7	0.1
	2025	37	26.2	-0.2	25.3	-0.2	41.1	3.8	25.3	-0.1	33.4	0.0	24.7	0.0
	2026	38	25.9	-0.3	25.2	-0.1	45.4	4.3	25.2	-0.1	33.4	0.0	24.8	0.1
	2027	39	25.7	-0.2	25.0	-0.2	50.2	4.8	25.1	-0.1	33.4	0.0	24.9	0.1
	2028	40	25.5	-0.2	24.9	-0.1	55.4	5.2	24.9	-0.2	33.4	0.0	24.9	0.0
	2029	41	25.3	-0.2	24.8	-0.1	61.2	5.8	24.8	-0.1	33.4	0.0	25.0	0.1
	2030	42	25.1	-0.2	24.6	-0.2	67.5	6.3	24.7	-0.1	33.4	0.0	25.0	0.0
	2031	43	24.9	-0.2	24.5	-0.1	74.2	6.7	24.6	-0.1	33.5	0.1	25.1	0.1
し	2032	44	24.7	-0.2	24.3	-0.2	81.5	7.3	24.4	-0.2	33.5	0.0	25.1	0.0
	2033	45	24.5	-0.2	24.2	-0.1	89.2	7.7	24.3	-0.1	33.5	0.0	25.2	0.1
	2034	46	24.2	-0.3	24.1	-0.1	97.4	8.2	24.2	-0.1	33.5	0.0	25.2	0.0
	2035	47	24.0	-0.2	23.9	-0.2	106.2	8.8	24.1	-0.1	33.5	0.0	25.3	0.1
	2036	48	23.8	-0.2	23.8	-0.1	115.4	9.2	24.0	-0.1	33.5	0.0	25.3	0.0
	2037	49	23.6	-0.2	23.6	-0.2	125.1	9.7	23.8	-0.2	33.5	0.0	25.3	0.0
15年間平均増減数		—	-0.2	—	-0.2	—	6.1	—	-0.2	—	0.4	—	-0.1	
採用推計式		—		◎		—		—		—		—		
推計式		—		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$		
算定根拠	a=	—		30.47		228.43		30.38		3.00		-0.90		
	b=	—		-0.139		-14.173		0.995		0.047		0.056		
	c=	—		—		0.246		—		—		—		
	Y ₀ =	—		—		—		—		30.000		—		
	t ₀ =	—		—		—		—		24.000		—		
	K=	—		—		—		—		—		26.000		
	r=	—		0.282216		0.754411		0.210352		0.490820		0.126211		

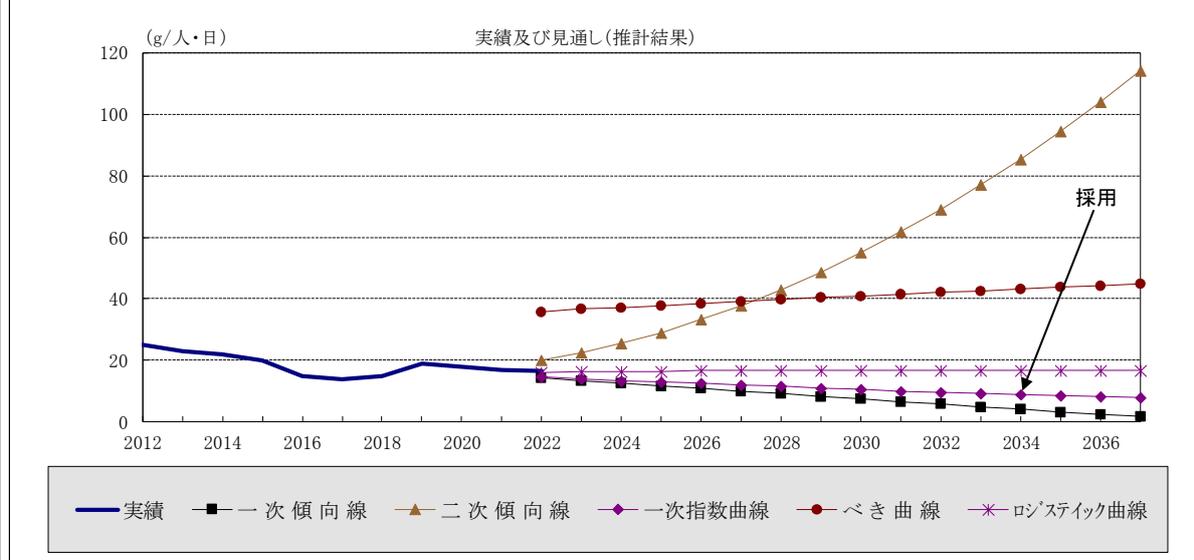


◆図表 2-18 収集空きビンの推計結果

(単位:g/人・日)



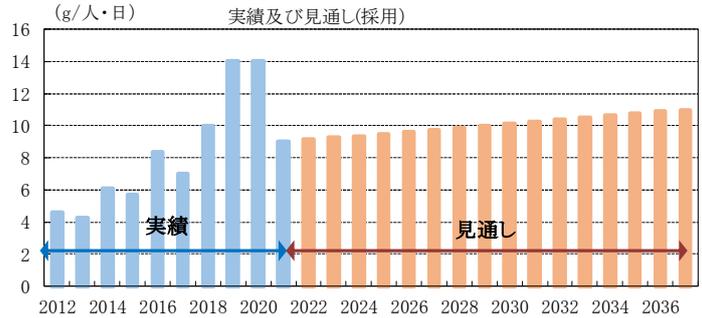
年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	16.4	-0.6	14.2	-2.8	20.2	3.2	14.7	-2.3	35.8	18.8	16.1	-0.9
	2023	35	15.9	-0.5	13.4	-0.8	22.6	2.4	14.1	-0.6	36.6	0.8	16.3	0.2
	2024	36	15.3	-0.6	12.5	-0.9	25.6	3.0	13.5	-0.6	37.2	0.6	16.4	0.1
	2025	37	14.7	-0.6	11.7	-0.8	29.1	3.5	13.0	-0.5	37.9	0.7	16.5	0.1
	2026	38	14.2	-0.5	10.9	-0.8	33.2	4.1	12.5	-0.5	38.5	0.6	16.6	0.1
	2027	39	13.6	-0.6	10.0	-0.9	37.8	4.6	11.9	-0.6	39.2	0.7	16.6	0.0
	2028	40	13.0	-0.6	9.2	-0.8	43.0	5.2	11.5	-0.4	39.8	0.6	16.7	0.1
	2029	41	12.5	-0.5	8.3	-0.9	48.7	5.7	11.0	-0.5	40.4	0.6	16.7	0.0
	2030	42	11.9	-0.6	7.5	-0.8	55.0	6.3	10.5	-0.5	41.0	0.6	16.8	0.1
	2031	43	11.3	-0.6	6.7	-0.8	61.8	6.8	10.1	-0.4	41.6	0.6	16.8	0.0
し	2032	44	10.7	-0.6	5.8	-0.9	69.1	7.3	9.7	-0.4	42.2	0.6	16.9	0.1
	2033	45	10.2	-0.5	5.0	-0.8	77.0	7.9	9.3	-0.4	42.7	0.5	16.9	0.0
	2034	46	9.6	-0.6	4.2	-0.8	85.4	8.4	8.9	-0.4	43.3	0.6	16.9	0.0
	2035	47	9.0	-0.6	3.3	-0.9	94.4	9.0	8.6	-0.3	43.8	0.5	16.9	0.0
	2036	48	8.5	-0.5	2.5	-0.8	103.9	9.5	8.2	-0.4	44.3	0.5	16.9	0.0
	2037	49	7.9	-0.6	1.7	-0.8	114.0	10.1	7.9	-0.3	44.9	0.6	16.9	0.0
15年間平均増減数		-	-0.6	-	-	-1.0	-	6.1	-	-0.6	-	1.7	-	-0.0
採用推計式		-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	-
推計式		-	-	-	$Y_t=a+b \times t$	-	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	-	$Y_t=a+b^t$	-	$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$	-	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$	-
算定根拠	a=	-	-	-	42.64	-	261.91	-	60.34	-	2.37	-	3.21	
	b=	-	-	-	-0.836	-	-16.382	-	0.959	-	0.661	-	0.181	
	c=	-	-	-	-	-	0.273	-	-	-	-	-	-	
	Y ₀ =	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.000	-	-	
	t ₀ =	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24.000	-	-	
	K=	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.000	
	r=	-	-	-	0.643686	-	0.877484	-	0.695023	-	0.703676	-	0.839128	



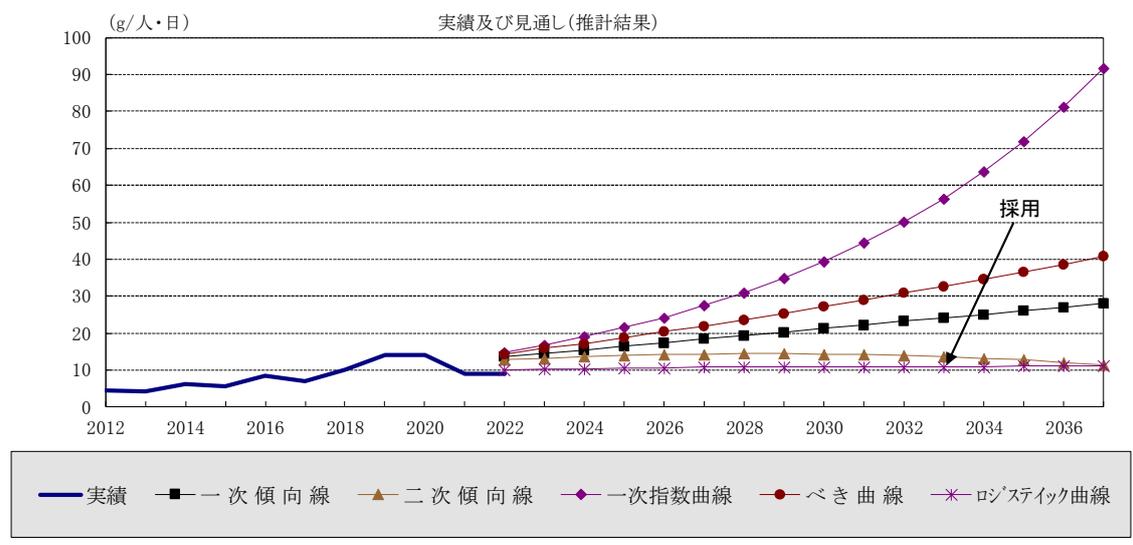
◆図表 2-19 収集ペットボトル・発泡スチロールの推計結果

(単位:g/人・日)

和泊町		収集ペットボトル他		
西暦	tの値	採用値	増減数	
実績	2012	24	5	-
	2013	25	4	-0
	2014	26	6	2
	2015	27	6	-0
	2016	28	8	3
	2017	29	7	-1
	2018	30	10	3
	2019	31	14	4
	2020	32	14	0
	2021	33	9	-5
平均増減数		-	0.5	



年度	tの値	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	9.1	0.1	13.6	4.6	12.7	3.7	14.9	5.9	14.3	5.3	10.0	1.0
	2023	35	9.3	0.2	14.6	1.0	13.2	0.5	16.9	2.0	15.8	1.5	10.2	0.2
	2024	36	9.4	0.1	15.5	0.9	13.6	0.4	19.0	2.1	17.2	1.4	10.4	0.2
	2025	37	9.5	0.1	16.5	1.0	13.9	0.3	21.5	2.5	18.8	1.6	10.5	0.1
	2026	38	9.6	0.1	17.4	0.9	14.1	0.2	24.2	2.7	20.4	1.6	10.6	0.1
	2027	39	9.8	0.2	18.4	1.0	14.3	0.2	27.4	3.2	22.0	1.6	10.7	0.1
	2028	40	9.9	0.1	19.4	1.0	14.4	0.1	30.9	3.5	23.7	1.7	10.8	0.1
	2029	41	10.0	0.1	20.3	0.9	14.4	0.0	34.8	3.9	25.4	1.7	10.8	0.0
	2030	42	10.1	0.1	21.3	1.0	14.3	-0.1	39.3	4.5	27.2	1.8	10.9	0.1
	2031	43	10.3	0.2	22.2	0.9	14.1	-0.2	44.4	5.1	29.0	1.8	10.9	0.0
通し	2032	44	10.4	0.1	23.2	1.0	13.9	-0.2	50.1	5.7	30.8	1.8	10.9	0.0
	2033	45	10.5	0.1	24.2	1.0	13.6	-0.3	56.5	6.4	32.7	1.9	10.9	0.0
	2034	46	10.6	0.1	25.1	0.9	13.2	-0.4	63.8	7.3	34.7	2.0	10.9	0.0
	2035	47	10.8	0.2	26.1	1.0	12.7	-0.5	72.0	8.2	36.6	1.9	11.0	0.1
	2036	48	10.9	0.1	27.0	0.9	12.1	-0.6	81.3	9.3	38.6	2.0	11.0	0.0
	2037	49	11.0	0.1	28.0	1.0	11.5	-0.6	91.7	10.4	40.7	2.1	11.0	0.0
	15年間平均増減数		-	0.1	-	1.2	-	0.2	-	5.2	-	2.0	-	0.1
採用推計式		-		-		-		-		-		◎		
推計式		-		$Y_t = a + b \times t$		$Y_t = a + b \times t + c \times t^2$		$Y_t = a + b^t$		$Y_t = Y_0 a \times (t - t_0)^b$		$Y_t = K / (1 + \text{EXP}(b \times t - a))$		
算定根拠	a=	-	-	-	-19.07	-	-51.35	-	0.24	-	0.36	-	6.63	
	b=	-	-	-	0.961	-	3.249	-	1.129	-	1.430	-	0.261	
	c=	-	-	-	-	-	-0.040	-	-	-	-	-	-	
	Y0=	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.600	-	-	
	t0=	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24.000	-	-	
	K=	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.000	
	r=	-	-	-	0.826855	-	0.791222	-	0.776933	-	0.829941	-	0.835547	



(2) 直接搬入ごみ

ア 燃えるごみ

推計結果を図表 2-20 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にあり、このような傾向から、過去 10 年間の平均増減数は+13t/年となります。

推計結果は、全ての推計式において増加傾向を示しており、その中でもは平均増減数が同値であり、相関係数も高い「一次指数曲線」を採用することとします。

イ 燃えないごみ・空き缶・その他

推計結果を図表 2-21 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にあり、このような傾向から、過去 10 年間の平均増減数は+5t/年となります。

推計結果は、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」は増加傾向を示し、「一次傾向線」、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」は緩やかな増加傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近く、相関係数も高い「べき曲線」を採用することとします。

ウ 粗大ごみ

推計結果を図表 2-22 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは減少傾向となっていました、平成 30 年度に大きく増加し、再び、平成 30 年度を境に減少傾向となっています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は-3t/年（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、令和元年度～令和 3 年度までの平均増減数は-4t/年となっており、過去 10 年間の平均増減数は-0.3t/年となります。

推計結果は、「二次傾向線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」、「一次指数曲線」及び「ロジスティック曲線」はほぼ横ばいの傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近く、相関係数の高い「一次傾向線」を採用することとします。

エ ペットボトル・発泡スチロール

推計結果を図表 2-23 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは年度により増減はあるもののほぼ横ばいで推移し、平成 30 年度以降は年度により増減をしながらも経年的には増加傾向となっています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は 0t/年（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、平成 30 年度～令和 3 年度までの平均増減数は 1t/年となっており、過去 10 年間の平均増減数は 0t/年となります。

推計結果は、「一次指数曲線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」及び「二次傾向線」が緩やかな増加傾向を示し、「ロジスティック曲線」は横ばい傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、過去 10 年間の平均増減数に近く、相関係数の

高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

オ ダンボール

推計結果を図表 2-24 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 28 年度までは減少傾向、平成 28 年度を境に増加傾向となっていました。令和 3 年度は減少に転じています。

上述した傾向から、平成 28 年度までの平均増減数は-4t/年（5 年間：平成 24 年度～平成 28 年度）、平成 29 年度～令和 2 年度までの平均増減数は+7t/年、令和 2 年度～令和 3 年度の増減数は-1.0t/年、となっており、過去 10 年間の平均増減数は 1.2t/年となります。

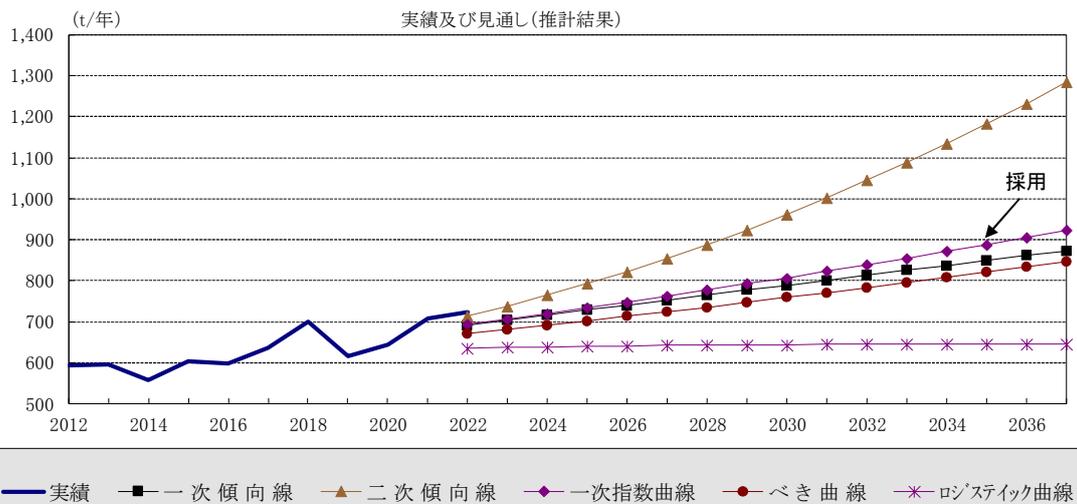
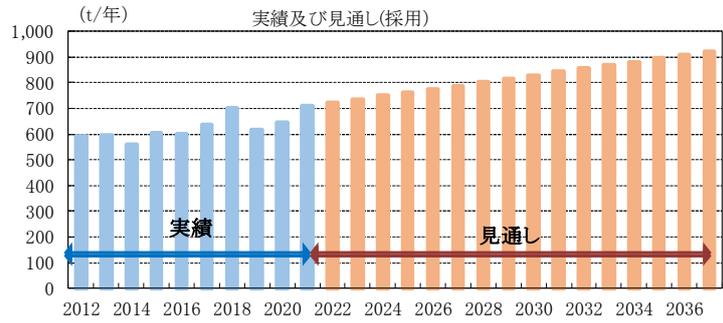
推計結果は、「二次傾向線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」、「一次指数曲線」及び「ロジスティック曲線」はゆるやかな減少傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数に近く、相関係数の高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

◆図表 2-20 直接搬入燃えるごみの推計結果

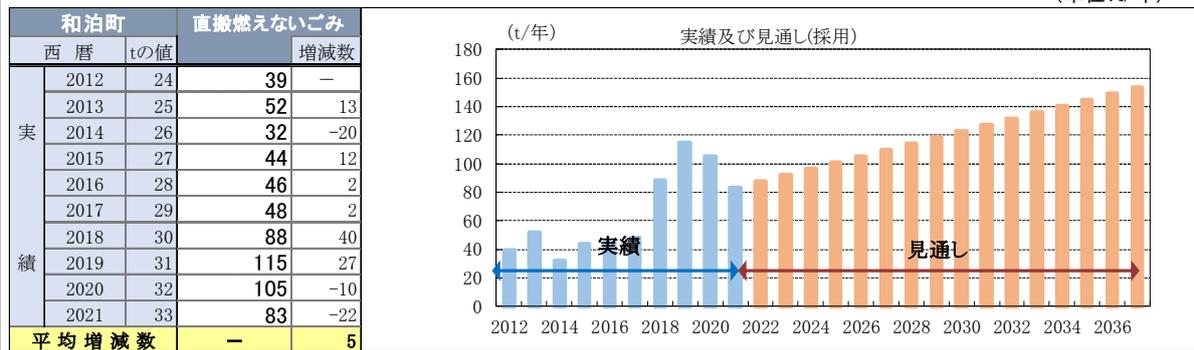
(単位:t/年)

和泊町		直搬燃えるごみ												
西暦	tの値	tの値	増減数											
実績	2012	24	594	—										
	2013	25	597	3										
	2014	26	559	-38										
	2015	27	604	45										
	2016	28	599	-5										
	2017	29	638	39										
	2018	30	701	63										
	2019	31	617	-84										
	2020	32	645	28										
	2021	33	709	64										
平均増減数		—	13											
年度	tの値	採用値 (補正值)	増減数	一次傾向線 増減数	二次傾向線 増減数	一次指数曲線 増減数	べき曲線 増減数	ロジスティック曲線 増減数						
見通し	2022	34	722.3	13.3	692.7	-16.3	714.6	5.6	693.6	-15.4	671.3	-37.7	635.6	-73.4
	2023	35	735.7	13.4	704.7	12.0	738.6	24.0	706.9	13.3	681.4	10.1	637.5	1.9
	2024	36	749.0	13.3	716.8	12.1	764.6	26.0	720.5	13.6	691.9	10.5	639.1	1.6
	2025	37	762.4	13.4	728.9	12.1	792.6	28.0	734.3	13.8	702.6	10.7	640.4	1.3
	2026	38	775.7	13.3	740.9	12.0	822.6	30.0	748.4	14.1	713.6	11.0	641.5	1.1
	2027	39	789.1	13.4	753.0	12.1	854.6	32.0	762.7	14.3	724.8	11.2	642.4	0.9
	2028	40	802.4	13.3	765.1	12.1	888.6	34.0	777.4	14.7	736.2	11.4	643.2	0.8
	2029	41	815.8	13.4	777.1	12.0	924.6	36.0	792.3	14.9	747.9	11.7	643.8	0.6
	2030	42	829.1	13.3	789.2	12.1	962.5	37.9	807.5	15.2	759.7	11.8	644.4	0.6
	2031	43	842.4	13.3	801.3	12.1	1,002.5	40.0	823.0	15.5	771.8	12.1	644.8	0.4
通し	2032	44	855.8	13.4	813.3	12.0	1,044.5	42.0	838.8	15.8	784.1	12.3	645.2	0.4
	2033	45	869.1	13.3	825.4	12.1	1,088.4	43.9	854.9	16.1	796.5	12.4	645.5	0.3
	2034	46	882.5	13.4	837.5	12.1	1,134.3	45.9	871.3	16.4	809.1	12.6	645.7	0.2
	2035	47	895.8	13.3	849.5	12.0	1,182.3	48.0	888.1	16.8	821.9	12.8	646.0	0.3
	2036	48	909.2	13.4	861.6	12.1	1,232.2	49.9	905.1	17.0	834.8	12.9	646.1	0.1
	2037	49	922.5	13.3	873.7	12.1	1,284.1	51.9	922.5	17.4	847.9	13.1	646.3	0.2
15年間平均増減数		—	13.3	—	10.3	—	35.9	—	13.3	—	8.7	—	-3.9	
採用推計式		—		—		—		◎		—		—		
推計式		—		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Y_0 a \times (t-t_0)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$		
算定根拠	a=	—		282.40		1,083.35		363.33		3.88		2.29		
	b=	—		12.067		-44.717		1.019		1.299		0.186		
	c=	—		—		0.996		—		—		—		
	Y ₀ =	—		—		—		—		594.000		—		
	t ₀ =	—		—		—		—		24.000		—		
	K=	—		—		—		—		—		647.000		
	r=	—		0.762404		0.778213		0.765004		0.777801		0.713378		

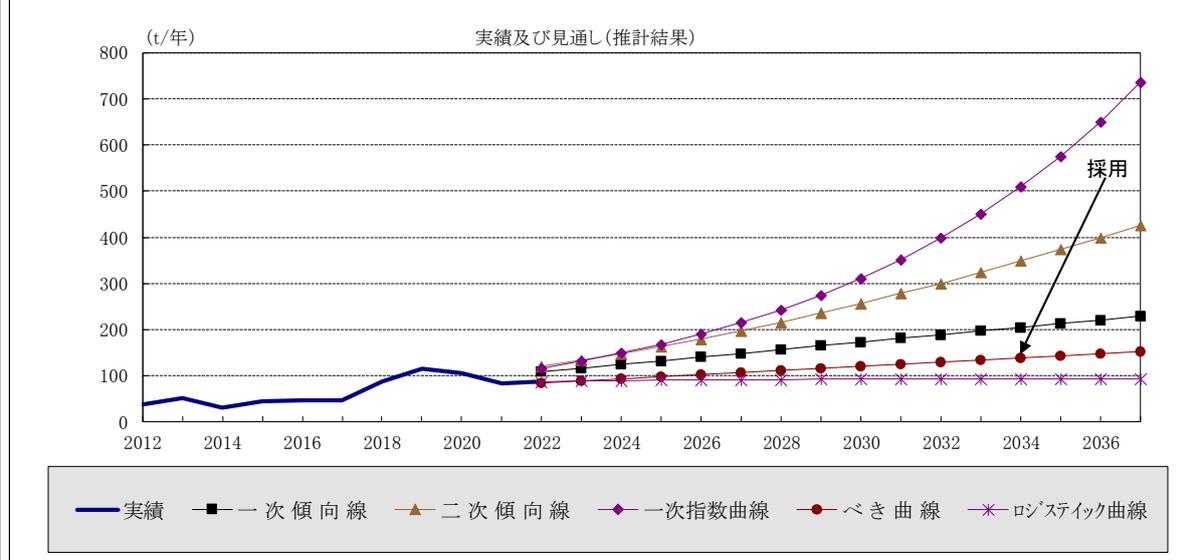


◆図表 2-21 直接搬入燃えないごみ・空き缶・その他の推計結果

(単位:t/年)

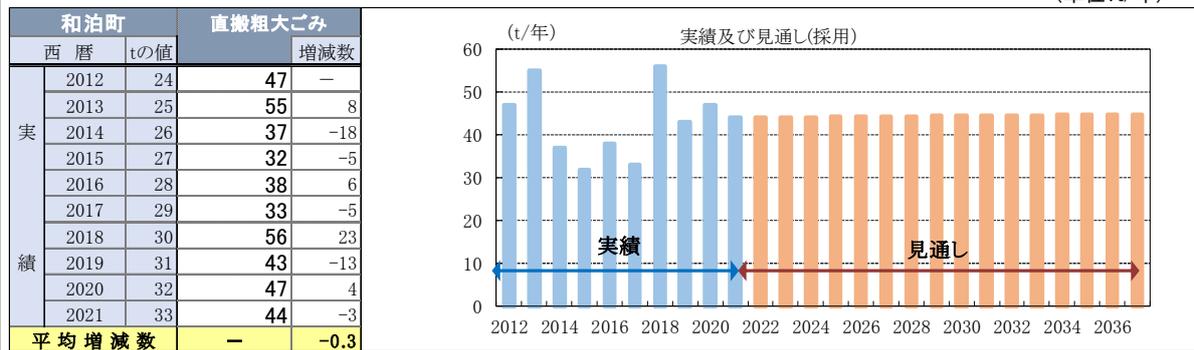


年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	87.4	4.4	109.1	26.1	119.7	36.7	116.8	33.8	84.6	1.6	87.0	4.0
	2023	35	91.8	4.4	117.0	7.9	133.4	13.7	132.0	15.2	89.2	4.6	88.6	1.6
	2024	36	96.1	4.3	125.0	8.0	148.1	14.7	149.3	17.3	93.8	4.6	89.8	1.2
	2025	37	100.5	4.4	133.0	8.0	163.8	15.7	168.7	19.4	98.3	4.5	90.7	0.9
	2026	38	104.9	4.4	141.0	8.0	180.4	16.6	190.8	22.1	102.9	4.6	91.4	0.7
	2027	39	109.3	4.4	148.9	7.9	198.0	17.6	215.6	24.8	107.5	4.6	91.8	0.4
	2028	40	113.7	4.4	156.9	8.0	216.6	18.6	243.8	28.2	112.0	4.5	92.2	0.4
	2029	41	118.1	4.4	164.9	8.0	236.1	19.5	275.6	31.8	116.6	4.6	92.4	0.2
	2030	42	122.4	4.3	172.9	8.0	256.6	20.5	311.5	35.9	121.2	4.6	92.6	0.2
	2031	43	126.8	4.4	180.8	7.9	278.0	21.4	352.2	40.7	125.7	4.5	92.7	0.1
通し	2032	44	131.2	4.4	188.8	8.0	300.4	22.4	398.1	45.9	130.3	4.6	92.8	0.1
	2033	45	135.6	4.4	196.8	8.0	323.8	23.4	450.1	52.0	134.9	4.6	92.8	0.0
	2034	46	140.0	4.4	204.8	8.0	348.1	24.3	508.8	58.7	139.4	4.5	92.9	0.1
	2035	47	144.3	4.3	212.8	8.0	373.4	25.3	575.2	66.4	144.0	4.6	92.9	0.0
	2036	48	148.7	4.4	220.7	7.9	399.7	26.3	650.2	75.0	148.6	4.6	92.9	0.0
	2037	49	153.1	4.4	228.7	8.0	426.9	27.2	735.1	84.9	153.1	4.5	93.0	0.1
	15年間平均増減数		-	4.4	-	9.1	-	21.5	-	40.8	-	4.4	-	0.6
採用推計式		-		-		-		-		◎		-		
推計式		-		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$		
算定根拠	a=	-		-162.11		224.66		1.81		4.56		8.87		
	b=	-		7.976		-19.445		1.130		1.001		0.339		
	c=	-		-		0.481		-		-		-		
	Y ₀ =	-		-		-		-		39.000		-		
	t ₀ =	-		-		-		-		24.000		-		
	K=	-		-		-		-		-		93.000		
	r=	-		0.811078		0.824097		0.812397		0.806488		0.798899		

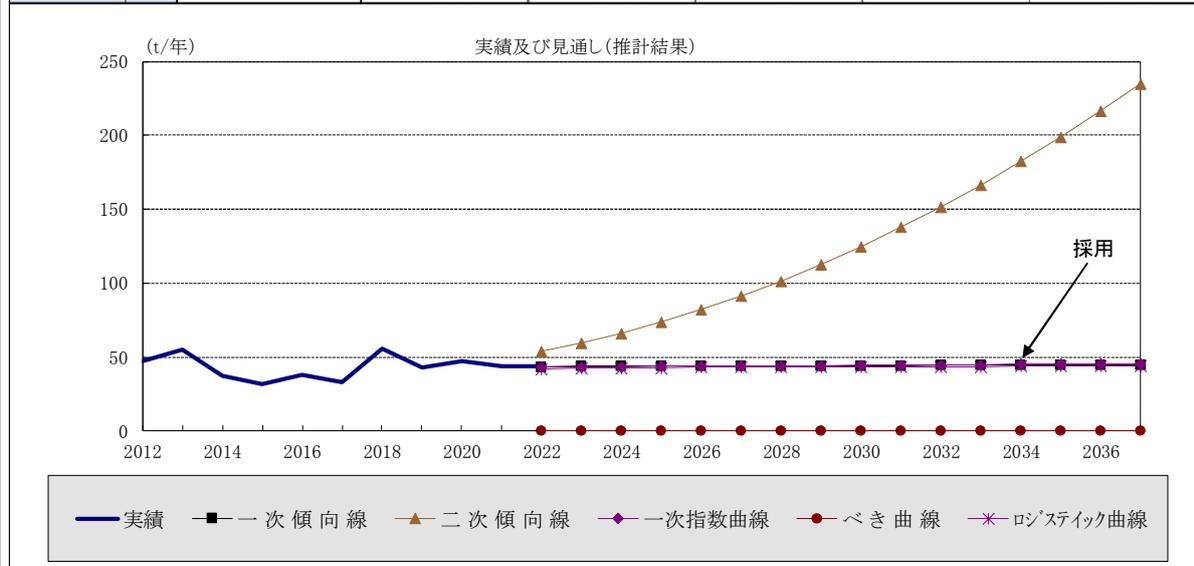


◆図表 2-22 直接搬入粗大ごみの推計結果

(単位:t/年)



年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
見通し	2022	34	44.1	0.1	43.7	-0.3	53.8	9.8	43.3	-0.7	-	42.2	-1.8
	2023	35	44.1	0.0	43.8	0.1	59.5	5.7	43.5	0.2	-	42.4	0.2
	2024	36	44.2	0.1	43.8	0.0	66.0	6.5	43.6	0.1	-	42.7	0.3
	2025	37	44.2	0.0	43.9	0.1	73.5	7.5	43.8	0.2	-	42.9	0.2
	2026	38	44.3	0.1	44.0	0.1	81.9	8.4	44.0	0.2	-	43.1	0.2
	2027	39	44.3	0.0	44.1	0.1	91.2	9.3	44.1	0.1	-	43.2	0.1
	2028	40	44.4	0.1	44.2	0.1	101.5	10.3	44.3	0.2	-	43.3	0.1
	2029	41	44.5	0.1	44.3	0.1	112.7	11.2	44.4	0.1	-	43.4	0.1
	2030	42	44.5	0.0	44.3	0.0	124.8	12.1	44.6	0.2	-	43.5	0.1
	2031	43	44.6	0.1	44.4	0.1	137.8	13.0	44.8	0.2	-	43.6	0.1
し	2032	44	44.6	0.0	44.5	0.1	151.7	13.9	44.9	0.1	-	43.7	0.1
	2033	45	44.7	0.1	44.6	0.1	166.6	14.9	45.1	0.2	-	43.7	0.0
	2034	46	44.7	0.0	44.7	0.1	182.4	15.8	45.2	0.1	-	43.8	0.1
	2035	47	44.8	0.1	44.8	0.1	199.1	16.7	45.4	0.2	-	43.8	0.0
	2036	48	44.8	0.0	44.9	0.1	216.8	17.7	45.6	0.2	-	43.8	0.0
	2037	49	44.9	0.1	44.9	0.0	235.3	18.5	45.7	0.1	-	43.9	0.1
	15年間平均増減数			0.1	-	0.1	-	12.0	-	0.1	-	-	-
採用推計式		-		◎		-		-		-		-	
推計式		-		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$	
算定根拠	a=	-		40.78		412.33		38.32		-		2.78	
	b=	-		0.085		-26.256		1.004		-		0.174	
	c=	-		-		0.462		-		-		-	
	Y ₀ =	-		-		-		-		47.000		-	
	t ₀ =	-		-		-		-		24.000		-	
	K=	-		-		-		-		-		44.000	
	r=	-		0.258927		0.391649		0.219544		-		0.033496	

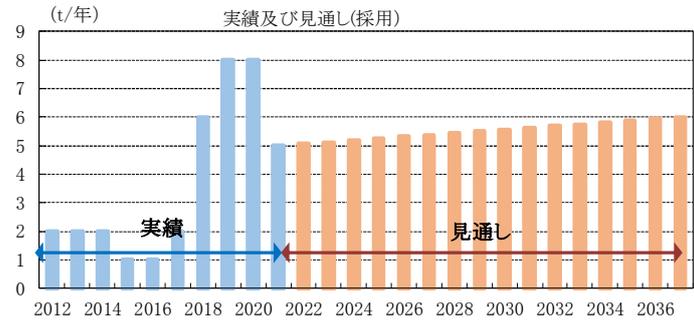


※べき曲線は測定不可

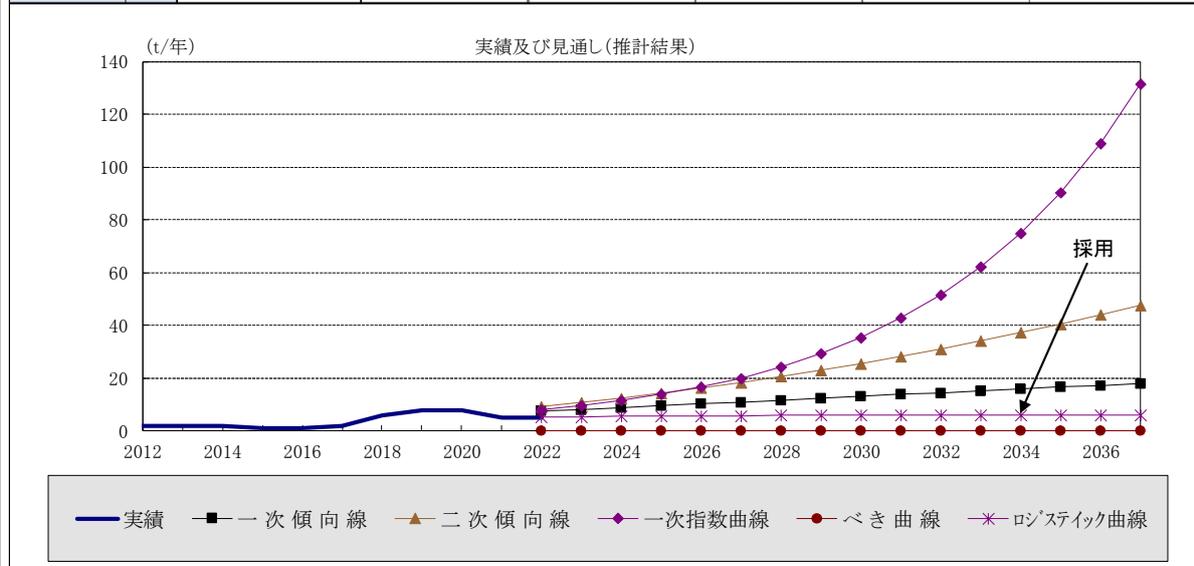
◆図表 2-23 直接搬入ペットボトル・発泡スチロールごみの推計結果

(単位:t/年)

和泊町		直搬ペットボトル他			
西暦	tの値	採用値	増減数		
実績	2012	24	2	-	
	2013	25	2	0	
	2014	26	2	0	
	2015	27	1	-1	
	2016	28	1	0	
	2017	29	2	1	
	見通し	2018	30	6	4
		2019	31	8	2
		2020	32	8	0
		2021	33	5	-3
平均増減数			-	0	



年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線			
		採用値	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数				
見通し	2022	34	5.1	0.1	7.5	2.5	9.1	4.1	7.9	2.9	-	-	5.2	0.2	
	2023	35	5.1	0.0	8.2	0.7	10.7	1.6	9.5	1.6	-	-	5.4	0.2	
	2024	36	5.2	0.1	8.9	0.7	12.4	1.7	11.5	2.0	-	-	5.6	0.2	
	2025	37	5.3	0.1	9.6	0.7	14.2	1.8	13.8	2.3	-	-	5.7	0.1	
	2026	38	5.3	0.0	10.3	0.7	16.2	2.0	16.7	2.9	-	-	5.8	0.1	
	2027	39	5.4	0.1	11.0	0.7	18.4	2.2	20.1	3.4	-	-	5.8	0.0	
	2028	40	5.4	0.0	11.7	0.7	20.6	2.2	24.3	4.2	-	-	5.9	0.1	
	2029	41	5.5	0.1	12.4	0.7	23.1	2.5	29.3	5.0	-	-	5.9	0.0	
	2030	42	5.6	0.1	13.1	0.7	25.6	2.5	35.4	6.1	-	-	5.9	0.0	
	2031	43	5.6	0.0	13.8	0.7	28.3	2.7	42.7	7.3	-	-	6.0	0.1	
通し	2032	44	5.7	0.1	14.5	0.7	31.2	2.9	51.5	8.8	-	-	6.0	0.0	
	2033	45	5.8	0.1	15.2	0.7	34.2	3.0	62.1	10.6	-	-	6.0	0.0	
	2034	46	5.8	0.0	15.9	0.7	37.3	3.1	74.9	12.8	-	-	6.0	0.0	
	2035	47	5.9	0.1	16.6	0.7	40.6	3.3	90.3	15.4	-	-	6.0	0.0	
	2036	48	5.9	0.0	17.3	0.7	44.1	3.5	109.0	18.7	-	-	6.0	0.0	
	2037	49	6.0	0.1	18.0	0.7	47.6	3.5	131.5	22.5	-	-	6.0	0.0	
	15年間平均増減数			0.1	-	0.8	-	2.7	-	7.9	-	-	-	0.1	
採用推計式		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎		
推計式		-	-	$Y_t=a+b \times t$	-	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	-	$Y_t=a+b^t$	-	$Y_t=Y_0 a \times (t-t_0)^b$	-	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$			
算定根拠	a=	-	-	-16.16	-	41.70	-	0.01	-	-	-	9.79			
	b=	-	-	0.697	-	-3.405	-	1.206	-	-	-	0.344			
	c=	-	-	-	-	0.072	-	-	-	-	-	-			
	Y0=	-	-	-	-	-	-	-	-	2.000	-	-			
	t0=	-	-	-	-	-	-	-	-	24.000	-	-			
	K=	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.000		
	r=	-	-	-	0.751831	-	0.806738	-	0.736600	-	-	-	0.799829		



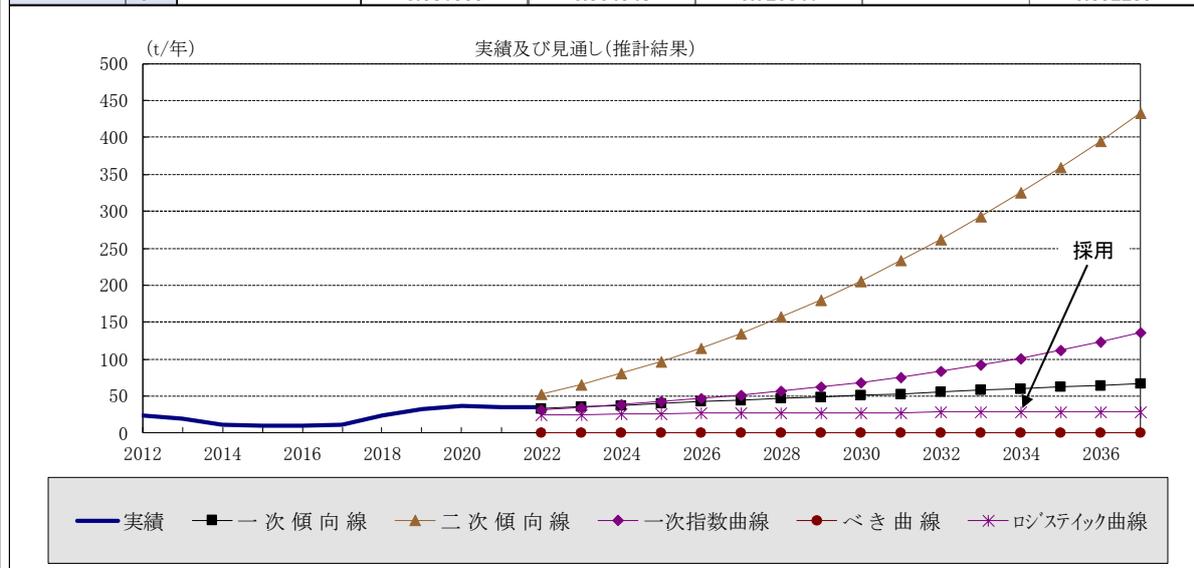
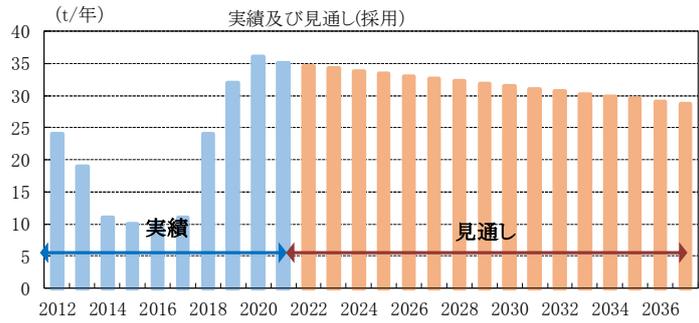
※べき曲線は測定不可

◆図表 2-24 直接搬入ダンボールの推計結果

(単位:t/年)

和泊町		直搬ダンボール		
西暦	tの値	tの値	増減数	
実績	2012	24	24	—
	2013	25	19	-5
	2014	26	11	-8
	2015	27	10	-1
	2016	28	10	0
	2017	29	11	1
	2018	30	24	13
	2019	31	32	8
	2020	32	36	4
	2021	33	35	-1
平均増減数		—	1.2	

年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)	増減数	一次傾向線 増減数	二次傾向線 増減数	一次指数曲線 増減数	べき曲線 増減数	ロジスティック曲線 増減数						
見通し	2022	34	34.6	-0.4	33.4	-1.6	53.0	18.0	31.9	-3.1	—	—	24.6	-10.4
	2023	35	34.2	-0.4	35.6	2.2	65.9	12.9	35.1	3.2	—	—	25.2	0.6
	2024	36	33.8	-0.4	37.8	2.2	80.6	14.7	38.7	3.6	—	—	25.8	0.6
	2025	37	33.4	-0.4	40.1	2.3	97.0	16.4	42.6	3.9	—	—	26.3	0.5
	2026	38	33.0	-0.4	42.3	2.2	115.3	18.3	46.9	4.3	—	—	26.7	0.4
	2027	39	32.6	-0.4	44.5	2.2	135.3	20.0	51.6	4.7	—	—	27.0	0.3
	2028	40	32.2	-0.4	46.7	2.2	157.1	21.8	56.9	5.3	—	—	27.3	0.3
	2029	41	31.9	-0.3	48.9	2.2	180.7	23.6	62.6	5.7	—	—	27.6	0.3
	2030	42	31.5	-0.4	51.1	2.2	206.0	25.3	69.0	6.4	—	—	27.8	0.2
	2031	43	31.1	-0.4	53.4	2.3	233.2	27.2	76.0	7.0	—	—	28.0	0.2
2032	44	30.7	-0.4	55.6	2.2	262.1	28.9	83.7	7.7	—	—	28.2	0.2	
2033	45	30.3	-0.4	57.8	2.2	292.8	30.7	92.2	8.5	—	—	28.3	0.1	
2034	46	29.9	-0.4	60.0	2.2	325.3	32.5	101.5	9.3	—	—	28.4	0.1	
2035	47	29.5	-0.4	62.2	2.2	359.5	34.2	111.8	10.3	—	—	28.5	0.1	
2036	48	29.1	-0.4	64.5	2.3	395.6	36.1	123.1	11.3	—	—	28.6	0.1	
2037	49	28.7	-0.4	66.7	2.2	433.4	37.8	135.6	12.5	—	—	28.7	0.1	
15年間平均増減数		—	-0.4	—	2.0	—	24.9	—	6.3	—	—	—	—	-0.4
採用推計式		—	—	—	—	—	—	—	—	◎				
推計式		—	—	$Y_t=a+b \times t$	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	$Y_t=a+b^t$	$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$						
算定根拠	a=	—	—	-42.02	673.66	1.20	—	4.42						
	b=	—	—	2.218	-48.520	1.101	—	0.181						
	c=	—	—	—	0.890	—	—	—						
	Y ₀ =	—	—	—	—	—	24,000	—						
	t ₀ =	—	—	—	—	—	24,000	—						
	K=	—	—	—	—	—	—	29,000						
	r=	—	—	0.631559	0.904943	0.720041	—	0.592239						



※べき曲線は測定不可

5 知名町におけるごみ排出量の推計

知名町における各種ごみ排出量の推計について以下に示します。

(1) 収集ごみ

ア 燃えるごみ

推計結果を図表 2-25 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは増加傾向となっていました、平成 29 年度を境に減少傾向となっています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は+7 g/人・日（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、平成 30 年度～令和 3 年度までの平均増減数は-1 g/人・日となっており、過去 10 年間の平均増減数は 3 g/人・日となります。

推計結果は、「二次傾向線」は減少傾向を示し、「一次傾向線」、「一次指数曲線」及び「べき曲線」が緩やかな増加傾向を示し、「ロジスティック曲線」はほぼ横ばいの傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が最も近く、相関係数が高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

イ 燃えないごみ・空き缶・その他

推計結果を図表 2-26 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは減少傾向となっていました、平成 30 年度に増加し、その後、減少傾向となっています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は-2 g/人・日（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、平成 30 年度～令和 3 年度までの平均増減数は 1 g/人・日となっており、過去 10 年間の平均増減数は-0.4 g/人・日となります。

推計結果は、「二次傾向線」は増加傾向を示し、その他の推計式は全てほぼ横ばいの傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が最も近く、かつ相関係数が高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

ウ 空きビン

推計結果を図表 2-27 に示します。

過去 10 年間の実績は、減少傾向となっており、過去 10 年間の平均増減数は-1.1 g/人・日となります。

推計結果は、「一次傾向線」、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」が緩やかな減少傾向を示し、「ロジスティック曲線」は減少傾向を示しました。また、「べき曲線」のみ増加傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が最も近相関係数が高い「一次指数曲線」を採用することとします。

エ ペットボトル・発泡スチロール

推計結果を図表 2-28 に示します。

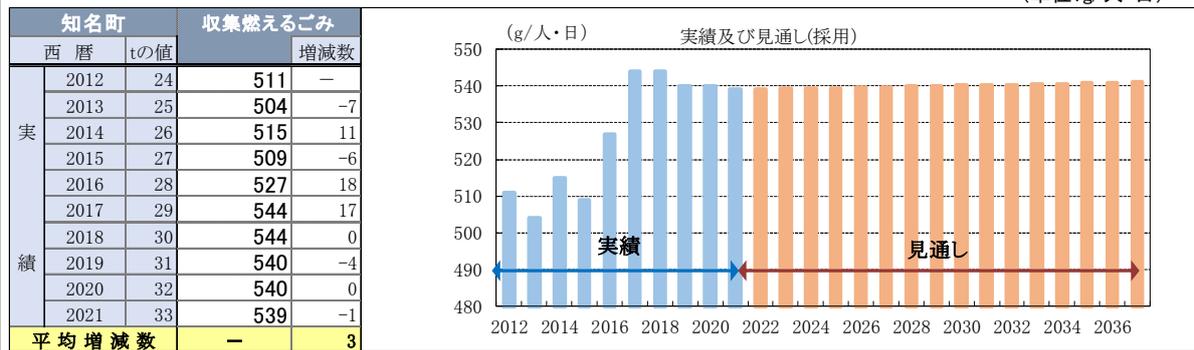
過去 10 年間の実績は、増加傾向となっており、過去 10 年間の平均増減数は+0.9 g/人・日となります。

推計結果は、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」はゆるやかな増加傾向を示しました。

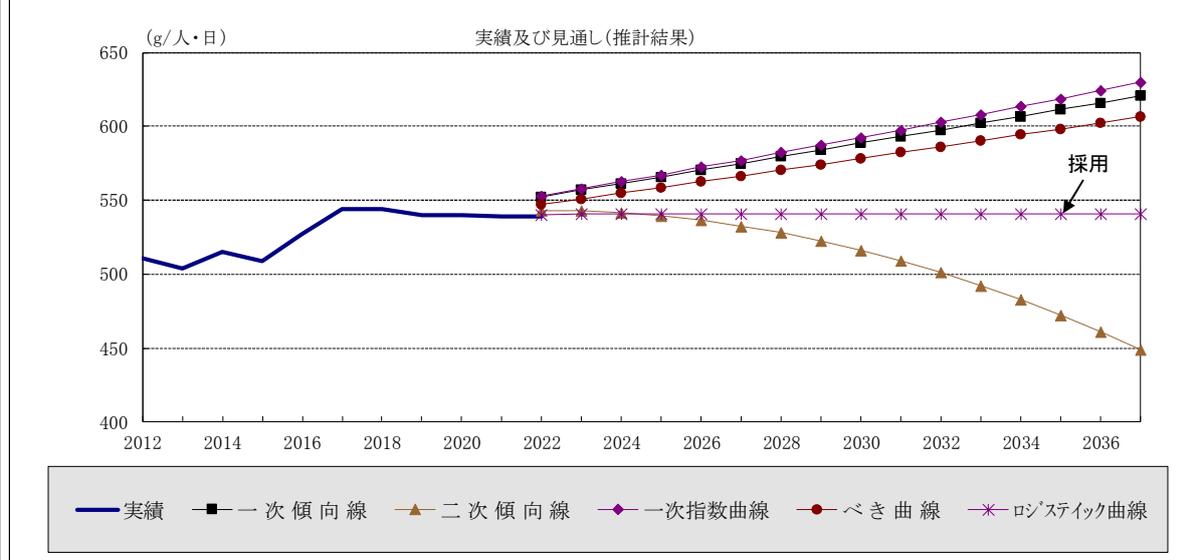
以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が最も近く、相関係数が高い「べき曲線」を採用することとします。

◆図表 2-25 収集燃えるごみの推計結果

(単位:g/人・日)



年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	539.1	0.1	552.3	13.3	543.2	4.2	552.8	13.8	547.1	8.1	540.4	1.4
	2023	35	539.3	0.2	556.9	4.6	542.7	-0.5	557.7	4.9	550.9	3.8	540.6	0.2
	2024	36	539.4	0.1	561.4	4.5	541.4	-1.3	562.5	4.8	554.8	3.9	540.8	0.2
	2025	37	539.5	0.1	566.0	4.6	539.3	-2.1	567.4	4.9	558.7	3.9	540.9	0.1
	2026	38	539.6	0.1	570.5	4.5	536.4	-2.9	572.4	5.0	562.6	3.9	540.9	0.0
	2027	39	539.8	0.2	575.1	4.6	532.6	-3.8	577.3	4.9	566.5	3.9	540.9	0.0
	2028	40	539.9	0.1	579.6	4.5	528.0	-4.6	582.4	5.1	570.5	4.0	541.0	0.1
	2029	41	540.0	0.1	584.2	4.6	522.5	-5.5	587.4	5.0	574.4	3.9	541.0	0.0
	2030	42	540.1	0.1	588.7	4.5	516.2	-6.3	592.6	5.2	578.4	4.0	541.0	0.0
	2031	43	540.3	0.2	593.3	4.6	509.1	-7.1	597.7	5.1	582.4	4.0	541.0	0.0
	2032	44	540.4	0.1	597.8	4.5	501.2	-7.9	602.9	5.2	586.4	4.0	541.0	0.0
	2033	45	540.5	0.1	602.4	4.6	492.4	-8.8	608.2	5.3	590.4	4.0	541.0	0.0
	2034	46	540.6	0.1	607.0	4.6	482.8	-9.6	613.5	5.3	594.5	4.1	541.0	0.0
	2035	47	540.8	0.2	611.5	4.5	472.3	-10.5	618.8	5.3	598.5	4.0	541.0	0.0
	2036	48	540.9	0.1	616.1	4.6	461.1	-11.2	624.2	5.4	602.5	4.0	541.0	0.0
2037	49	541.0	0.1	620.6	4.5	448.9	-12.2	629.7	5.5	606.6	4.1	541.0	0.0	
15年間平均増減数			0.1	—	5.1	—	-5.6	—	5.7	—	4.2	—	0.1	
採用推計式			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	
推計式			—	—	$Y_t=a+b \times t$	—	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	—	$Y_t=a+b^t$	—	$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$	—	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$	
算定根拠	a=	—	—	—	397.58	—	62.58	—	411.63	—	3.12	—	8.79	
	b=	—	—	—	4.552	—	28.302	—	1.009	—	1.063	—	0.461	
	c=	—	—	—	—	—	-0.417	—	—	—	—	—	—	
	Y ₀ =	—	—	—	—	—	—	—	—	—	511.000	—	—	
	t ₀ =	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24.000	—	—	
	K=	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	541.000	
	r=	—	—	—	0.860901	—	0.882831	—	0.850565	—	0.850109	—	0.802447	



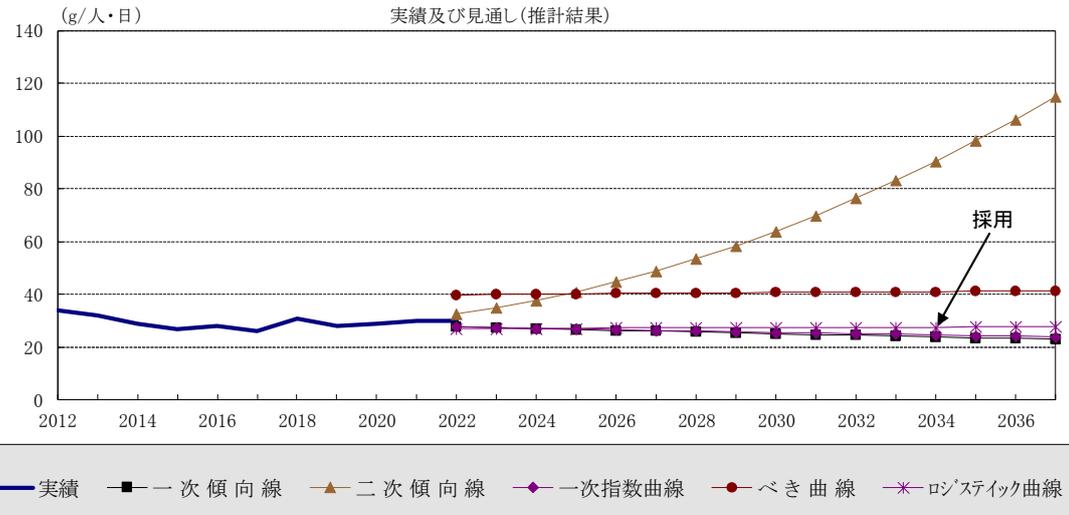
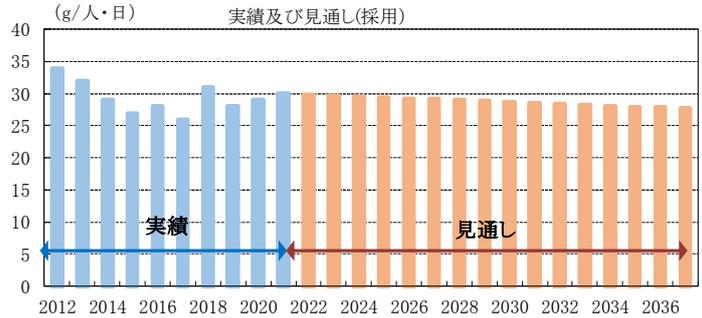
◆図表 2-26 収集燃えないごみ・空き缶・その他の推計結果

(単位:g/人・日)

知名町		収集燃えないごみ		
西暦	tの値	採択値	増減数	
実績	2012	24	34	-
	2013	25	32	-2
	2014	26	29	-3
	2015	27	27	-2
	2016	28	28	1
	2017	29	26	-2
	2018	30	31	5
	2019	31	28	-3
	2020	32	29	1
	2021	33	30	1
平均増減数		-	-0.4	

年度	tの値	採用値 (補正值)	増減数	一次傾向線 増減数	二次傾向線 増減数	一次指数曲線 増減数	べき曲線 増減数	ロジスティック曲線 増減数						
見通し	2022	34	29.9	-0.1	27.7	-2.3	32.6	2.6	27.7	-2.3	39.9	9.9	27.0	-3.0
	2023	35	29.7	-0.2	27.4	-0.3	34.9	2.3	27.5	-0.2	40.0	0.1	27.1	0.1
	2024	36	29.6	-0.1	27.0	-0.4	37.8	2.9	27.2	-0.3	40.1	0.1	27.1	0.0
	2025	37	29.4	-0.2	26.7	-0.3	41.0	3.2	26.9	-0.3	40.3	0.2	27.2	0.1
	2026	38	29.3	-0.1	26.4	-0.3	44.7	3.7	26.7	-0.2	40.4	0.1	27.3	0.1
	2027	39	29.1	-0.2	26.1	-0.3	48.9	4.2	26.4	-0.3	40.5	0.1	27.3	0.0
	2028	40	29.0	-0.1	25.8	-0.3	53.5	4.6	26.1	-0.3	40.6	0.1	27.4	0.1
	2029	41	28.9	-0.1	25.5	-0.3	58.5	5.0	25.9	-0.2	40.7	0.1	27.4	0.0
	2030	42	28.7	-0.2	25.1	-0.4	64.0	5.5	25.6	-0.3	40.8	0.1	27.5	0.1
	2031	43	28.6	-0.1	24.8	-0.3	70.0	6.0	25.4	-0.2	40.9	0.1	27.5	0.0
2032	44	28.4	-0.2	24.5	-0.3	76.4	6.4	25.1	-0.3	41.0	0.1	27.6	0.1	
2033	45	28.3	-0.1	24.2	-0.3	83.2	6.8	24.9	-0.2	41.0	0.0	27.6	0.0	
2034	46	28.1	-0.2	23.9	-0.3	90.5	7.3	24.6	-0.3	41.1	0.1	27.6	0.0	
2035	47	28.0	-0.1	23.6	-0.3	98.2	7.7	24.4	-0.2	41.2	0.1	27.7	0.1	
2036	48	27.8	-0.2	23.3	-0.3	106.4	8.2	24.1	-0.3	41.3	0.1	27.7	0.0	
2037	49	27.7	-0.1	22.9	-0.4	115.0	8.6	23.9	-0.2	41.3	0.0	27.7	0.0	
15年間平均増減数			-0.1	-	-0.4	-	5.3	-	-0.4	-	0.7	-	-0.1	

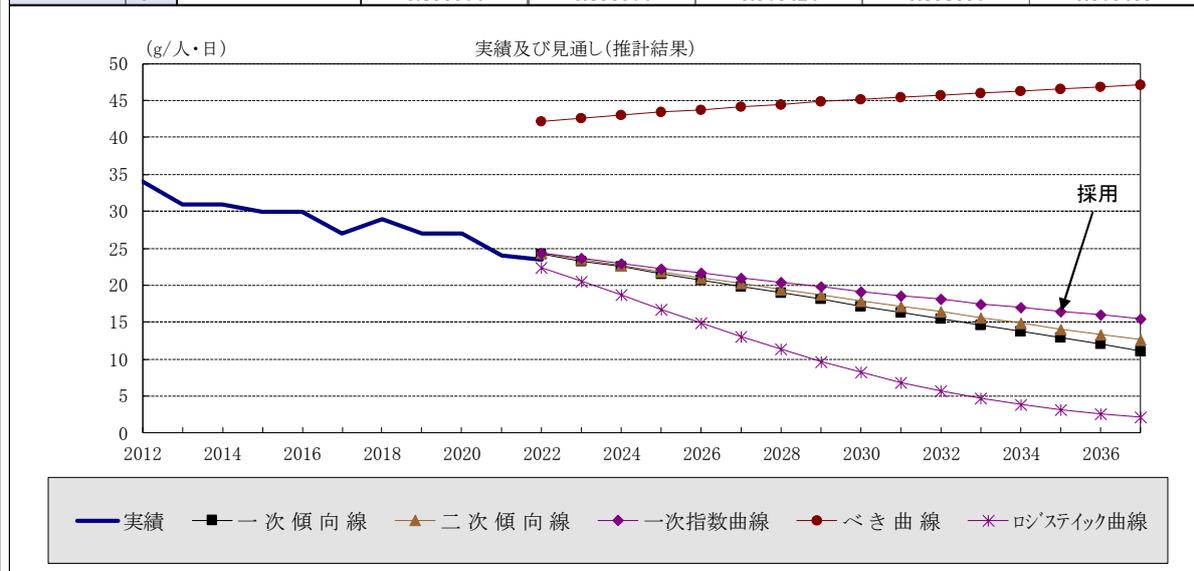
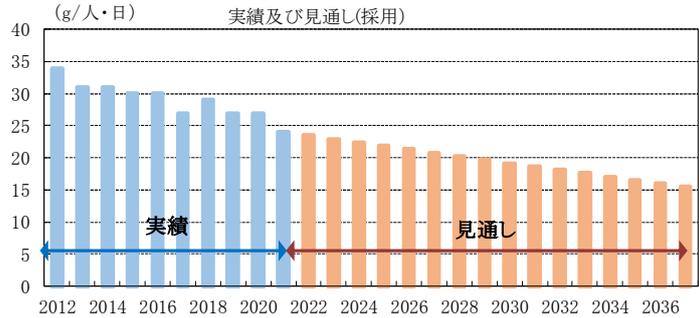
採用推計式	-	-	-	-	-	◎	
推計式	-	$Y_t=a+b \times t$	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	$Y_t=a+b^t$	$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$	
算定根拠	a=	-	38.38	218.06	38.98	3.35	-0.40
	b=	-	-0.315	-13.054	0.990	0.244	0.085
	c=	-	-	0.223	-	-	-
	Y ₀ =	-	-	-	-	34.000	-
	t ₀ =	-	-	-	-	24.000	-
	K=	-	-	-	-	-	28.000
	r=	-	0.258599	0.804415	0.336581	0.600425	0.786334



◆図表 2-27 収集空きビンの推計結果

(単位:g/人・日)

知名町		収集空きびん												
西暦	tの値	採用値	増減数											
実績	2012	24	34	—										
	2013	25	31	-3										
	2014	26	31	0										
	2015	27	30	-1										
	2016	28	30	0										
	2017	29	27	-3										
	2018	30	29	2										
	2019	31	27	-2										
	2020	32	27	0										
	2021	33	24	-3										
平均増減数		—	-1.1											
年度	tの値	採用値 (補正值)	増減数	一次傾向線 増減数	二次傾向線 増減数	一次指数曲線 増減数	べき曲線 増減数	ロジスティック曲線 増減数						
見通し	2022	34	23.5	-0.5	24.2	0.2	24.3	0.3	24.4	0.4	42.2	18.2	22.4	-1.6
	2023	35	22.9	-0.6	23.3	-0.9	23.5	-0.8	23.7	-0.7	42.6	0.4	20.6	-1.8
	2024	36	22.4	-0.5	22.5	-0.8	22.6	-0.9	23.0	-0.7	43.0	0.4	18.7	-1.9
	2025	37	21.9	-0.5	21.6	-0.9	21.8	-0.8	22.3	-0.7	43.4	0.4	16.8	-1.9
	2026	38	21.3	-0.6	20.7	-0.9	21.0	-0.8	21.7	-0.6	43.7	0.3	14.9	-1.9
	2027	39	20.8	-0.5	19.8	-0.9	20.2	-0.8	21.0	-0.7	44.1	0.4	13.1	-1.8
	2028	40	20.3	-0.5	19.0	-0.8	19.4	-0.8	20.4	-0.6	44.4	0.3	11.3	-1.8
	2029	41	19.8	-0.5	18.1	-0.9	18.7	-0.7	19.8	-0.6	44.8	0.4	9.7	-1.6
	2030	42	19.2	-0.6	17.2	-0.9	17.9	-0.8	19.2	-0.6	45.1	0.3	8.2	-1.5
	2031	43	18.7	-0.5	16.3	-0.9	17.1	-0.8	18.6	-0.6	45.4	0.3	6.9	-1.3
し	2032	44	18.2	-0.5	15.5	-0.8	16.4	-0.7	18.1	-0.5	45.7	0.3	5.7	-1.2
	2033	45	17.6	-0.6	14.6	-0.9	15.6	-0.8	17.5	-0.6	46.0	0.3	4.7	-1.0
	2034	46	17.1	-0.5	13.7	-0.9	14.9	-0.7	17.0	-0.5	46.3	0.3	3.9	-0.8
	2035	47	16.6	-0.5	12.9	-0.8	14.1	-0.8	16.5	-0.5	46.6	0.3	3.2	-0.7
	2036	48	16.0	-0.6	12.0	-0.9	13.4	-0.7	16.0	-0.5	46.9	0.3	2.6	-0.6
	2037	49	15.5	-0.5	11.1	-0.9	12.7	-0.7	15.5	-0.5	47.2	0.3	2.1	-0.5
15年間平均増減数		—	-0.5	—	-0.8	—	-0.7	—	-0.5	—	1.5	—	-1.4	
採用推計式		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
推計式		—	—	$Y_t=a+b \times t$	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	$Y_t=a+b^t$	$Y_t=Y_0+a \times (t-t_0)^b$	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$						
算定根拠	a=	—	—	53.87	56.92	68.48	2.43	-8.30						
	b=	—	—	-0.873	-1.089	0.970	0.526	-0.225						
	c=	—	—	—	0.004	—	—	—						
	Y ₀ =	—	—	—	—	—	34.000	—						
	t ₀ =	—	—	—	—	—	24.000	—						
	K=	—	—	—	—	—	—	34.000						
r=	—	—	0.896014	0.896014	0.915424	0.898691	0.910465							

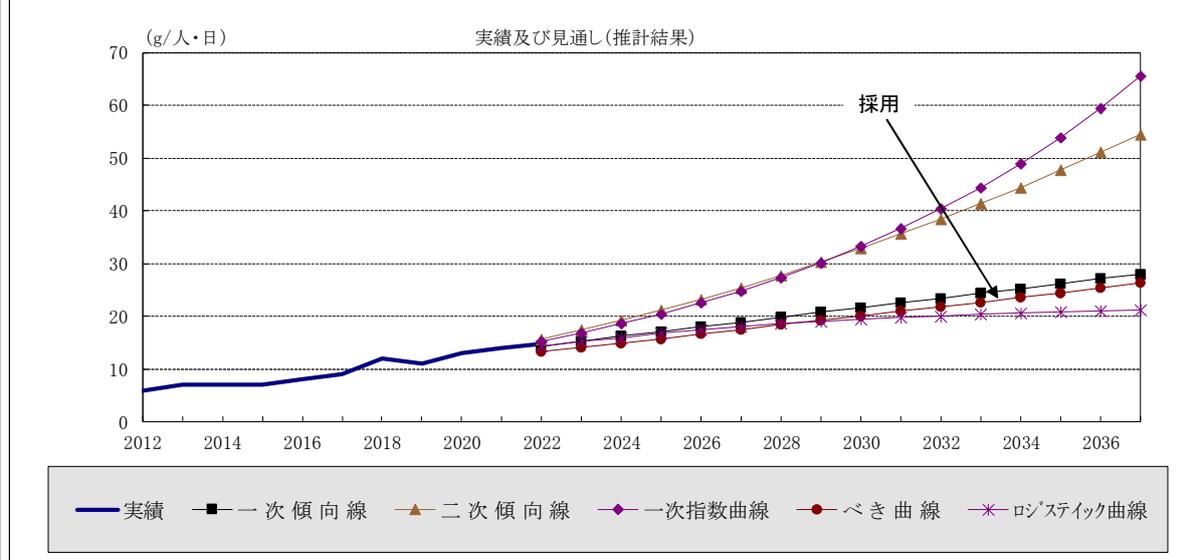


◆図表 2-28 収集ペットボトル・発泡スチロールごみの推計結果

(単位:g/人・日)



知名町		収集ペットボトル他													
西暦	tの値	採用値	増減数												
実績	2012	24	6	-											
	2013	25	7	1											
	2014	26	7	0											
	2015	27	7	0											
	2016	28	8	1											
	2017	29	9	1											
	2018	30	12	3											
	2019	31	11	-1											
	2020	32	13	2											
	2021	33	14	1											
平均増減数		-	0.9												
年度	tの値	採用値	増減数	一次傾向線	二次傾向線	一次指数曲線	べき曲線	ロジスティック曲線							
		(補正值)		増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数						
見通し	2022	34	14.8	0.8	14.4	0.4	15.8	1.8	15.3	1.3	13.4	-0.6	14.4	0.4	
	2023	35	15.5	0.7	15.3	0.9	17.5	1.7	16.9	1.6	14.2	0.8	15.3	0.9	
	2024	36	16.3	0.8	16.2	0.9	19.3	1.8	18.6	1.7	15.0	0.8	16.0	0.7	
	2025	37	17.1	0.8	17.1	0.9	21.2	1.9	20.5	1.9	15.8	0.8	16.8	0.8	
	2026	38	17.8	0.7	18.0	0.9	23.3	2.1	22.6	2.1	16.7	0.9	17.4	0.6	
	2027	39	18.6	0.8	18.9	0.9	25.5	2.2	24.9	2.3	17.5	0.8	18.0	0.6	
	2028	40	19.4	0.8	19.9	1.0	27.8	2.3	27.4	2.5	18.4	0.9	18.6	0.6	
	2029	41	20.2	0.8	20.8	0.9	30.3	2.5	30.2	2.8	19.2	0.8	19.0	0.4	
	2030	42	20.9	0.7	21.7	0.9	32.9	2.6	33.3	3.1	20.1	0.9	19.5	0.5	
	2031	43	21.7	0.8	22.6	0.9	35.6	2.7	36.6	3.3	21.0	0.9	19.8	0.3	
通し	2032	44	22.5	0.8	23.5	0.9	38.4	2.8	40.4	3.8	21.8	0.8	20.1	0.3	
	2033	45	23.2	0.7	24.4	0.9	41.4	3.0	44.5	4.1	22.7	0.9	20.4	0.3	
	2034	46	24.0	0.8	25.3	0.9	44.5	3.1	49.0	4.5	23.6	0.9	20.6	0.2	
	2035	47	24.8	0.8	26.2	0.9	47.7	3.2	53.9	4.9	24.5	0.9	20.9	0.3	
	2036	48	25.5	0.7	27.1	0.9	51.1	3.4	59.4	5.5	25.4	0.9	21.0	0.1	
	2037	49	26.3	0.8	28.0	0.9	54.6	3.5	65.5	6.1	26.3	0.9	21.2	0.2	
	15年間平均増減数			0.8	-	0.9	-	2.5	-	3.2	-	0.8	-	0.5	
採用推計式		-		-		-		-		◎		-			
推計式		-		$Y_t=a+b \times t$		$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Y_0 a \times (t-t_0)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$			
算定根拠	a=	-		-16.51		35.26		0.57		0.58		5.25			
	b=	-		0.909		-2.761		1.102		1.105		0.173			
	c=	-		-		0.064		-		-		-			
	Y0=	-		-		-		-		6.000		-			
	t0=	-		-		-		-		24.000		-			
	K=	-		-		-		-		-		22.000			
	r=	-		0.956733		0.969311		0.971094		0.977660		0.971094			



(2) 直接搬入ごみ

ア 燃えるごみ

推計結果を図表 2-29 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向となっており、過去 10 年間の平均増減数は+19t/年となります。

推計結果は、推計式ごとに増加数は異なりますが全て増加傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が近く、かつ相関係数が高い「べき曲線」を採用することとします。

イ 燃えないごみ・空き缶・その他

推計結果を図表 2-30 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 29 年度までは減少傾向となっていました、平成 30 年度に大きく増加し、その後、再び減少傾向となっています。

上述した傾向から、平成 29 年度までの平均増減数は-2t/年（6 年間：平成 24 年度～平成 29 年度）、平成 30 年度～令和 3 年度までの平均増減数は-6t/年となっており、過去 10 年間の平均増減数は+1.0t/年となります。

推計結果は、「一次傾向線」、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」は増加傾向を示し、「べき曲線」及び「ロジスティック曲線」はほぼ横ばいの傾向を示しました。

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が最も近く、相関係数が高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

ウ 粗大ごみ

推計結果を図表 2-31 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にあり、過去 10 年間の平均増減数は+0.8t/年となります。

推計結果は、「一次傾向線」、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」は緩やかな増加傾向を示し、「ロジスティック曲線」はほぼ横ばいの傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が同値であり、相関係数が高い「一次傾向線」を採用することとします。

エ ペットボトル・発泡スチロール

推計結果を図表 2-32 に示します。

過去 10 年間の実績は、平成 26 年度までは横ばいで推移し、平成 27 年度～平成 28 年度に減少、その後平成 30 年度まで増加したのちに横ばいで推移しています。

上述した傾向から、過去 10 年間の平均増減数は+0.2t/年となります。

推計結果は、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」及び「ロジスティック曲線」が緩やかな増加傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が近く、相関係数が高い「ロジスティック曲線」を採用することとします。

オ ダンボール

推計結果を図表 2-33 に示します。

過去 10 年間の実績は、年度により増減はあるものの、経年的には増加傾向にあり、過去 10 年間の平均増減数は+2.2t/年となります。

推計結果は、「二次傾向線」及び「一次指数曲線」が増加傾向を示し、「一次傾向線」及び「ロジスティック曲線」が緩やかな増加傾向を示しました。（「べき曲線」は測定不可となりました。）

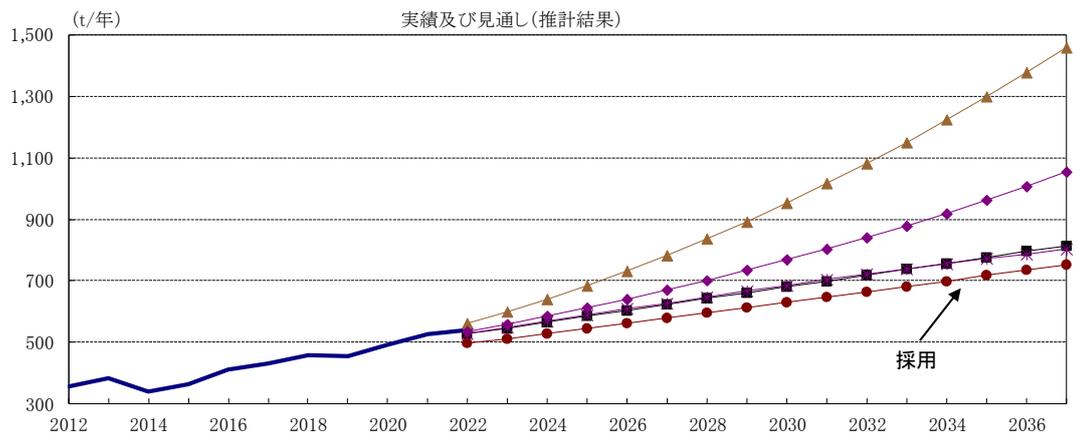
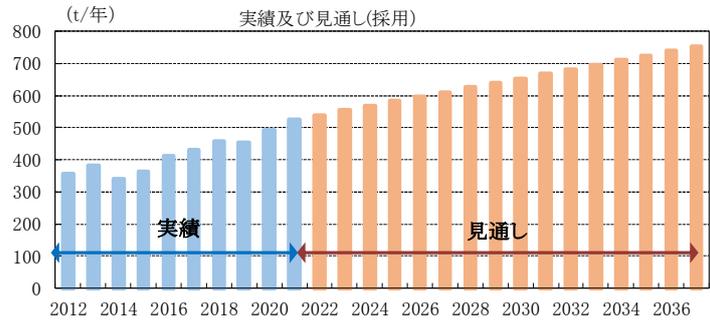
以上のことから、過去の実績を踏まえ、平均増減数の値が近く、相関係数が高い「一次傾向線」を採用することとします。

◆図表 2-29 直接搬入燃えるごみの推計結果

(単位:t/年)

知名町		直搬燃えるごみ		
西暦	tの値	tの値	増減数	
実績	2012	24	356	
	2013	25	383	
	2014	26	341	
	2015	27	363	
	2016	28	411	
	2017	29	431	
	見通し	2018	30	459
		2019	31	454
		2020	32	492
		2021	33	526
平均増減数		-	19	

年度	tの値	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線		
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数			
見通し	2022	34	540.2	14.2	527	1.1	562	35.6	535	9.3	497	-29	529	3.1
	2023	35	554.4	14.2	546	19.2	600	37.9	560	24.7	513	16.1	549	20.0
	2024	36	568.6	14.2	566	19.2	641	41.1	586	25.9	529	16.2	569	20.1
	2025	37	582.8	14.2	585	19.2	685	44.2	613	27.0	545	16.4	589	19.9
	2026	38	597.0	14.2	604	19.2	732	47.4	641	28.3	562	16.6	609	19.8
	2027	39	611.2	14.2	623	19.2	783	50.4	671	29.6	579	16.7	628	19.5
	2028	40	625.4	14.2	642	19.2	836	53.6	702	31.0	596	16.9	648	19.3
	2029	41	639.6	14.2	661	19.1	893	56.8	734	32.4	613	17.1	667	18.9
通	2030	42	653.7	14.1	681	19.2	953	59.8	768	33.9	630	17.1	685	18.6
	2031	43	667.9	14.2	700	19.2	1,016	63.0	804	35.5	647	17.3	703	18.2
	2032	44	682.1	14.2	719	19.2	1,082	66.2	841	37.1	664	17.4	721	17.8
	2033	45	696.3	14.2	738	19.2	1,151	69.2	880	38.8	682	17.5	739	17.3
	2034	46	710.5	14.2	757	19.2	1,224	72.4	920	40.6	700	17.7	755	16.8
	2035	47	724.7	14.2	777	19.2	1,299	75.5	963	42.5	717	17.7	772	16.2
し	2036	48	738.9	14.2	796	19.2	1,378	78.6	1,007	44.5	735	17.9	787	15.7
	2037	49	753.1	14.2	815	19.2	1,460	81.8	1,054	46.5	753	17.9	802	15.2
15年間平均増減数				14.2	-	18.1	-	58.3	-	33.0	-	14.2	-	17.3
採用推計式			-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-
推計式			-	-	$Y_t=a+b \times t$	-	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	-	$Y_t=a+b^t$	-	$Y_t=Y_0 \times (t-t_0)^b$	-	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$	-
算定根拠	a=	-	-	-	-125.25	-	1,132.52	-	115.34	-	10.36	-	2.58	
	b=	-	-	-	19.188	-	-69.983	-	1.046	-	1.133	-	0.076	
	c=	-	-	-	-	-	1.564	-	-	-	-	-	-	
	Y ₀ =	-	-	-	-	-	-	-	-	-	356.000	-	-	
	t ₀ =	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24.000	-	-	
	K=	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,063.000	
	r=	-	-	-	-	0.942420	-	0.961293	-	0.950340	-	0.952455	-	0.945729



— 実績 —■— 一次傾向線 —▲— 二次傾向線 —◆— 一次指数曲線 —●— べき曲線 —*— ロジスティック曲線

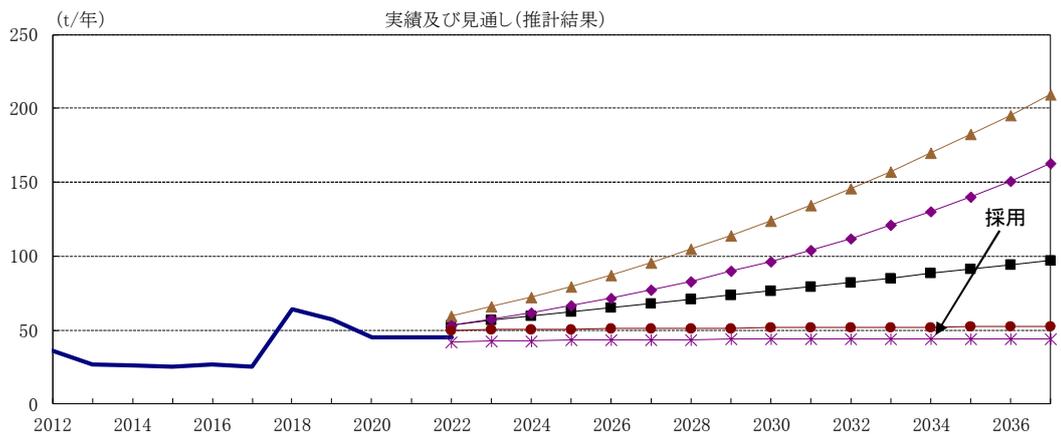
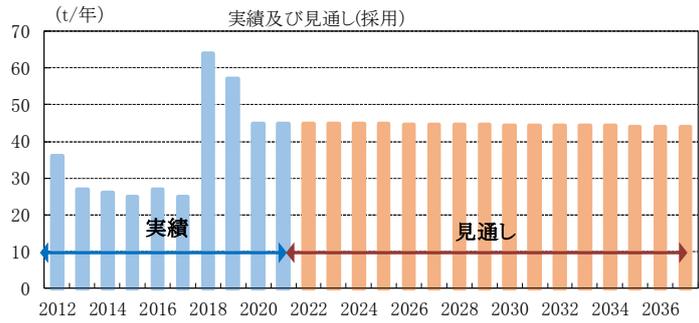
◆図表 2-30 直接搬入燃えないごみ・空き缶・その他の推計結果

(単位:t/年)

知名町		直接搬入燃えないごみ			
西暦	tの値	採用値	増減数		
実績	2012	24	36	-	
	2013	25	27	-9	
	2014	26	26	-1	
	2015	27	25	-1	
	2016	28	27	2	
	2017	29	25	-2	
	績	2018	30	64	39
		2019	31	57	-7
		2020	32	45	-12
		2021	33	45	0
平均増減数		-	-	1.0	

年度	tの値	採用値 (補正值)	増減数	一次傾向線 増減数	二次傾向線 増減数	一次指数曲線 増減数	べき曲線 増減数	ロジスティック曲線 増減数							
見	2022	34	44.9	-0.1	53.6	8.6	59.6	14.6	53.4	8.4	49.9	4.9	42.1	-2.9	
	2023	35	44.9	0.0	56.5	2.9	65.8	6.2	57.5	4.1	50.2	0.3	42.6	0.5	
	2024	36	44.8	-0.1	59.4	2.9	72.5	6.7	61.9	4.4	50.4	0.2	43.0	0.4	
	2025	37	44.8	0.0	62.3	2.9	79.7	7.2	66.7	4.8	50.6	0.2	43.2	0.2	
	2026	38	44.7	-0.1	65.2	2.9	87.5	7.8	71.8	5.1	50.8	0.2	43.4	0.2	
	2027	39	44.6	-0.1	68.1	2.9	95.9	8.4	77.3	5.5	51.0	0.2	43.6	0.2	
	2028	40	44.6	0.0	70.9	2.8	104.8	8.9	83.3	6.0	51.2	0.2	43.7	0.1	
	2029	41	44.5	-0.1	73.8	2.9	114.2	9.4	89.7	6.4	51.4	0.2	43.8	0.1	
	通	2030	42	44.4	-0.1	76.7	2.9	124.2	10.0	96.6	6.9	51.5	0.1	43.8	0.0
		2031	43	44.4	0.0	79.6	2.9	134.7	10.5	104.1	7.5	51.7	0.2	43.9	0.1
2032		44	44.3	-0.1	82.5	2.9	145.8	11.1	112.1	8.0	51.8	0.1	43.9	0.0	
2033		45	44.3	0.0	85.4	2.9	157.4	11.6	120.8	8.7	52.0	0.2	43.9	0.0	
2034		46	44.2	-0.1	88.3	2.9	169.6	12.2	130.1	9.3	52.1	0.1	44.0	0.1	
2035		47	44.1	-0.1	91.2	2.9	182.3	12.7	140.1	10.0	52.2	0.1	44.0	0.0	
2036		48	44.1	0.0	94.1	2.9	195.5	13.2	150.9	10.8	52.4	0.2	44.0	0.0	
2037		49	44.0	-0.1	97.0	2.9	209.3	13.8	162.5	11.6	53	0.1	44.0	0.0	
15年間平均増減数	-	-	-0.1	-	3.3	-	10.3	-	7.3	-	0.5	-	-0.1	-	

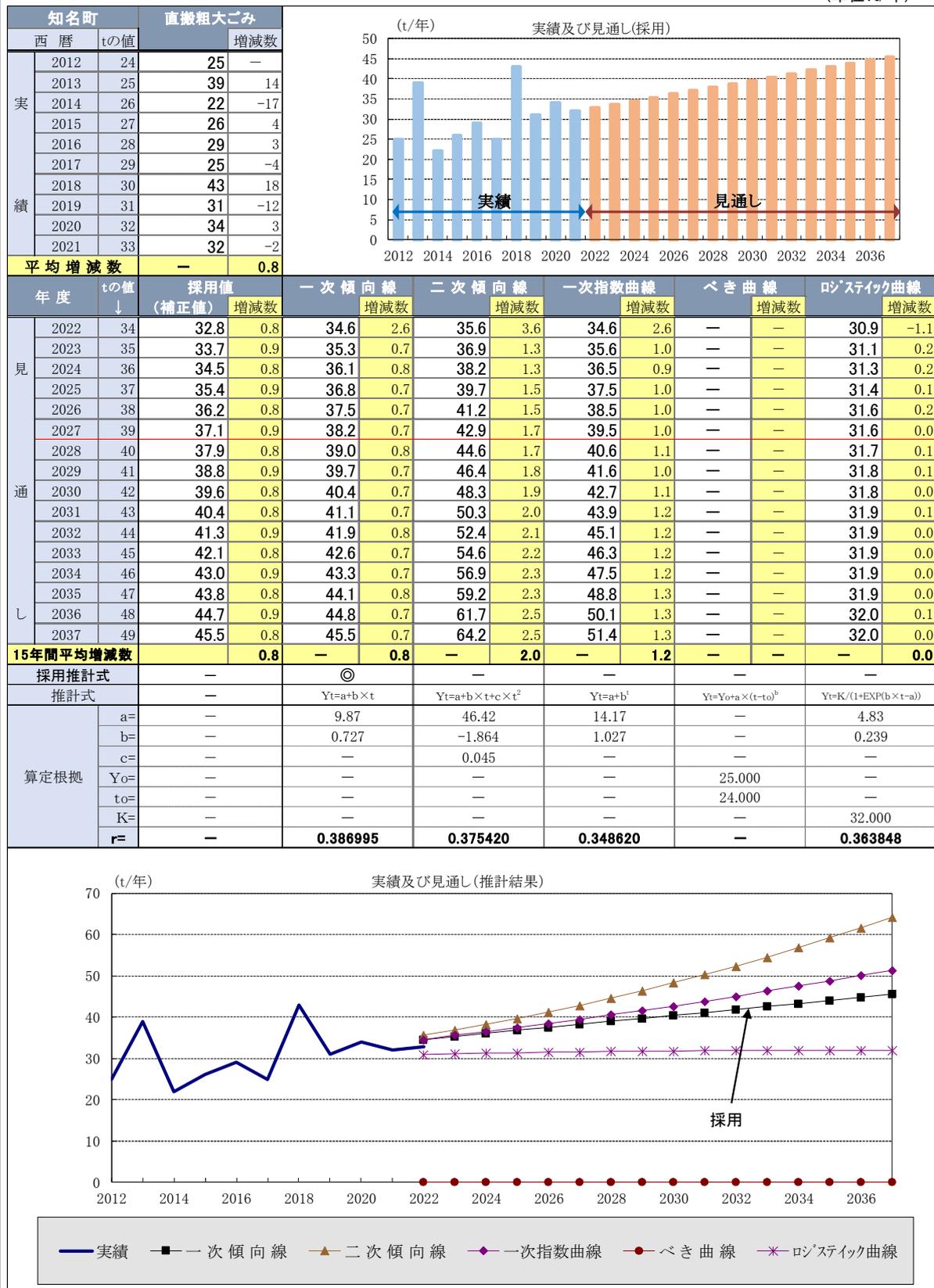
採用推計式	-	-	-	-	-	◎	
推計式	-	$Y_t=a+b \times t$	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	$Y_t=a+b^t$	$Y_t=Y_0 a \times (t-t_0)^b$	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$	
算定根拠	a=	-	-44.69	174.58	4.27	7.65	
	b=	-	2.891	-12.655	1.077	0.183	0.316
	c=	-	-	0.273	-	-	-
	Y ₀ =	-	-	-	-	36.000	-
	t ₀ =	-	-	-	-	24.000	-
	K=	-	-	-	-	-	44.000
	r=	-	0.605011	0.635586	0.616187	0.264299	0.552234



— 実績 —■— 一次傾向線 —▲— 二次傾向線 —◆— 一次指数曲線 —●— べき曲線 —✱— ロジスティック曲線

◆図表 2-31 直接搬入粗大ごみの推計結果

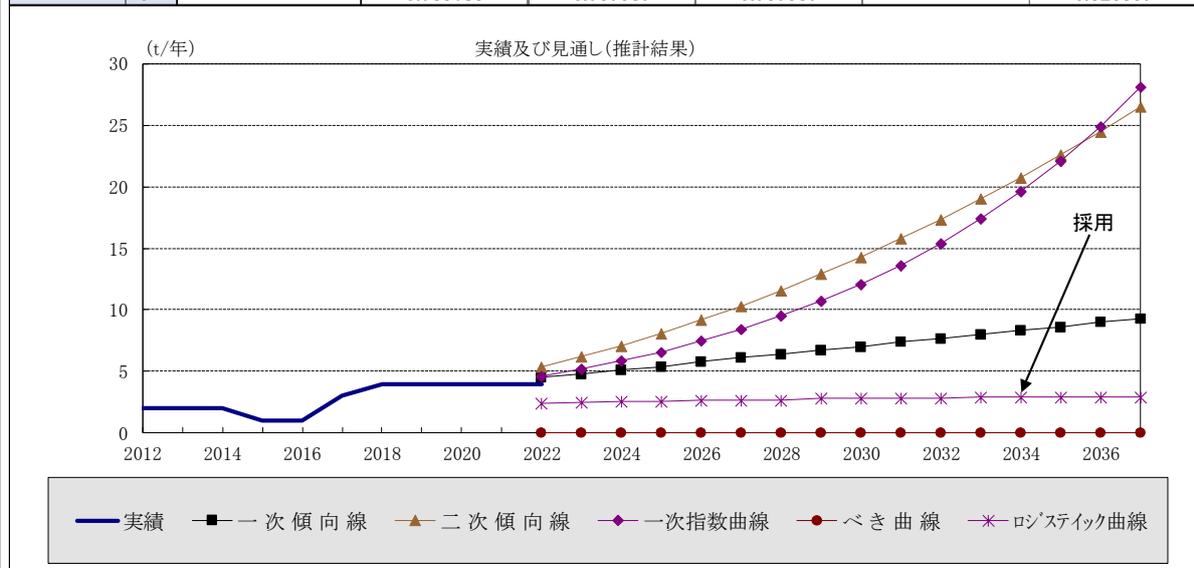
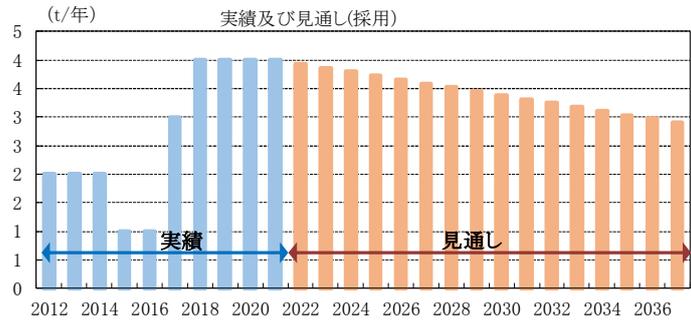
(単位:t/年)



◆図表 2-32 直接搬入ペットボトル・発泡スチロールごみの推計結果

(単位:t/年)

知名町		直搬ペットボトル他												
西暦	tの値	採用値 (補正值)	増減数											
実績	2012	24	2	-										
	2013	25	2	0										
	2014	26	2	0										
	2015	27	1	-1										
	2016	28	1	0										
	2017	29	3	2										
	2018	30	4	1										
	2019	31	4	0										
	2020	32	4	0										
	2021	33	4	0										
平均増減数		-	0.2											
年度	tの値 ↓	採用値 (補正值)	増減数	一次傾向線 増減数	二次傾向線 増減数	一次指数曲線 増減数	べき曲線 増減数	ロジスティック曲線 増減数						
見通	2022	34	3.9	-0.1	4.5	0.5	5.4	1.4	4.6	0.6	-	-	2.4	-1.6
	2023	35	3.9	0.0	4.8	0.3	6.2	0.8	5.2	0.6	-	-	2.5	0.1
	2024	36	3.8	-0.1	5.1	0.3	7.1	0.9	5.9	0.7	-	-	2.6	0.1
	2025	37	3.7	-0.1	5.4	0.3	8.1	1.0	6.6	0.7	-	-	2.6	0.0
	2026	38	3.7	0.0	5.8	0.4	9.2	1.1	7.5	0.9	-	-	2.7	0.1
	2027	39	3.6	-0.1	6.1	0.3	10.3	1.1	8.4	0.9	-	-	2.7	0.0
	2028	40	3.5	-0.1	6.4	0.3	11.6	1.3	9.5	1.1	-	-	2.7	0.0
	2029	41	3.5	0.0	6.7	0.3	12.9	1.3	10.7	1.2	-	-	2.8	0.1
	2030	42	3.4	-0.1	7.0	0.3	14.3	1.4	12.1	1.4	-	-	2.8	0.0
	2031	43	3.3	-0.1	7.4	0.4	15.8	1.5	13.6	1.5	-	-	2.8	0.0
し	2032	44	3.2	-0.1	7.7	0.3	17.3	1.5	15.4	1.8	-	-	2.8	0.0
	2033	45	3.2	0.0	8.0	0.3	19.0	1.7	17.4	2.0	-	-	2.9	0.1
	2034	46	3.1	-0.1	8.3	0.3	20.7	1.7	19.6	2.2	-	-	2.9	0.0
	2035	47	3.0	-0.1	8.6	0.3	22.6	1.9	22.1	2.5	-	-	2.9	0.0
	2036	48	3.0	0.0	9.0	0.4	24.5	1.9	24.9	2.8	-	-	2.9	0.0
	2037	49	2.9	-0.1	9.3	0.3	26.5	2.0	28.1	3.2	-	-	2.9	0.0
	15年間平均増減数		-	-0.1	-	0.3	-	1.4	-	1.5	-	-	-	-
採用推計式		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-
推計式		-	-	$Y_t=a+b \times t$	$Y_t=a+b \times t+c \times t^2$	$Y_t=a+b^t$	$Y_t=Y_0 a \times (t-t_0)^b$	$Y_t=K/(1+EXP(b \times t-a))$						
算定根拠	a=	-	-	-6.45	27.05	0.08	-	3.17						
	b=	-	-	0.321	-2.054	1.128	-	0.137						
	c=	-	-	-	0.042	-	-	-						
	Y ₀ =	-	-	-	-	-	2.000	-						
	t ₀ =	-	-	-	-	-	24.000	-						
	K=	-	-	-	-	-	-	3.000						
	r=	-	-	-	0.739185	0.757937	0.757937	-	0.926367					



※べき曲線は測定不可

◆図表 2-33 直接搬入ダンボールの推計結果

(単位:t/年)



6 本圏域の排出抑制前のごみ排出量

上述してきた本圏域の排出抑制前のごみ排出量の実績と見通しを図表 2-34～36 に示します。

◆図表 2-34 和泊町のごみ排出量の実績と見通し（排出抑制前）

区 分		式(H29~R3)		式(R4~9)		単 位		年 度												
						H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
		実績		実績				中間目標			見 通 し			計画目標						
人口等	(1) 行政区域内人口			推計値			人	6,576	6,510	6,384	6,299	6,216	6,142	6,069	5,995	5,922	5,848	5,775		
	(2) 計画処理区域内人口			(1)と同値				6,576	6,510	6,384	6,299	6,216	6,142	6,069	5,995	5,922	5,848	5,775		
	(3) 計画収集人口			設定値				6,576	6,510	6,384	6,299	6,216	6,142	6,069	5,995	5,922	5,848	5,775		
	(4) 自家処理人口			(2)-(3)				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
原単位	収集 ごみ	(5) 燃えるごみ	(32)/(3)/365	推計値			g/人日	494.4	494.9	503.5	513.4	492.4	495.1	498.2	501.3	504.4	507.5	510.6		
		(6) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/(3)/365	推計値				23.3	23.6	28.9	27.7	27.3	26.8	26.6	26.4	26.2	25.9	25.7		
		(7) 空きビン	(34)/(3)/365	推計値				14.1	15.1	19.4	17.5	17.4	16.4	15.9	15.3	14.7	14.2	13.6		
		(8) 資源ごみ	Σ[(9)]	推計値				6.8	9.5	13.8	14.4	8.7	9.1	9.3	9.4	9.5	9.6	9.8		
		(9) ペットボトル・発泡スチロール	(36)/(3)/365	推計値				6.8	9.5	13.8	14.4	8.7	9.1	9.3	9.4	9.5	9.6	9.6	9.8	
		(10) 計	Σ[(5)~(9)]					537.6	544.1	565.6	573.0	544.8	547.4	550.0	552.4	554.8	557.2	559.7		
		要 処 理 量	日平均 発生量	収集 ごみ	(11) 燃えるごみ	(32)/365	(5)×(3)			3.25	3.23	3.22	3.23	3.06	3.04	3.02	3.01	2.99	2.97	2.95
					(12) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/365	(6)×(3)			0.15	0.16	0.19	0.18	0.17	0.16	0.16	0.16	0.16	0.15	0.15
					(13) 空きビン	(34)/365	(7)×(3)			0.10	0.10	0.12	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.08	0.08
					(14) 資源ごみ	Σ[(15)]	(8)×(3)			0.05	0.07	0.09	0.09	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
(15) ペットボトル・発泡スチロール	(50)/365				(9)×(3)			0.05	0.07	0.09	0.09	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06		
(16) 計	Σ[(16)~(18)]						3.55	3.56	3.62	3.62	3.40	3.36	3.34	3.32	3.30	3.26	3.24			
直接 搬入 ごみ	(17) 燃えるごみ			(38)/365					1.75	1.92	1.69	1.77	1.94	1.98	2.02	2.05	2.09	2.13	2.16	
	(18) 燃えないごみ・空き缶・その他			(39)/365					0.13	0.24	0.31	0.29	0.23	0.24	0.25	0.26	0.28	0.29		
	(19) 粗大ごみ			(40)/365					0.09	0.15	0.12	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12		
	(20) 資源ごみ			Σ[(42)~(43)]					0.04	0.09	0.11	0.12	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	(21) ペットボトル・発泡スチロール	(42)/365					0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01				
(22) ダンボール	(43)/365					0.03	0.07	0.09	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09					
(23) 計	Σ[(27)~(29)]					2.01	2.40	2.23	2.31	2.40	2.44	2.49	2.53	2.59	2.64					
合 計	(24) 燃えるごみ	(11)+(17)					5.00	5.15	4.91	5.00	5.00	5.02	5.04	5.06	5.08	5.10	5.11			
	(25) 燃えないごみ・空き缶・その他	(12)+(18)					0.28	0.40	0.50	0.47	0.40	0.40	0.41	0.42	0.44	0.44				
	(26) 空きビン	(13)					0.10	0.10	0.12	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.08				
	(27) 粗大ごみ	(19)					0.09	0.15	0.12	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12				
	(28) 資源ごみ	(14)+(20)					0.09	0.16	0.20	0.21	0.17	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16				
	(29) ペットボトル・発泡スチロール	(15)+(21)					0.06	0.09	0.11	0.11	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07					
	(30) ダンボール	(22)					0.03	0.07	0.09	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09					
	(31) 計	Σ[(24)~(30)]					5.56	5.96	5.85	5.93	5.80	5.80	5.83	5.85	5.89					
	年 間 発 生 量	収集 ごみ	(32) 燃えるごみ	(5)×(3)×365	実績				1,186.9	1,178.5	1,178.9	1,180.5	1,117.2	1,109.9	1,106.6	1,096.9	1,090.3	1,083.3	1,079.2	
(33) 燃えないごみ・空き缶・その他			(6)×(3)×365					56.0	58.5	69.9	66.2	62.1	60.1	59.1	57.8	56.6	55.3	54.3		
(34) 空きビン			(7)×(3)×365					36.4	36.1	45.5	42.7	39.7	36.8	35.3	33.5	31.8	30.3	28.7		
(35) 資源ごみ			(8)×(3)×365					18.9	25.0	34.7	33.3	22.0	20.4	20.7	20.6	20.5	20.5	20.7		
(36) ペットボトル・発泡スチロール			(9)×(3)×365					18.9	25.0	34.7	33.3	22.0	20.4	20.7	20.6	20.5	20.5	20.7		
(37) 計		Σ[(32)~(36)]					1,298.1	1,298.0	1,329.0	1,322.6	1,241.0	1,227.2	1,221.7	1,208.8	1,199.2	1,189.4	1,182.9			
直接 搬入 ごみ		(38) 燃えるごみ		推計値				638.0	701.2	616.7	645.1	709.2	722.3	735.7	749.0	762.4	775.7	789.1		
		(39) 燃えないごみ・空き缶・その他		推計値				47.9	88.5	114.8	104.8	83.1	87.4	91.8	96.1	100.5	104.9			
		(40) 粗大ごみ		推計値				33.1	56.2	43.3	47.4	43.6	44.1	44.1	44.2	44.2	44.3			
		(41) 資源ごみ		推計値				13.5	30.5	40.0	43.8	40.0	39.7	39.3	39.0	38.7	38.3			
		(42) ペットボトル・発泡スチロール		推計値				2.3	6.2	7.8	7.7	5.2	5.1	5.1	5.2	5.3				
		(43) ダンボール		推計値				11.3	24.4	32.2	36.2	34.9	34.6	34.2	33.8	33.4				
		(44) 計	Σ[(38)~(43)]					732.5	876.4	814.9	841.2	875.9	893.5	910.9	928.3	945.8				
合 計		(45) 燃えるごみ	(32)+(38)					1,824.8	1,879.6	1,795.6	1,825.6	1,826.4	1,832.2	1,842.3	1,845.9	1,852.7	1,859.0	1,868.3		
		(46) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)+(39)					103.8	146.9	184.7	171.0	145.2	147.5	150.9	153.9	157.1	160.2			
		(47) 空きビン	(34)					36.4	36.1	45.5	42.7	39.7	36.8	35.3	33.5	31.8				
		(48) 粗大ごみ	(40)					33.1	56.2	43.3	47.4	43.6	44.1	44.1	44.2	44.2				
		(49) 資源ごみ	(35)+(41)					32.5	55.5	74.7	77.1	62.0	60.1	60.0	59.6	59.2				
		(50) ペットボトル・発泡スチロール	(36)+(42)					21.2	31.2	42.5	40.9	27.2	25.5	25.8	25.8	25.8				
		(51) ダンボール	(43)					11.3	24.4	32.2	36.2	34.9	34.6	34.2	33.8	33.4				
		(52) 計	Σ[(45)~(51)]					2,030.6	2,174.4	2,143.9	2,163.8	2,116.8	2,120.7	2,132.6	2,137.1	2,145.0				

※端数処理のため合計値が合致しない箇所があります。

◆図表 2-35 知名町のごみ排出量の実績と見通し（排出抑制前）

区 分				単 位	年 度													
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
					実 績			中間目標	見 通 し			計画目標						
		式(H29~R3)	式(R4~9)															
人口等	(1)	行政区域内人口		推計値	5,981	5,915	5,787	5,697	5,611	5,514	5,417	5,320	5,223	5,125	5,028			
	(2)	計画処理区域内人口	実績	(1)と同値	5,981	5,915	5,787	5,697	5,611	5,514	5,417	5,320	5,223	5,125	5,028			
	(3)	計画収集人口		設定値	5,981	5,915	5,787	5,697	5,611	5,514	5,417	5,320	5,223	5,125	5,028			
	(4)	自家処理人口		(2)-(3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
(5)	燃えるごみ	(32)/(3)/365		推計値	544.0	544.0	539.8	539.7	539.1	539.1	539.3	539.4	539.5	539.6	539.8			
原単位	(6)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/(3)/365	推計値	26.1	31.0	27.9	28.5	29.8	29.9	29.7	29.6	29.4	29.3	29.1			
	(7)	空きビン	(34)/(3)/365	推計値	26.8	29.2	27.0	26.8	23.7	23.5	22.9	22.4	21.9	21.3	20.8			
	(8)	資源ごみ	Σ[(9)]	推計値	8.5	11.7	10.9	13.4	14.2	14.8	15.5	16.3	17.1	17.8	18.6			
	(9)	ペットボトル・発泡スチロール	(36)/(3)/365	推計値	8.5	11.7	10.9	13.4	14.2	14.8	15.5	16.3	17.1	17.8	18.6			
	(10)	計	Σ[(5)~(9)]		606.4	615.9	605.6	609.4	606.8	607.3	607.4	607.7	607.9	608.0	608.3			
	要 処 理 量	日平均発生量	収集ごみ	(11)	燃えるごみ	(32)/365	(5)×(3)	3.25	3.22	3.13	3.08	3.03	2.97	2.92	2.87	2.82	2.77	2.71
				(12)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/365	(6)×(3)	0.16	0.18	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.16	0.15	0.15	0.15
				(13)	空きビン	(34)/365	(7)×(3)	0.17	0.17	0.16	0.16	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.10
				(14)	資源ごみ	Σ[(15)]	(8)×(3)	0.06	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09
			(15)	ペットボトル・発泡スチロール	(50)/365	(9)×(3)	0.06	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	
(16)			計	Σ[(16)~(18)]		3.64	3.65	3.53	3.49	3.42	3.34	3.28	3.24	3.17	3.12	3.05		
直接搬入ごみ			(17)	燃えるごみ	(38)/365		1.18	1.26	1.24	1.35	1.44	1.48	1.52	1.56	1.60	1.64	1.67	
			(18)	燃えないごみ・空き缶・その他	(39)/365		0.07	0.18	0.16	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
		(19)	粗大ごみ	(40)/365		0.07	0.12	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.10	0.10	0.10		
		(20)	資源ごみ	Σ[(42)~(43)]		0.03	0.04	0.06	0.06	0.08	0.08	0.09	0.09	0.10	0.11	0.11		
(21)		ペットボトル・発泡スチロール	(42)/365		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01			
(22)		ダンボール	(43)/365		0.02	0.03	0.05	0.05	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.10	0.10			
(23)		計	Σ[(27)~(29)]		1.35	1.60	1.54	1.62	1.73	1.77	1.82	1.86	1.92	1.97	2.00			
合 計		(24)	燃えるごみ	(11)+(17)		4.43	4.48	4.37	4.43	4.47	4.45	4.44	4.43	4.42	4.41	4.38		
		(25)	燃えないごみ・空き缶・その他	(12)+(18)		0.23	0.36	0.33	0.29	0.29	0.28	0.28	0.27	0.27	0.27	0.27		
		(26)	空きビン	(13)		0.17	0.17	0.16	0.16	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.10		
	(27)	粗大ごみ	(19)		0.07	0.12	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10			
	(28)	資源ごみ	(14)+(20)		0.09	0.12	0.13	0.14	0.16	0.16	0.17	0.18	0.19	0.20	0.20			
	(29)	ペットボトル・発泡スチロール	(15)+(21)		0.07	0.09	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10			
	(30)	ダンボール	(22)		0.02	0.03	0.05	0.05	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.10	0.10			
	(31)	計	Σ[(24)~(30)]		4.99	5.25	5.07	5.11	5.15	5.11	5.10	5.10	5.09	5.09	5.05			
年間発生量	収集ごみ	(32)	燃えるごみ	(5)×(3)×365	1,187.6	1,174.7	1,145.5	1,124.5	1,104.3	1,085.0	1,066.3	1,047.4	1,028.5	1,009.4	990.7			
		(33)	燃えないごみ・空き缶・その他	(6)×(3)×365	57.0	67.1	61.3	61.5	63.2	60.2	58.7	57.5	56.0	54.8	53.4			
		(34)	空きビン	(7)×(3)×365	60.8	63.3	59.5	57.9	50.8	47.3	45.3	43.5	41.8	39.8	38.2			
		(35)	資源ごみ	(8)×(3)×365	20.9	27.6	25.4	28.0	29.2	29.8	30.6	31.7	32.6	33.3	34.1			
		(36)	ペットボトル・発泡スチロール	(9)×(3)×365	20.9	27.6	25.4	28.0	29.2	29.8	30.6	31.7	32.6	33.3	34.1			
	(37)	計	Σ[(32)~(36)]	1,326.3	1,332.7	1,291.6	1,271.9	1,247.4	1,222.3	1,200.9	1,180.1	1,158.9	1,137.3	1,116.4				
	直接搬入ごみ	(38)	燃えるごみ	推計値	431.4	458.8	453.6	491.8	526.3	540.2	554.4	568.6	582.8	597.0	611.2			
		(39)	燃えないごみ・空き缶・その他	推計値	24.9	64.4	56.8	44.9	45.1	44.9	44.9	44.8	44.8	44.7	44.6			
		(40)	粗大ごみ	推計値	24.8	43.0	30.7	33.8	32.1	32.8	33.7	34.5	35.4	36.2	37.1			
		(41)	資源ごみ	推計値	10.4	15.4	22.1	22.3	28.9	30.9	32.9	34.8	36.7	38.7	40.6			
		(42)	ペットボトル・発泡スチロール	推計値	3.0	4.0	4.3	3.9	3.6	3.9	3.9	3.8	3.7	3.7	3.6			
	(43)	ダンボール	推計値	7.4	11.4	17.8	18.4	25.3	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0				
	(44)	計	Σ[(38)~(43)]	491.5	581.6	563.3	592.8	632.5	648.8	665.9	682.7	699.7	716.6	733.5				
	合 計	(45)	燃えるごみ	(32)+(38)		1,619.1	1,633.5	1,599.0	1,616.3	1,630.6	1,625.2	1,620.7	1,616.0	1,611.3	1,606.4	1,601.9		
(46)		燃えないごみ・空き缶・その他	(33)+(39)		81.9	131.6	118.2	106.4	108.4	105.1	103.6	102.3	100.8	99.5	98.0			
(47)		空きビン	(34)		60.8	63.3	59.5	57.9	50.8	47.3	45.3	43.5	41.8	39.8	38.2			
(48)		粗大ごみ	(40)		24.8	43.0	30.7	33.8	32.1	32.8	33.7	34.5	35.4	36.2	37.1			
(49)		資源ごみ	(35)+(41)		31.3	43.0	47.5	50.3	58.1	60.7	63.5	66.5	69.3	72.0	74.7			
(50)		ペットボトル・発泡スチロール	(36)+(42)		23.9	31.6	29.7	32.0	32.8	33.7	34.5	35.5	36.3	37.0	37.7			
(51)		ダンボール	(43)		7.4	11.4	17.8	18.4	25.3	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0			
(52)		計	Σ[(45)~(51)]		1,817.8	1,914.3	1,854.9	1,864.7	1,879.9	1,871.1	1,866.8	1,862.8	1,858.6	1,853.9	1,849.9			

※端数処理のため合計値が合致しない箇所があります。

◆図表 2-36 本圏域のごみ排出量の実績と見通し（排出抑制前）

区 分				単 位	年 度											
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				実 績					見 通 し							
				計 画 目 標					計 画 目 標							
人口等	(1)	行政区域内人口		推計値	12,557	12,425	12,171	11,996	11,827	11,656	11,486	11,315	11,145	10,973	10,803	
	(2)	計画処理区域内人口	実績	(1)と同値	12,557	12,425	12,171	11,996	11,827	11,656	11,486	11,315	11,145	10,973	10,803	
	(3)	計画収集人口		設定値	12,557	12,425	12,171	11,996	11,827	11,656	11,486	11,315	11,145	10,973	10,803	
	(4)	自家処理人口		(2)-(3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
原単位	(5)	燃えるごみ	(32)/(3)/365	推計値	518.0	517.8	520.7	526.4	513.5	515.9	517.6	519.2	520.8	522.5	524.2	
	(6)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/(3)/365	推計値	23.6	27.6	29.4	29.1	28.0	28.3	28.1	27.9	27.7	27.5	27.3	
	(7)	空きビン	(34)/(3)/365	推計値	21.1	20.9	22.5	22.9	20.9	19.8	19.2	18.6	18.1	17.5	17.0	
	(8)	資源ごみ	Σ[(9)]	推計値	7.6	10.5	13.4	13.0	10.8	11.8	12.2	12.6	13.1	13.4	13.9	
	(9)	ペットボトル・発泡スチロール	(36)/(3)/365	推計値	7.6	10.5	13.4	13.0	10.8	11.8	12.2	12.6	13.1	13.4	13.9	
	(10)	計	Σ[(5)~(9)]		571.3	576.8	586.0	591.4	574.2	575.7	577.1	578.4	579.7	580.9	582.3	
	要 処 理	(11)	燃えるごみ	(32)/365	(5)×(3)	6.51	6.45	6.35	6.32	6.09	6.01	5.94	5.87	5.80	5.73	5.66
		(12)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/365	(6)×(3)	0.31	0.34	0.36	0.35	0.34	0.33	0.32	0.32	0.31	0.30	0.29
		(13)	空きビン	(34)/365	(7)×(3)	0.27	0.27	0.29	0.28	0.25	0.23	0.22	0.21	0.20	0.19	0.18
		(14)	資源ごみ	Σ[(15)]	(8)×(3)	0.11	0.14	0.16	0.17	0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15	0.15
(15)		ペットボトル・発泡スチロール	(50)/365	(9)×(3)	0.11	0.14	0.16	0.17	0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15	0.15	
(16)		計	Σ[(16)~(18)]		7.20	7.20	7.16	7.12	6.82	6.71	6.62	6.54	6.46	6.37	6.28	
(17)		燃えるごみ	(38)/365		2.93	3.18	2.93	3.11	3.38	3.46	3.53	3.61	3.69	3.76	3.84	
(18)		燃えないごみ・空き缶・その他	(39)/365		0.20	0.42	0.47	0.41	0.35	0.36	0.37	0.39	0.40	0.41	0.42	
(19)		粗大ごみ	(40)/365		0.16	0.27	0.20	0.22	0.21	0.21	0.21	0.22	0.22	0.22	0.22	
(20)		資源ごみ	Σ[(42)~(43)]		0.06	0.13	0.17	0.18	0.18	0.19	0.19	0.20	0.20	0.21	0.21	
日 平 均 発 生 量	(21)	ペットボトル・発泡スチロール	(42)/365		0.01	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	(22)	ダンボール	(43)/365		0.05	0.10	0.14	0.15	0.16	0.17	0.17	0.18	0.18	0.19	0.19	
	(23)	計	Σ[(27)~(29)]		3.35	4.00	3.77	3.92	4.12	4.22	4.30	4.42	4.51	4.60	4.69	
	(24)	燃えるごみ	(11)+(17)		9.44	9.63	9.28	9.43	9.47	9.47	9.47	9.48	9.49	9.49	9.50	
	(25)	燃えないごみ・空き缶・その他	(12)+(18)		0.51	0.76	0.83	0.76	0.69	0.69	0.69	0.71	0.71	0.71	0.71	
	(26)	空きビン	(13)		0.27	0.27	0.29	0.28	0.25	0.23	0.22	0.21	0.20	0.19	0.18	
	(27)	粗大ごみ	(19)		0.16	0.27	0.20	0.22	0.21	0.21	0.21	0.22	0.22	0.22	0.22	
	(28)	資源ごみ	(14)+(20)		0.17	0.27	0.33	0.35	0.32	0.33	0.33	0.34	0.35	0.36	0.36	
	(29)	ペットボトル・発泡スチロール	(15)+(21)		0.12	0.17	0.19	0.20	0.16	0.16	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	
	(30)	ダンボール	(22)		0.05	0.10	0.14	0.15	0.16	0.17	0.17	0.18	0.18	0.19	0.19	
(31)	計	Σ[(24)~(30)]		10.55	11.20	10.93	11.04	10.94	10.93	10.92	10.96	10.97	10.97	10.97		
年 間 発 生 量	(32)	燃えるごみ	(5)×(3)×365	実績	2,374.5	2,353.2	2,324.3	2,305.0	2,221.4	2,194.9	2,175.9	2,144.3	2,118.8	2,092.7	2,072.6	
	(33)	燃えないごみ・空き缶・その他	(6)×(3)×365		112.9	125.6	131.2	127.7	125.3	120.3	118.0	115.2	112.7	110.1	107.9	
	(34)	空きビン	(7)×(3)×365		97.1	99.4	105.0	100.6	90.4	84.1	80.7	77.0	73.5	70.2	67.0	
	(35)	資源ごみ	(8)×(3)×365		39.8	52.6	60.1	61.3	51.2	50.2	51.4	52.2	53.1	53.8	54.9	
	(36)	ペットボトル・発泡スチロール	(9)×(3)×365		39.8	52.6	60.1	61.3	51.2	50.2	51.4	52.2	53.1	53.8	54.9	
	(37)	計	Σ[(32)~(36)]		2,624.4	2,630.7	2,620.6	2,594.5	2,488.4	2,449.4	2,425.9	2,388.8	2,358.1	2,326.7	2,302.4	
	(38)	燃えるごみ		推計値	1,069.4	1,160.0	1,070.3	1,136.9	1,235.5	1,262.5	1,290.1	1,317.6	1,345.2	1,372.7	1,400.3	
	(39)	燃えないごみ・空き缶・その他		推計値	72.8	152.9	171.7	149.8	128.3	132.3	136.7	140.9	145.3	149.6	153.9	
	(40)	粗大ごみ		推計値	57.9	99.3	74.1	81.2	75.7	76.9	77.8	78.7	79.6	80.5	81.4	
	(41)	資源ごみ		推計値	23.9	46.0	62.2	66.1	68.9	70.6	72.2	73.8	75.4	77.0	78.6	
合 計	(42)	ペットボトル・発泡スチロール		推計値	5.3	10.2	12.1	11.6	8.8	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	
	(43)	ダンボール		推計値	18.7	35.8	50.0	54.5	60.2	61.6	63.2	64.8	66.4	68.0	69.6	
	(44)	計	Σ[(38)~(43)]		1,224.0	1,458.1	1,378.2	1,433.9	1,508.4	1,542.3	1,576.8	1,611.0	1,645.5	1,679.8	1,714.2	
	(45)	燃えるごみ	(32)+(38)		3,443.9	3,513.1	3,394.6	3,441.9	3,456.9	3,457.4	3,466.0	3,461.9	3,464.0	3,465.4	3,472.9	
	(46)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)+(39)		185.7	278.5	302.9	277.4	253.6	252.6	254.7	256.1	258.0	259.7	261.8	
	(47)	空きビン	(34)		97.1	99.4	105.0	100.6	90.4	84.1	80.7	77.0	73.5	70.2	67.0	
	(48)	粗大ごみ	(40)		57.9	99.3	74.1	81.2	75.7	76.9	77.8	78.7	79.6	80.5	81.4	
	(49)	資源ごみ	(35)+(41)		63.8	98.5	122.2	127.4	120.1	120.8	123.6	126.0	128.5	130.8	133.5	
	(50)	ペットボトル・発泡スチロール	(36)+(42)		45.1	62.8	72.2	72.9	60.0	59.2	60.4	61.2	62.1	62.8	63.9	
	(51)	ダンボール	(43)		18.7	35.8	50.0	54.5	60.2	61.6	63.2	64.8	66.4	68.0	69.6	
(52)	計	Σ[(45)~(51)]		3,848.4	4,088.7	3,998.8	4,028.5	3,996.7	3,991.7	4,002.7	3,999.8	4,003.6	4,006.5	4,016.6		

※端数処理のため合計値が合致しない箇所があります。

資料編－3 排出抑制量

本圏域では、排出抑制・再資源化を促進するため、各種方策の達成及び促進を目標としており、これらの方策を1つでも多く達成及び促進することで、より多くのごみの減量化が図れるものとしています。なお、本圏域の減量化の目標値は国及び鹿児島県の目標値を基に設定することとし、国が示す「第4次循環型社会形成推進基本法」及び鹿児島県が示す「鹿児島県廃棄物処理計画」はともに目標年度が令和7年であり、それぞれ、ごみ排出原単位は850g/人・日、875g/人・日となっています。

よって、本圏域の排出抑制目標は国及び鹿児島県の目標値を参考として以下のように目標値を設定します。

◆図表 3-1 本圏域の排出抑制目標

計画目標年度	令和3年度	令和7年度	令和9年度
ごみ排出原単位	921.0 g/人・日	875 g/人・日	850 g/人・日
R3からの減少率	—	約5.0%	約7.7%
備考	本圏域実績値	鹿児島県のR7目標値	国のR7目標値

なお、上述したように、目標達成に向けては令和3年度実績値から5.0～7.7%削減する必要があります。また、令和元年度からはコロナ禍により生活環境も大きく変わり、それにより各種ごみ排出量についても変化がありました。しかしながら、コロナ禍による影響も収束しつつあることが考えられ、その変化を考慮するために令和4年度(4～1月)実績値と令和3年度の同期間のごみ排出量の変化を考慮した上で、各町の各種ごみ排出原単位の目標値を定めることとします。

1 和泊町の減量化目標

本圏域のごみ排出原単位の目標値(R7:875g/人・日、R9:850g/人・日)を基に設定した和泊町の各種ごみの減量化目標値を以下に示します。

なお、目標値の設定に際しては上述したように、コロナ禍による影響を考慮した上で設定するため、令和3年度(4～1月)実績値から令和4年度(4～1月)実績値の増減によって令和9年度目標値設定の際の参考にすることとします。なお、一例を以下に示します。

目標値設定及び令和4年度実績からの予測値の考え方

①令和4年度実績からの予測値の設定

排出抑制量の目標値設定の際に用いる考え方については過去の実績及び推計値を基に設定しますが、コロナ禍による影響も考慮したいため、令和3年度実績値(4～1月)及び令和4年度実績値(4～1月)を基に令和9年度におけるごみ排出量を予測します。(以下、「令和4年度からの予測値」といいます。)

下表に示すように、燃えるごみ（収集ごみ）は令和4年度（4～1月）実績において、令和3年度（4～1月）実績から-1.8t/年（-0.2%）となっています。

表1 令和3及び4年度の実績（4～1月）

項目	【令和3年度】 実績（4～1月）	増減数 （増減率）	【令和4年度】 実績（4～1月）
例）収集ごみ 燃えるごみ	939.0 t/年	-1.8 t/年 （-0.2%）	937.2 t/年

令和5年度以降も令和4年度（4～1月）実績と同様な推移になると考えると、ごみ排出原単位は以下（R3実績492.4g/人・日×0.2% = 0.98g/人・日×6（R4～9の6年間）≒5.9g/人・日）のようになります。

表2 令和4年度からの予測値

項目	【令和3年度】 実績	増減率 （6年後）	【令和9年度】 R4からの予測値
例）収集ごみ 燃えるごみ	492.4 g/人・日	-0.2%/年 （-1.2%）	486.5 g/人・日

①令和9年度に向けた削減率の目安

令和9年度における削減率の目標値として、コロナ禍による影響も考慮し、令和3年度実績値（4～1月）から令和4年度実績値（4～1月）の増減によって、令和9年度における削減目標を設定します。（以下、この増減によって設定する削減目標を「令和3年度からの削減目標」といいます。）

仮に、令和3年度（4～1月）実績値と比べ、令和4年度（4～1月）実績値が増加している場合は、令和3年度のごみ排出原単位実績から5%削減した数値を令和9年度の削減目標の目安とし、令和3年度（4～1月）実績値と比べ、令和4年度（4～1月）実績値が増加している場合は、令和3年度のごみ排出原単位実績から10%削減した数値を令和9年度の目標の目安とします。ここで、目標の目安としているのは、過去の実績、推計値及び令和4年度からの予測値等と比較した上で、令和9年度の目標値を設定するためです。

以下に、燃えるごみ（収集ごみ）を例にした令和3年度からの削減目標の設定方法を示します。表1にて、燃えるごみの令和4年度（4～1月）実績値は令和3年度（4～1月）実績値から減少していますので、令和9年度における目標削減率は10%となり、令和3年度からの削減目標は440g/人・日となります。

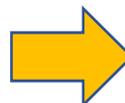
表3 令和3年度からの削減目標

項目	【令和3年度】 実績	R3-R4の増減 （増減率）	【令和9年度】 目標削減率	【令和9年度】 R3からの削減目標
例）収集ごみ 燃えるごみ	492.4 g/人・日	-1.8 t/年 （-0.2%）	10%	440 g/人・日

(1) 収集ごみ

和泊町の本計画目標年度（令和 9 年度）における排出抑制後の収集ごみ排出原単位は以下に示すとおりとなります。

【収集ごみ】	【推計値】 R9	【減量化】 R9
燃えるごみ	510.6 g/人・日	470 g/人・日
燃えないごみ・空き缶・その他	25.7 g/人・日	23.3 g/人・日
空きビン	13.6 g/人・日	13.1 g/人・日
ペットボトル・発泡スチロール	9.8 g/人・日	8.3 g/人・日



ア 燃えるごみ

目標採用値：470g/人・日 ← 実績値(R3)：492.4g/人・日
(-5%)

令和 4 年度（4～1 月）実績値は、令和 3 年度の同期間と比較すると 0.2%減少し、燃えるごみ（収集ごみ）搬入量は、推計と異なり今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に 0.2%ずつ減少（R3 実績 492.4g/人・日×0.2%=0.98g/人・日×6（R4～9 の 6 年間）=5.88≒5.9 g/人・日）したとすると令和 9 年度では 486.5g/人・日になります。

これは、コロナ禍による在宅勤務や自宅時間の増加などの生活様式がコロナ禍前にもどりにつつあることが考えられます。

また、燃えるごみの目標値の設定については図表 3-2～3 に示すように、令和 3 年度からの削減目標は 440g/人・日（10%削減）であり、これは推計値及び令和 4 年度からの予測値よりも高い目標設定となりますが、過去実績を考慮すると達成は困難であると考えられます。

次に、過去実績では過去 5 年間及び 10 年間実績の最小値（477.7g/人・日）を令和 9 年度の目標値とすると、令和 3 年度実績からの削減率は 3.0%となり、令和 9 年度の目標値はまだ高く設定が出来る余地があるとし、令和 3 年度実績から 5%減少した数値を目標値とします。

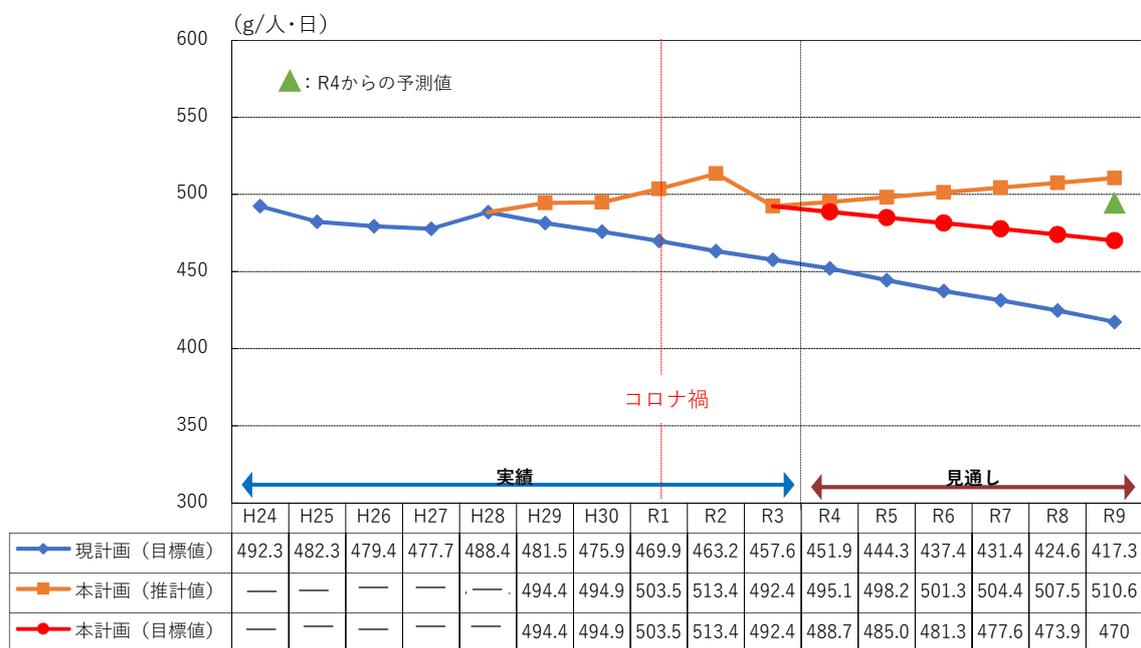
以上のことから、燃えるごみの令和 9 年度目標値は令和 3 年度実績値から 5%減少させた 470g/人・日に設定することとします。

なお、目標値（470g/人・日）を達成することで推計値（510.6g/人・日）から 8.0%の削減となります。

◆図表 3-2 燃えるごみの減量化目標設定

項目	R3実績値 単位	R3実績値 (4~1月) t/年	(R4-R3) 増減(%)	R4実績値 (4~1月) t/年	R9目標値		判定	備考
					g/人・日	R3からの増減率 %		
実績		939.0	-0.2	937.2	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	417.3	-15.3	—	—
推計値		—	—	—	510.6	+3.7	×	R9目標値は推計値より高く設定
R4からの予測値		=-0.2%×6年			486.5	-1.2	×	R9目標値はR4からの予測値より高く設定する
R3からの削減目標	492.4	—	—	—	440	-10	×	過去実績を考慮すると達成が困難
過去5年最小		—	—	—	492.4	0	×	過去10年実績値の方が小さい
過去10年最小		—	—	—	477.7	-3.0	×	減少率が低く、高い目標設定が可能
R3からの削減率		—	—	—	470	-5	○	
採用値		—	—	—	470	-5	—	

◆図表 3-3 燃えるごみの減量化目標



イ 燃えないごみ・空き缶・その他

目標採用値：23.3g/人・日 ⇐ 実績値(R3)：27.3g/人・日
(-14.7%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると10.1%減少していることから、燃えないごみ・空き缶・その他(収集ごみ)搬入量は、推計と同様に今後も減少傾向にて推移するものとし、仮に10.1%ずつ減少(R3実績27.3g/人・日×10.1%=2.76g/人・日×6(R4~9の6年間)≒16.6g/人・日)したとすると令和9年度では10.7g/人・日となり、これは過去10年間の実績を考慮すると現実的ではないと考えられます。

燃えないごみ・空き缶・その他は平成30~令和元年度に大きく増加し、その後は減少傾向となっていることから、コロナ禍による影響とは相関性は小さいものと考えられます。

また、燃えないごみ・空き缶・その他の目標値の設定については図表3-4~5に示すように、令和3年度からの削減目標は24.6g/人・日(10%削減)で、令和4年度からの予測値

は現実的ではありませんが、減少傾向にあることから令和3年度からの削減目標より高い目標が設定できると考えます。

次に、過去実績を比較すると、過去5年間実績最小値は23.3g/人・日（H29）で、令和3年度からの削減目標よりも小さくなるため、令和9年度の目標値は過去5年間の最小値を採用することとします。

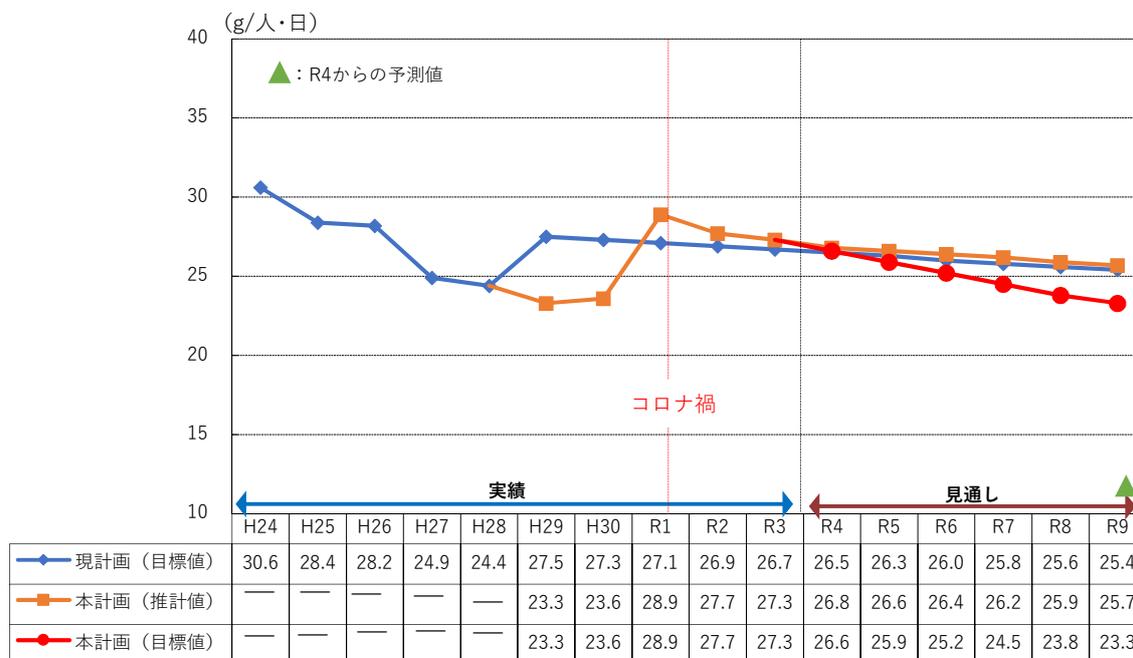
以上のことから、燃えないごみ・空き缶・その他の令和9年度目標値は過去5年間及び10年間実績のうち最小値である平成29年度（23.3g/人・日）と同値に設定することとします。

なお、目標値（23.3g/人・日）を達成することで推計値（25.7g/人・日）から9.3%の削減となります。

◆図表 3-4 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値	(R4-R3)	R4実績値	R9目標値		判定	備考
		(4~1月)			(4~1月)	R3からの増減率		
単位	g/人・日	t/年	増減(%)	t/年	g/人・日	%		
実績	27.3	52.4	-10.1	47.1	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	25.4	-7.0	—	—
推計値		—	—	—	25.7	-5.9	×	R9目標値は推計値より高く設定
R4からの予測値		=-10.1%×6年			10.7	-60.8	×	過去実績を考慮すると非現実的
R3からの削減目標		—	—	—	24.6	-10	×	R4からの予測値は減少傾向、過去5年実績値の方が低い
過去5年最小		—	—	—	23.3	-14.7	○	
過去10年最小		—	—	—	23.3	-14.7	○	
採用値		—	—	—	23.3	-14.7	—	

◆図表 3-5 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標



ウ 空きビン

目標採用値：13.1g/人・日 ⇐ 実績値(R3)：17.4g/人・日
(-25%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると9.1%減少していることから、空きビン(収集ごみ)搬入量は、今後も推計どおり減少傾向にて推移するものとし、仮に9%ずつ減少(R3実績17.4g/人・日×9.1%=1.58g/人・日×6(R4~9の6年間)≒9.5g/人・日)したとすると令和9年度では7.9g/人・日になり、過去10年間の実績を考慮すると現実的ではないと考えられます。

空きビンは平成30~令和元年度に大きく増加し、その後は減少傾向となっていることから、コロナ禍による影響との相関性は小さいと考えられます。

また、空きビンの目標値の設定については図表3-6~7に示すように、令和3年度からの削減目標は15.7g/人・日(10%削減)で、推計値(13.6g/人・日、R3からの削減率:21.8%)の方が小さいため、令和9年度の目標値については、推計値よりも高い目標設定が可能であるとして、令和3年度実績から25%減少した数値とします。

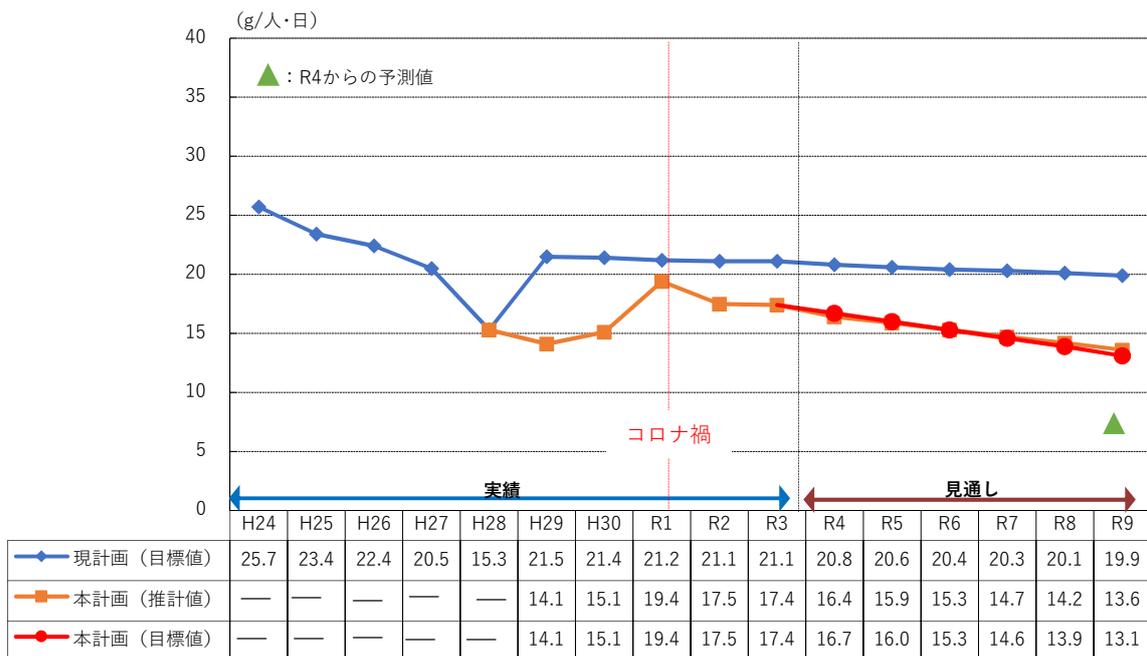
以上のことから、空きビンの令和9年度目標値は令和3年度実績値から25%削減した13.1g/人・日に設定することとします。

なお、目標値(13.1g/人・日)を達成することで推計値(13.6g/人・日)から3.7%の削減となります。

◆図表3-6 空きビンの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					R3からの増減率			
単位	g/人・日	t/年	増減(%)	t/年	g/人・日	%		
実績		32.9	-9.1	29.9	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	19.9	+14.4	—	—
推計値		—	—	—	13.6	-21.8	×	R9目標値は推計値より高く設定
R4からの予測値		=-9.1%×6年			7.9	-54.6	×	過去実績を考慮すると非現実的
R3からの削減目標	17.4	—	—	—	15.7	-10	×	推計値の方が小さい
過去5年最小		—	—	—	14.1	-19.0	×	推計値の方が小さい
過去10年最小		—	—	—	14.1	-19.0	×	推計値の方が小さい
R3からの削減率		—	—	—	13.1	-25	○	
採用値		—	—	—	13.1	-25	—	

◆図表 3-7 空きビンの減量化目標



エ ペットボトル・発泡スチロール

目標採用値：8.3g/人・日 ← 実績値(R3)：8.7g/人・日
(-5%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると41.7%増加していることから、ペットボトル・発泡スチロール(収集ごみ)搬入量は、推計と同様に今後も増加傾向にて推移するものとし、仮に41.7%ずつ増加(R3実績8.7g/人・日×41.7%≒3.63g/人・日×6(R4~9の6年間)≒21.8g/人・日)したとすると令和9年度では30.5g/人・日になります。

ペットボトル・発泡スチロールはコロナ禍により急増し、現状においてもまだその影響が続いていると考えられます。

また、ペットボトル・発泡スチロールの目標値の設定については図表3-8~9に示すように、令和3年度からの削減目標は8.3g/人・日(5%削減)で、これは推計値及び令和4年度からの予測値よりも高い目標設定となっています。

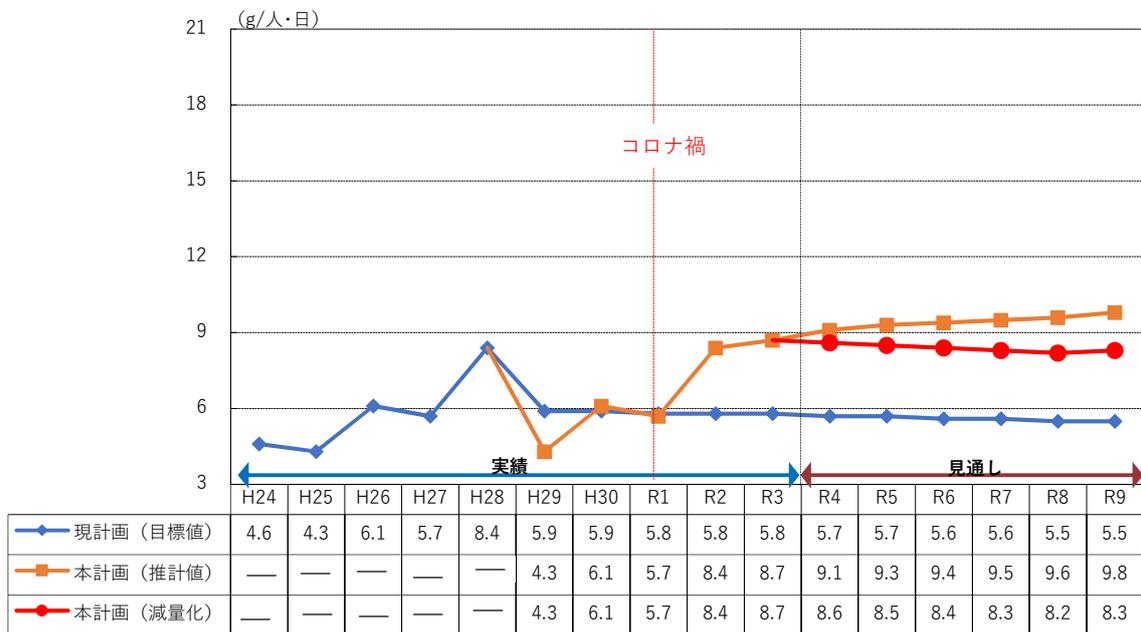
以上のことからペットボトル・発泡スチロールの令和9年度目標値は令和3年度実績値から5%減少させた8.3g/人・日に設定することとします。

なお、目標値(8.3g/人・日)を達成することで推計値(9.8g/人・日)から15.3%の削減となります。

◆図表 3-8 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標設定

項目	R3実績値 単位	R3実績値 (4~1月) t/年	(R4-R3) 増減(%)	R4実績値 (4~1月) t/年	R9目標値		判定	備考
					g/人・日	R3からの増減率 %		
実績		18.2	41.7	25.8	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	5.5	-36.8	—	—
推計値		—	—	—	9.8	+12.6	×	R9目標値は推計値より高く設定
R4からの予測値		= +41.7% × 6年			30.5	+250.6	×	増加しているため不採用
R3からの削減目標		—	—	—	8.3	-5	○	
過去5年最小		—	—	—	4.3	-50.6	—	推計値及びR4からの予測値が増加しており、過度な削減は困難
過去10年最小		—	—	—	4.3	-50.6	—	推計値及びR4からの予測値が増加しており、過度な削減は困難
採用値		—	—	—	8.3	-5	—	

◆図表 3-9 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標



(2) 直接搬入ごみ

和泊町の本計画目標年度（令和 9 年度）における排出抑制後の直接搬入ごみ排出原単位は以下に示すとおりとなります。

【直接搬入ごみ】	【推計値】 R9	【減量化】 R9
燃えるごみ	789.1 t/年	559.0 t/年
燃えないごみ・空き缶・その他	109.3 t/年	78.9 t/年
粗大ごみ	44.3 t/年	33.1 t/年
ペットボトル・発泡スチロール	5.4 t/年	4.4 t/年
ダンボール	32.6 t/年	32.2 t/年

ア 燃えるごみ

目標採用値：559.0t/年 ← 実績値(R3)：709.2t/年
(-21.2%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると2.4%減少しており、燃えるごみ(直接搬入ごみ)搬入量は、推計と異なり今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に2.4%ずつ減少(R3実績709.2t/年×2.4%=17.02t/年×6(R4~9の6年間)=102.12≒102.1t/年)したとすると令和9年度では607.1t/年となります。

これは、収集ごみ(の燃えるごみ)と同様に、コロナ禍による在宅勤務や自宅時間の増加などの生活様式がコロナ禍前にもどりつつあることが考えられます。

また、燃えるごみの目標値の設定については図表3-10~11に示すように、令和3年度からの削減目標は640t/年(10%削減)で、令和4年度からの予測値の方が小さく、令和9年度の目標値はこれよりも高い設定が可能であると考えられます。

次に、過去実績では過去5年間及び10年間実績の最小値は559.0t/年(H26)で、令和4年度からの予測値よりも小さいため、令和9年度目標値は過去実績の最小値を採用することとします。

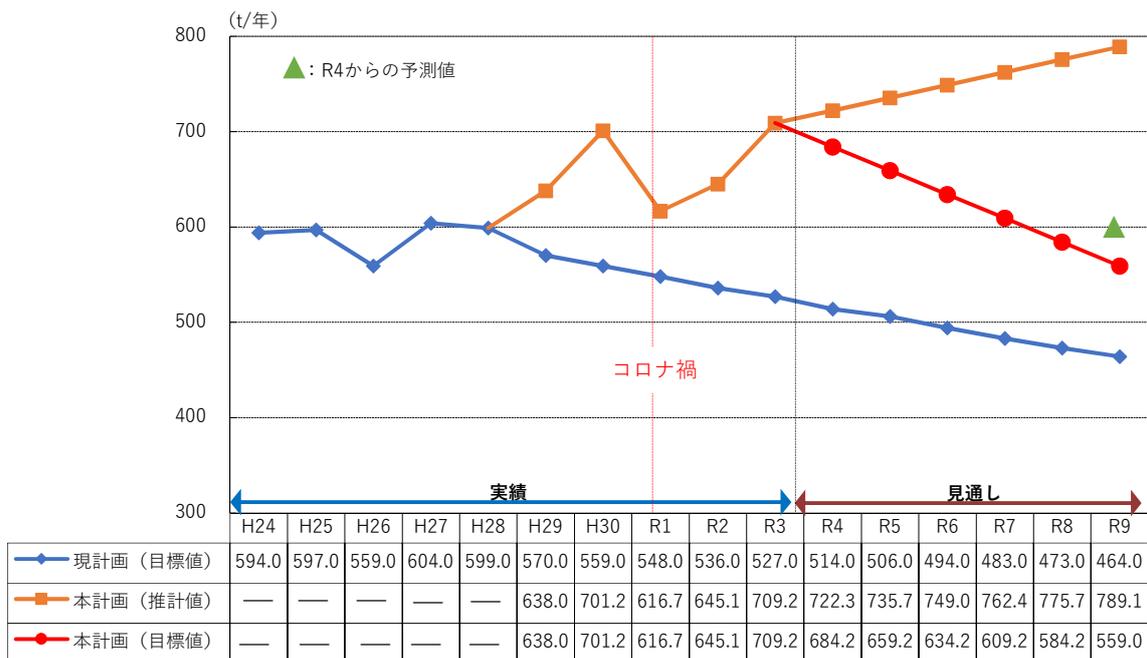
以上のことから、燃えるごみの令和9年度目標値は過去10年間実績のうちの最小値となる559.0t/年(H26)と同値に設定することとします。

なお、目標値(559.0t/年)を達成することで推計値(789.1t/年)から29.2%の削減となります。

◆図表3-10 燃えるごみの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					R3からの増減率			
単位	t/年	t/年	増減(%)	t/年	t/年	%		
実績		607.7	-2.4	593.4	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	464.0	-34.6	—	—
推計値		—	—	—	789.1	+11.3	×	R3実績値の方が小さい
R4からの予測値	709.2	=-2.4%×6年			607.1	-14.4	×	R9目標値はR4からの予測値より高く設定する
R3からの削減率		—	—	—	640	-10	×	R4からの予測値の方が小さい
過去5年最小		—	—	—	616.7	-13.0	×	R4からの予測値の方が小さい
過去10年最小		—	—	—	559.0	-21.2	○	
採用値		—	—	—	559.0	-21.2	—	

◆図表 3-11 燃えるごみの減量化目標



イ 燃えないごみ・空き缶・その他

目標採用値：78.9t/年 ← 実績値(R3)：83.1 t/年
(-5%)

令和 4 年度 (4～1 月) 実績値は、令和 3 年度の同期間と比較すると 7.3%増加しており、燃えないごみ・空き缶・その他 (直接搬入ごみ) 搬入量は、今後推計値以上に増加して推移するものとし、仮に 7.3%ずつ増加 (R3 実績 83.1t/年 × 7.3% = 6.07t/年 × 6 (R4～9 の 6 年間) ÷ 36.4t/年) したとすると令和 9 年度では 119.5t/年となります。

燃えないごみ・空き缶・その他 (直接搬入ごみ) は平成 30～令和元年度に大きく増加しており、コロナ禍による影響との相関性は小さいと考えられます。

また、燃えないごみ・空き缶・その他の目標値の設定については図表 3-12～13 に示すように、令和 3 年度からの削減目標は 78.9t/年 (5%削減) で、これは推計値及び令和 4 年度からの予測値よりも高い目標設定となっています。

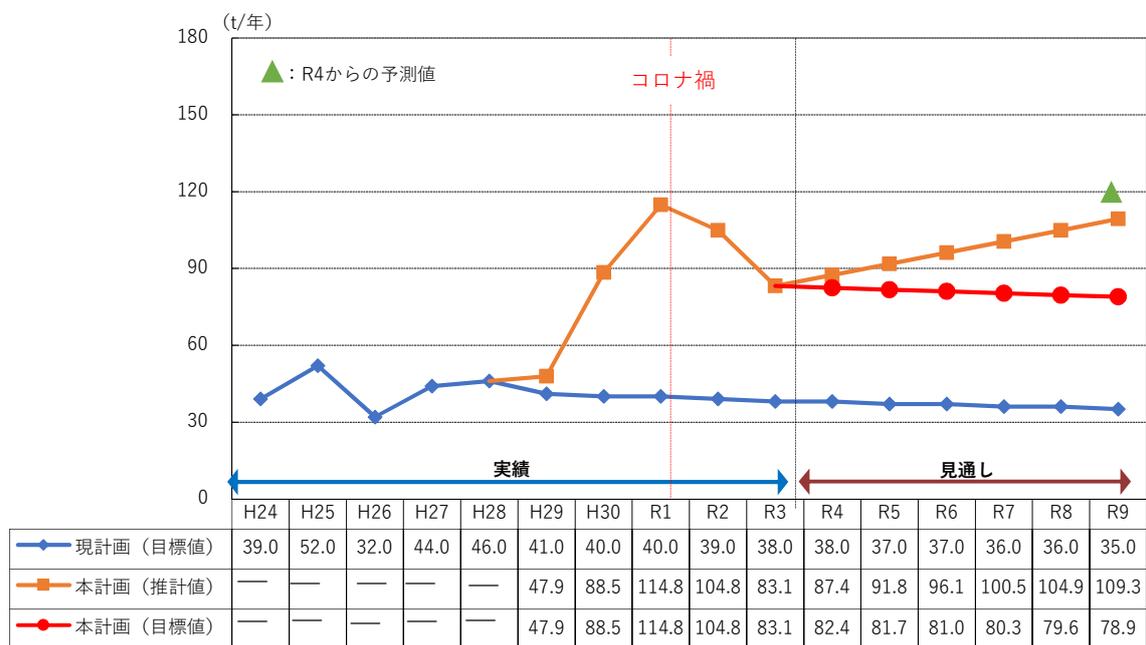
以上のことから、燃えないごみ・空き缶・その他の令和 9 年度目標値は令和 3 年度実績値から 5%減少させた 78.9t/年に設定することとします。

なお、目標値 (78.9t/年) を達成することで推計値 (109.3 t/年) から 27.8%の削減となります。

◆図表 3-12 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
	単位	t/年	増減(%)	t/年	t/年	R3からの増減率 %		
実績		70.8	7.3	76.0	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	35.0	-57.9	—	—
推計値		—	—	—	109.3	+31.5	×	R3実績値の方が小さい
R4からの予測値	83.1	= 7.3% × 6年			119.5	+43.8	×	R3実績値の方が小さい
R3からの削減目標		—	—	—	78.9	-5	○	
過去5年最小		—	—	—	47.9	-42.4	—	推計値及びR4からの予測値が増加しており、過度な削減は困難
過去10年最小		—	—	—	32.0	-61.5	—	推計値及びR4からの予測値が増加しており、過度な削減は困難
採用値		—	—	—	78.9	-5	—	

◆図表 3-13 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標



ウ 粗大ごみ

目標採用値：33.1t/年 ⇐ 実績値(R3)：43.6t/年
(-24.1%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると2.7%減少しており、粗大ごみ(直接搬入ごみ)搬入量は、推計と異なり今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に2.7%ずつ減少(R3実績43.6t/年×2.7%=1.18t/年×6(R4~9の6年間)=7.08≒7.1t/年)したとすると令和9年度では36.5t/年となります。

これは、コロナ禍前から増加していた家具などの廃棄がコロナ禍により促進され、時の経過とともに落ち着いてきていると考えられます。

また、粗大ごみの目標値の設定については図表3-14~15に示すように、令和3年度からの削減目標は39.2t/年(10%削減)で、令和4年度からの予測値の方が小さく、令和9年度の目標値はこれよりも高い設定が可能であると考えられます。

次に、過去実績では過去5年間実績の最小値は33.1t/年（H29）で、令和4年度からの予測値よりも小さいため、令和9年度の目標値は過去5年間実績の最小値を採用することとします。

以上のことから、粗大ごみの令和9年度目標値は過去5年間実績のうち最小値である33.1t/年（H29）と同値に設定することとします。

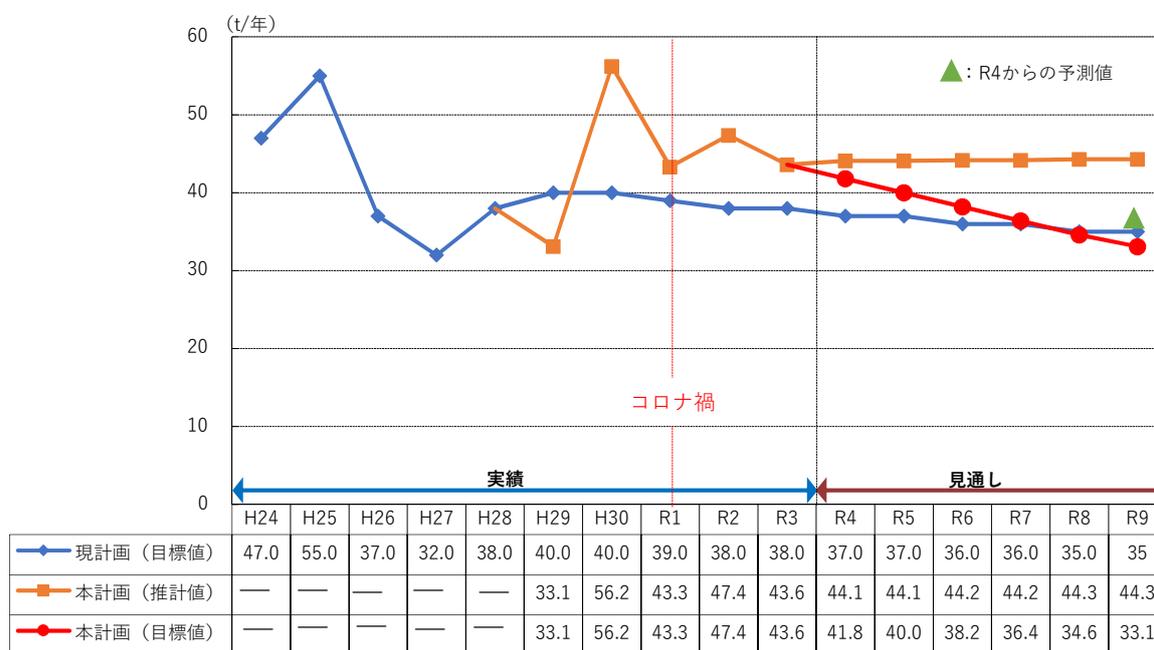
なお、目標値（33.1t/年）を達成することで推計値（44.3t/年）から25.3%の削減となります。

※過去10年間最小値を採用しなかったのは、過去5年間の増減傾向、推計値を考慮し、より直近の過去実績を重視したため

◆図表 3-14 粗大ごみの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					R3からの増減率			
単位	t/年	t/年	増減(%)	t/年	t/年	%		
実績	43.6	37.5	-2.7	36.5	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	35.0	-19.7	—	—
推計値		—	—	—	44.3	+1.6	×	R3実績値の方が小さい
R4からの予測値		=-2.7%×6年		—	36.5	-16.3	×	R9目標値はR4からの予測値より高く設定する
R3からの削減目標		—	—	—	39.2	-10	×	R4からの予測値の方が小さい
過去5年最小		—	—	—	33.1	-24.1	○	
過去10年最小		—	—	—	32.0	-26.6	×	推計値が増加傾向にあり、R9予測値から10%以上削減の必要があることから過去実績は採用
採用値		—	—	—	33.1	-24.1	—	

◆図表 3-15 粗大ごみの減量化目標



エ ペットボトル・発泡スチロール

目標採用値：4.4t/年 ← 実績値(R3)：5.2 t/年
(-15%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると2.2%減少しており、ペットボトル・発泡スチロール(直接搬入ごみ)搬入量は、推計と異なり今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に2.2%ずつ減少(R3実績5.2 t/年×2.2%=0.11 t/年×6(R4~9の6年間)=0.66≒0.7 g/人・日)したとすると令和9年度では4.5 t/年となります。

ペットボトル・発泡スチロールは平成29~令和元年度に大きく増加しており、コロナ禍による影響との相関性は小さいと考えられます。

また、ペットボトル・発泡スチロールの目標値の設定については図表3-16~17に示すように、令和3年度からの削減目標は4.7t/年(10%削減)で、令和4年度からの予測値(4.5t/年)の方が小さく、令和9年度の目標値はこれよりも高い設定が可能であると考えられます。

次に、過去実績では過去5年間及び10年間実績の最小値は1.0t/年(H27及びH28)で、過去5年間の増減傾向、推計値及び令和4年度からの予測値を考慮すると非現実的であると考えられます。

そのため、令和4年度からの予測値(R3実績値からの増減率：13.5%)を上回る目標値として令和3年度実績値から15%削減した数値とします。

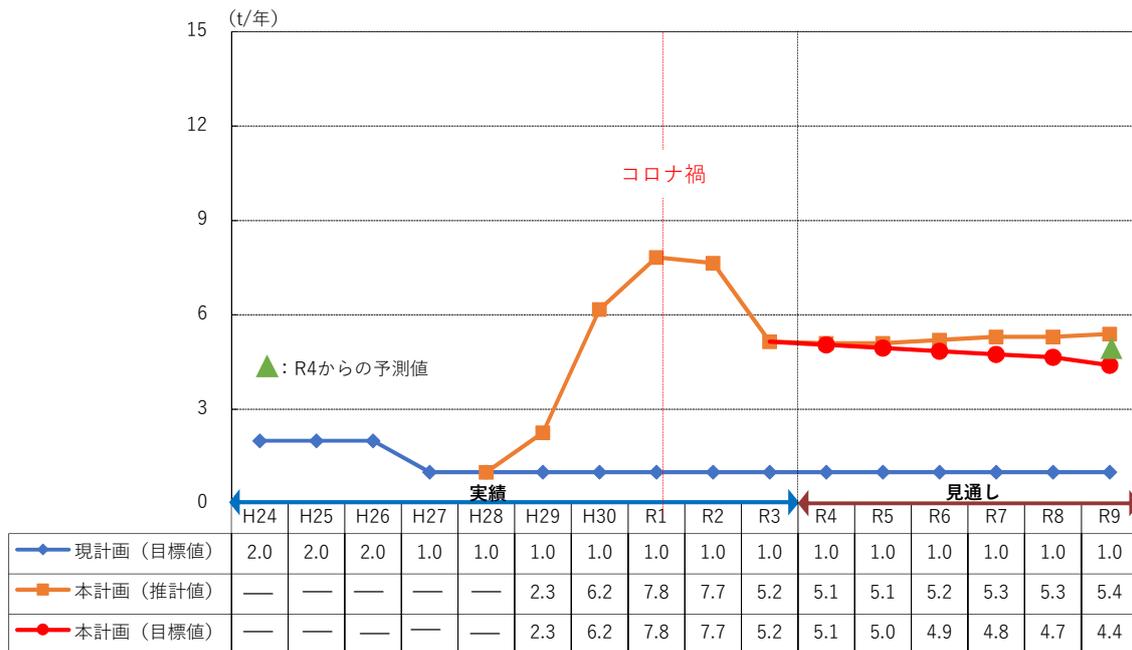
以上のことから、ペットボトル・発泡スチロールの令和9年度目標値は令和3年度実績値から15%減少させた4.4t/年に設定することとします。

なお、目標値(4.4t/年)を達成することで推計値(5.4t/年)から18.5%の削減となります。

◆図表3-16 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					R3からの増減率			
単位	t/年	t/年	増減(%)	t/年	t/年	%		
実績	5.2	4.6	-2.2	4.5	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	1.0	-80.8	—	—
推計値		—	—	—	5.4	+3.8	×	R3実績値の方が小さい
R4からの予測値		=-2.2%×6年			4.5	-13.5	×	R9目標値はR4からの予測値よりも高く設定する
R3からの削減目標		—	—	—	4.7	-10	×	R4からの予測値の方が小さい
過去5年最小		—	—	—	2.3	-55.8	×	推計値が増加しており、過度な削減は困難
過去10年最小		—	—	—	1.0	-80.8	×	推計値が増加しており、過度な削減は困難
R3からの削減率		—	—	—	4.4	-15	○	
採用値		—	—	—	4.4	-15	—	

◆図表 3-17 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標



オ ダンボール

目標採用値：32.2t/年 ← 実績値(R3)：34.9t/年
(-7.7%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると19.4%増加しており、ダンボール(直接搬入ごみ)搬入量は、推計と異なり増加傾向にて推移するものとし、仮に19.6%ずつ増加(R3実績34.9t/年×19.4%=6.77t/年×6(R4~9の6年間)≒40.6t/年)したとすると令和9年度では75.5t/年となります。

これは、コロナ禍による自宅で過ごす時間の増加や不要不急の外出によって、購買行動が現地の店舗からインターネット等を通じたものにシフトし、宅配物量が増加したことが要因であると考えられ、このような便利な生活様式が大きく変化することは一般的には難しいと考えられますが、推計値の将来推移を考慮すると、令和4年度実績値(4~1月)は一時的なものであると考えられます。

また、ダンボールの目標値の設定については図表3-18~19に示すように、令和3年度からの削減目標は33.2t/年(5%削減)で、推計値の方が小さくなるため、令和9年度の目標値はこれよりも高い設定が可能であると考えられます。

次に、過去実績では過去5年間及び10年間実績の最小値は10.0t/年(H27及びH28)で、過去5年間の増減傾向、推計値及び令和4年度からの予測値を考慮すると非現実的であると考えられます。

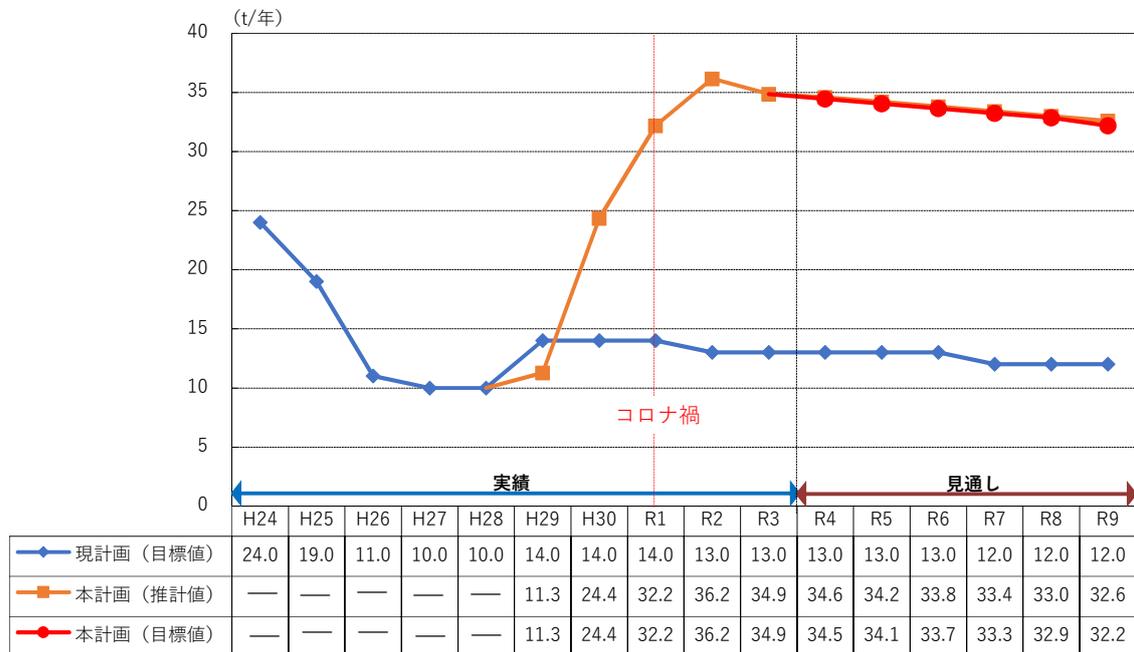
そのため、ダンボールの令和9年度目標値は令和3年度実績値から遡り、令和3年実績値に次いで大きい値となる32.2t/年(R1)を目標値に設定することとします。

なお、目標値(32.2t/年)を達成することで推計値(32.6t/年)から1.2%の削減となります。

◆図表 3-18 ダンボールの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4予測値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					R3からの増減率			
単位	t/年	t/年	増減(%)	t/年	t/年	%		
実績		29.5	19.4	35.1	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	12.0	-65.6	—	—
推計値		—	—	—	32.6	-6.6	×	R9目標値は推計値よりも高く設定する
R4からの予測値		= +19.4% × 6年			75.5	+116.3	×	増加しているため不採用
R3からの削減目標		—	—	—	33.2	-5	×	推計値の方が小さい
過去5年最小	34.9	—	—	—	11.3	-67.6	×	R4からの予測値が増加しており、過度な削減は困難
過去10年最小		—	—	—	10.0	-71.3	×	R4からの予測値が増加しており、過度な削減は困難
R3からの削減率		—	—	—	31.4	-10	×	推計値より高い目標値となったが、過去5年間の増減傾向を考慮すると10%の削減は達成困難
実績値に基づく設定 (R1実績値)		—	—	—	32.2	-7.7	○	R3から遡り、R3に次ぐ大きい値 推計値より高い目標かつ減少率10%以下
採用値		—	—	—	32.2	-7.7	—	

◆図表 3-19 ダンボールの減量化目標



2 知名町の減量化目標

和泊町と同様に、本圏域のごみ排出原単位の目標値（R7：875 g/人・日、R9：850 g/人・日）を基に設定した知名町の各種ごみの減量化目標値を以下に示します。なお、目標値の設定は和泊町の各種ごみと同様に行いました。

(1) 収集ごみ

知名町の本計画目標年度（令和 9 年度）における排出抑制後の収集ごみ排出原単位は以下に示すとおりとなります。

【収集ごみ】	【推計値】 R9	【減量化】 R9
燃えるごみ	539.8 g/人・日	460 g/人・日
燃えないごみ・空き缶・その他	29.1 g/人・日	26.8 g/人・日
空きビン	20.8 g/人・日	20.1 g/人・日
ペットボトル・発泡スチロール	18.6 g/人・日	12.8 g/人・日

ア 燃えるごみ

目標採用値：460g/人・日 ⇐ 実績値(R3)：539.1g/人・日
(-15%)

令和 4 年度（4～1 月）実績値は、令和 3 年度の同期間と比較すると 2.2%減少していることから、燃えるごみ（収集ごみ）搬入量は、推計とは異なり、今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に 2.2%ずつ減少（R3 実績 539.1g/人・日×2.2%＝11.86 g/人・日×6（R4～9 の 6 年間）＝71.16≒71.2 g/人・日）したとすると令和 9 年度では 467.9g/人・日となります。

しかしながら、467.9g/人・日は過去 10 年間の実績から考慮しても現実的ではないと考えられます。

燃えるごみはコロナ禍前から増加傾向にあり、コロナ禍との相関性は小さいと考えられます。

また、燃えるごみの目標値の設定については図表 3-20～21 に示すように、令和 3 年度からの削減目標は 490g/人・日（10%削減）で、令和 4 年度からの予測値（467.9g/人・日）の方が小さく、令和 9 年度の目標値はこれよりも高い設定が可能であると考えられます。

次に、過去実績では過去 5 年間及び 10 年間実績の最小値は 503.5g/人・日（H25）で、令和 4 年度からの予測値（467.9g/人・日）の方が小さく、令和 9 年度の目標値はこれよりも高い設定が可能であると考えられます。

そのため、令和 4 年度からの予測値（R3 実績値からの削減率：13.2%）を上回る目標値として令和 3 年度実績値から 15%削減した数値とします。

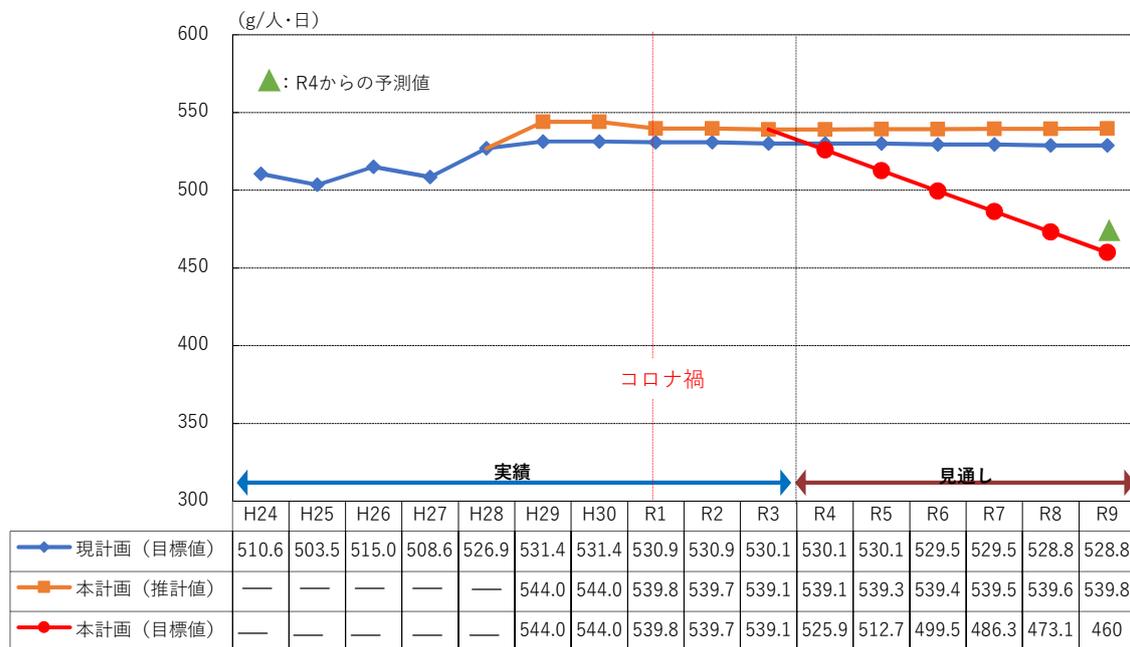
以上のことから、燃えるごみの令和 9 年度目標値は令和 3 年度実績値から 15%減少させた 460g/人・日に設定することとします。

なお、目標値（460g/人・日）を達成することで推計値（539.8g/人・日）から 14.8%の削減となります。

◆図表 3-20 燃えるごみの減量化目標設定

項目	R3実績値 単位	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
		t/年	増減(%)	t/年	g/人・日	R3からの増減率 %		
実績		917.7	-2.2	897.0	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	528.8	-1.9	—	—
推計値		—	—	—	539.8	+0.1	×	R3実績値の方が小さい
R4からの予測値		=-2.2%×6年			467.9	-13.2	×	R9目標値はR4からの予測値よりも高く設定する
R3からの削減目標	539.1	—	—	—	490	-10	×	R4からの予測値の方が小さい
過去5年最小		—	—	—	539.1	0.0	×	R4からの予測値の方が小さい
過去10年最小		—	—	—	503.5	-6.6	×	R4からの予測値の方が小さい
R3からの削減率		—	—	—	460	-15	○	
採用値		—	—	—	460	-15	—	

◆図表 3-21 燃えるごみの減量化目標



イ 燃えないごみ・空き缶・その他

目標採用値：26.8g/人・日 ← 実績値(R3)：29.8g/人・日
(-10%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると0.4%減少していることから、燃えないごみ・空き缶・その他(収集ごみ)搬入量は、推計どおり今後も減少傾向にて推移するものとし、仮に0.4%ずつ減少(R3実績29.8g/人・日×0.4%=0.12g/人・日×6(R4~9の6年間)≒0.72≒0.7g/人・日)したとすると令和9年度では29.1g/人・日(推計値と同値)になります。

燃えないごみ・空き缶・その他はコロナ禍前から増加傾向にあり、コロナ禍との相関性は小さいと考えられます。

また、燃えないごみ・空き缶・その他の目標値の設定については図表3-22~23に示すように、令和3年度からの削減目標は26.8g/人・日(10%削減)で、これは推計値及び令和4

年度（4～1月）実績からの予測値よりも高い目標設定となっています。

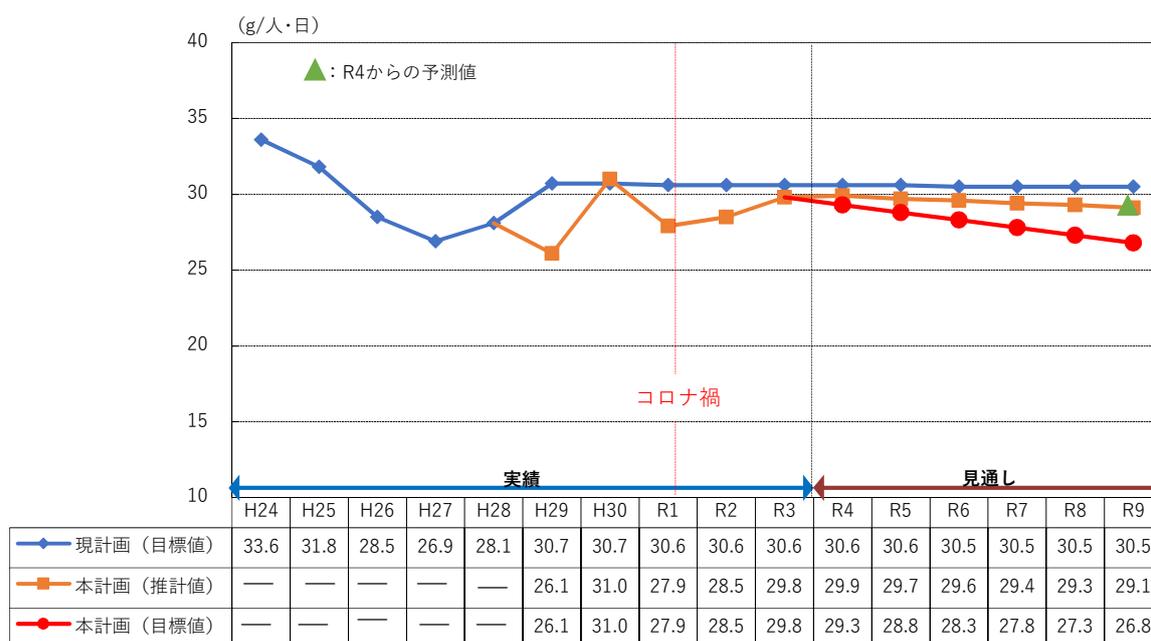
以上のことから、燃えないごみ・空き缶・その他の令和9年度目標値は令和3年度実績値（29.8g/人・日）から10%減少させた26.8g/人・日に設定することとします。

なお、目標値（26.8g/人・日）を達成することで推計値（29.1g/人・日）から7.9%の削減となります。

◆図表 3-22 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値	(R4-R3)	R4実績値	R9目標値		判定	備考	
	単位	(4～1月)	増減(%)	(4～1月)	g/人・日	R3からの増減率			
実績		53.3	-0.4	53.1	—	—	—	—	
現行計画		—	—	—	30.5	+2.3	—	—	
推計値	29.8	—	—	—	29.1	-2.3	×	R9目標値は推計値より高く設定する	
R4からの予測値		= -0.4% × 6年			29.1	-2.3	×	R9目標値はR4からの予測値より高く設定する	
R3からの削減目標		—	—	—	26.8	-10	○		
過去5年最小		—	—	—	26.1	-12.4	—	推計値及びR4からの予測値から10%以上削減する必要があり、過度な削減は達成困難	
過去10年最小		—	—	—	26.1	-12.4	—	推計値及びR4からの予測値から10%以上削減する必要があり、過度な削減は達成困難	
採用値		—	—	—	—	26.8	-10	—	

◆図表 3-23 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標



ウ 空きビン

目標採用値：20.1g/人・日 ← 実績値(R3)：23.7g/人・日
(-15%)

令和4年度（4～1月）実績値は、令和3年度の同期間と比較すると、12.2%減少していることから、空きビン（収集ごみ）搬入量は、推計と同様に減少傾向にて推移するものとし、仮に12.2%ずつ減少（R3実績23.7g/人・日×12.2%≒2.89g/人・日×6（R4～9の6年

間) = 17.34 ÷ 17.3 g/人・日) したとすると令和9年度では 6.4g/人・日となり、過去10年間の実績を考慮すると現実的ではありません。

空きビンはコロナ禍前から増加傾向にあり、コロナ禍との相関性は小さいと考えられます。

また、空きビンの目標値の設定については図表3-24～25に示すように、令和3年度からの削減目標は 21.3g/人・日 (10%削減) で、推計値 (20.8g/人・日) の方が小さいため、令和9年度の目標値は推計値より高い目標を設定することが可能であると考えられます。

次に、過去実績では過去5年間及び10年間実績の最小値は 23.7g/人・日 (R3) であり、推計値の方が小さくなります。

そのため、推計値 20.8g/人・日 (R3 実績値からの削減率: 12.2%) を上回る目標値として令和3年度実績値から 15%減少した数値とします。

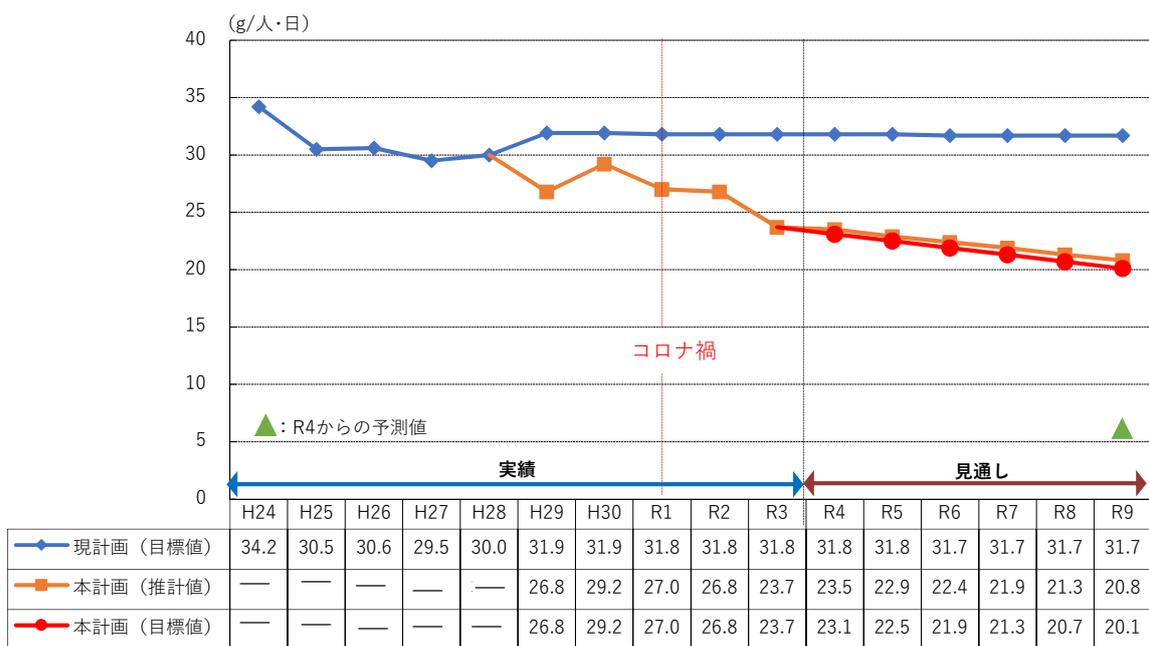
以上のことから、空きビンの令和9年度目標値は令和3年度実績値から 15%減少させた 20.1g/人・日に設定することとします。

なお、目標値 (20.1g/人・日) を達成することで推計値 (20.8g/人・日) から 3.4%の削減となります。

◆図表 3-24 空きビンの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					R3からの増減率			
単位	g/人・日	t/年	増減(%)	t/年	g/人・日	%		
実績		43.5	-12.2	38.3	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	31.7	+33.8	—	—
推計値		—	—	—	20.8	-12.2	×	R9目標値は推計値より高く設定する
R4からの予測値		= -12.2% × 6年			6.4	-73.0	×	過去実績を考慮すると非現実的
R3からの削減目標	23.7	—	—	—	21.3	-10	×	推計値の方が小さい
過去5年最小		—	—	—	23.7	0.0	×	推計値の方が小さい
過去10年最小		—	—	—	23.7	0.0	×	推計値の方が小さい
R3からの削減率		—	—	—	20.1	-15	○	
採用値		—	—	—	20.1	-15	—	

◆図表 3-25 空きビンの減量化目標



エ ペットボトル・発泡スチロール

目標採用値：12.8g/人・日 ← 実績値(R3)：14.2g/人・日
(-10%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると、0.8%減少していることから、ペットボトル・発泡スチロール(収集ごみ)搬入量は、推計とは異なり、減少傾向にて推移するものとし、仮に0.8%ずつ減少(R3実績14.2g/人・日×0.8%≒0.114g/人・日×6(R4~9の6年間)=0.684≒0.7g/人・日)したとすると令和9年度では13.5g/人・日となります。

ペットボトル・発泡スチロールはコロナ禍前から増加傾向にあり、コロナ禍との相関性は小さいと考えられます。

また、ペットボトル・発泡スチロールの目標値の設定については図表3-26~27に示すように、令和3年度からの削減目標は12.8g/人・日(10%削減)で、これは推計値及び令和4年度実績からの予測値よりも高い目標設定となっています。

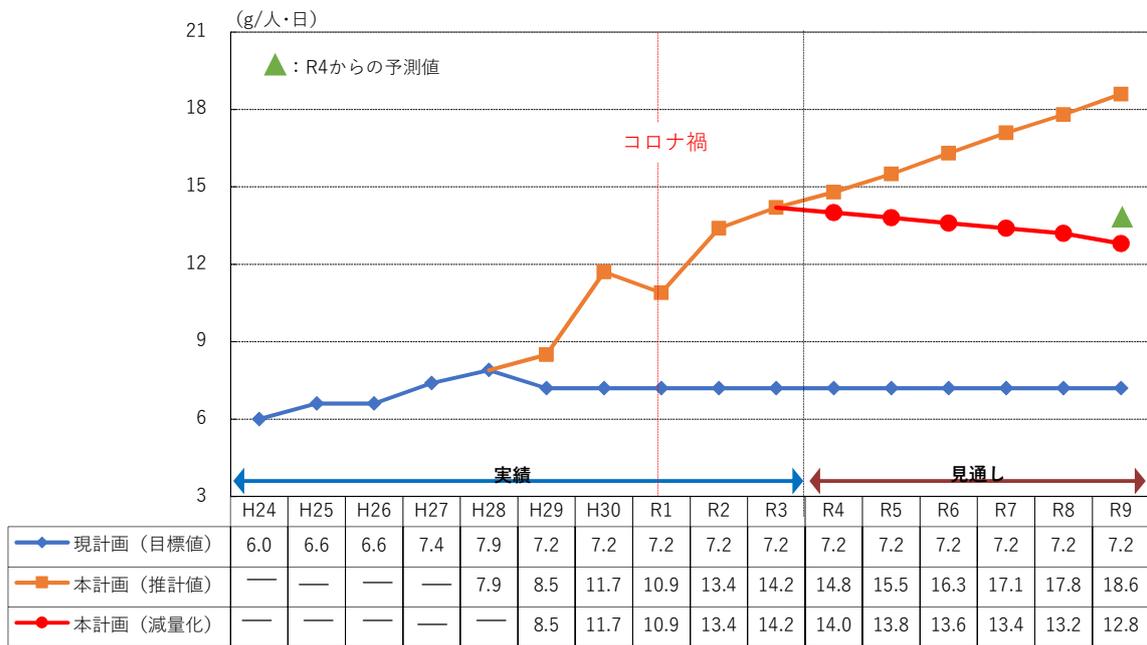
以上のことから、ペットボトル・発泡スチロールの令和9年度目標値は令和3年度実績値から10%減少させた12.8g/人・日に設定することとします。

なお、目標値(12.8g/人・日)を達成することで推計値(18.6g/人・日)から31.2%の削減となります。

◆図表 3-26 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考	
					単位	R3からの増減率			
	g/人・日	t/年	増減(%)	t/年	g/人・日	%			
実績		24.7	-0.8	24.5	—	—	—	—	
現行計画		—	—	—	7.2	-49.3	—	—	
推計値	14.2	—	—	—	18.6	+31.0	×	R3実績値の方が小さい	
R4からの予測値		= -0.8% × 6年				13.5	-4.9	×	R9目標値はR4からの予測値よりも高く設定する
R3からの削減目標		—	—	—	12.8	-10	○		
過去5年最小		—	—	—	8.5	-40.1	—	推計値が増加しており、過度な削減は達成困難	
過去10年最小		—	—	—	6.0	-57.7	—	推計値が増加しており、過度な削減は達成困難	
採用値		—	—	—	—	12.8	-10	—	

◆図表 3-27 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標



(2) 直接搬入ごみ

知名町の本計画目標年度（令和9年度）における排出抑制後の収集ごみ排出原単位は以下に示すとおりとなります。

【直接搬入ごみ】	【推計値】 R9	【減量化】 R9
燃えるごみ	611.2 t/年	500 t/年
燃えないごみ・空き缶・その他	44.6 t/年	40.6 t/年
粗大ごみ	37.1 t/年	24.8 t/年
ペットボトル・発泡スチロール	3.6 t/年	2.9 t/年
ダンボール	37.0 t/年	16.4 t/年

ア 燃えるごみ

目標採用値：500t/年 ← 実績値(R3)：526.3t/年
(-5%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると0.4%増加しており、燃えるごみ(直接搬入ごみ)搬入量は、推計と同様に今後も緩やかに増加傾向にて推移するものとし、仮に0.4%ずつ増加(R3実績526.3t/年×0.4%≒2.1t/年×6(R4~9の6年間)≒12.6t/年)したとすると令和9年度では538.9t/年となり、令和9年度の推計値(611.2t/年)よりも小さくなると考えられます。

燃えるごみ(直接搬入ごみ)の実績は令和2年度から増加傾向の傾きが急になっていることから、コロナ禍による在宅勤務や自宅時間の増加などによる生活様式の変化の影響を受けている可能性が強く、令和4年度においても依然としてコロナ禍の影響を受け続けていることが考えられます。

また、燃えるごみの目標値の設定については図表3-28~29に示すように、令和3年度からの削減目標は500t/年(5%削減)で、これは推計値及び令和4年度からの予測値よりも高い目標設定となっています。

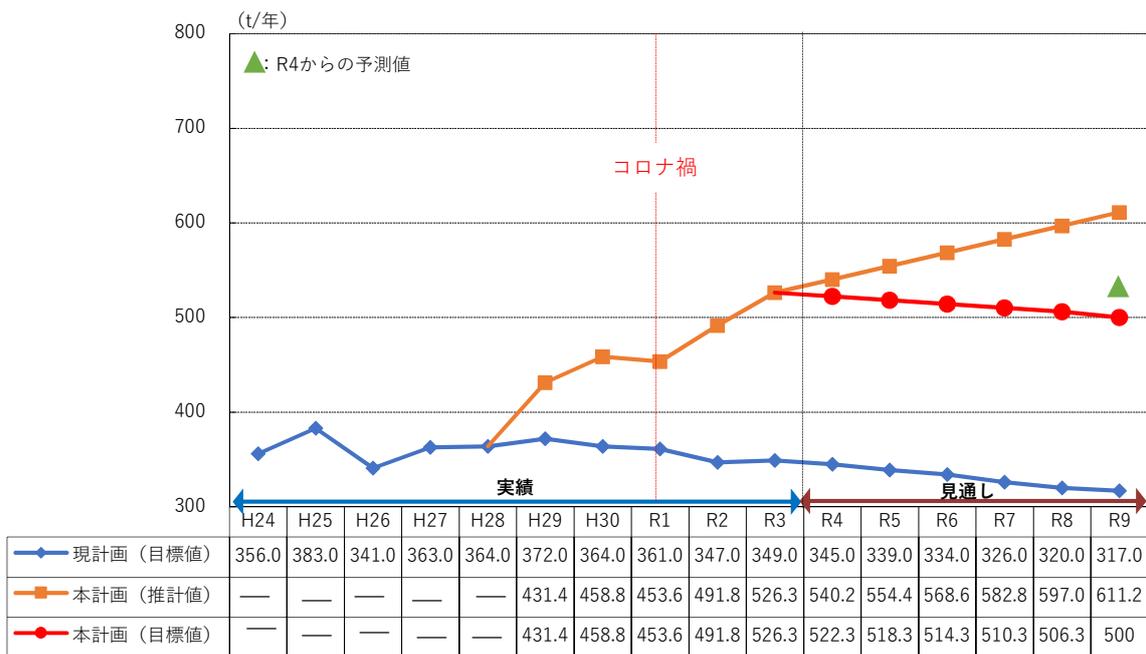
以上のことから、燃えるごみの令和9年度目標値は令和3年度実績値(526.3t/年)から5%減少させた500t/年に設定することとします。

なお、目標値(500t/年)を達成することで推計値(611.2t/年)から18.2%の削減となります。

◆図表3-28 燃えるごみの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考	
					R3からの増減率				
単位	t/年	t/年	増減(%)	t/年	t/年	%			
実績	526.3	436.3	0.4	438.1	—	—	—	—	
現行計画		—	—	—	317.0	-39.8	—	—	
推計値		—	—	—	611.2	+16.1	×	R3実績値の方が小さい	
R4からの予測値		= +0.4% × 6年				538.9	+2.4	×	R3実績値の方が小さい
R3からの削減目標		—	—	—	500	-5	○		
過去5年最小		—	—	—	431.4	-18.0	—	過去5年間の増減傾向、推計値及びR4予測値を考慮すると非現実的	
過去10年最小		—	—	—	341.0	-35.2	—	過去5年間の増減傾向、推計値及びR4予測値を考慮すると非現実的	
採用値		—	—	—	500	-5	—		

◆図表 3-29 燃えるごみの減量化目標



イ 燃えないごみ・空き缶・その他

目標採用値：40.6t/年 ← 実績値(R3)：45.1t/年
(-10%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると18.0%減少しており、燃えないごみ・空き缶・その他(直接搬入ごみ)搬入量は、推計と異なり今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に18.0%ずつ減少(R3実績45.1t/年×18.0%=8.12t/年×6(R4~9の6年間)=48.7t/年)したとすると令和9年度では0以下となり、あり得ない数字となります。

燃えないごみ・空き缶・その他はコロナ禍前から増加傾向にあり、コロナ禍との相関性は小さいと考えられます。

また、燃えないごみ・空き缶・その他の目標値の設定については図表3-30~31に示すように、令和3年度からの削減目標は40.6t/年(10%削減)で、これは推計値及び令和4年度からの予測値よりも高い目標設定となっています。

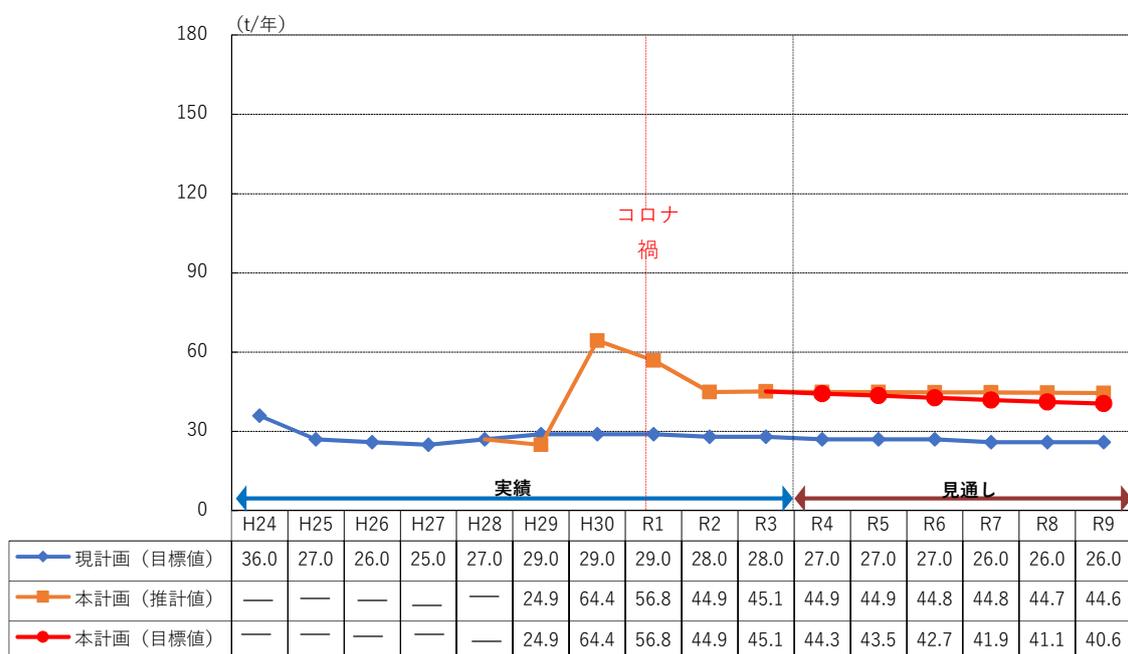
以上のことから、燃えるごみの令和9年度目標値は令和3年度実績値から10%減少させた40.6t/年に設定することとします。

なお、目標値(40.6t/年)を達成することで推計値(44.6t/年)から9.0%の削減となります。

◆図表 3-30 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					単位	R3からの減少率		
単位	t/年	t/年	増減(%)	t/年	t/年	%		
実績		38.8	-18.0	31.8	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	26.0	42.4	—	—
推計値		—	—	—	44.6	1.1	×	R9目標値は推計値よりも高く設定する
R4からの予測値		=-18.0%×6年			-3.6	108.0	×	0以下となり、不採用
R3からの削減目標	45.1	—	—	—	40.6	10	○	
過去5年最小		—	—	—	24.9	44.8	×	過去5年間の増減傾向、推計値を考慮すると非現実的
過去10年最小		—	—	—	24.9	44.8	×	過去5年間の増減傾向、推計値を考慮すると非現実的
採用値		—	—	—	40.6	10	—	

◆図表 3-31 燃えないごみ・空き缶・その他の減量化目標



ウ 粗大ごみ

目標採用値：24.8t/年 ⇐ 実績値(R3)：32.1t/年
(-22.7%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると8.5%減少しており、粗大ごみ(直接搬入ごみ)搬入量は、推計と異なり今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に8.5%ずつ減少(R3実績32.1t/年×8.5%≒2.73t/年×6(R4~9の6年間)=16.38≒16.4t/年)したとすると令和9年度では15.7t/年となり、過去10年間の実績を考慮すると現実的ではないと考えられます。

粗大ごみの傾向としては、コロナ禍前から増加していた家具などの廃棄がコロナ禍により促進され、時の経過とともに落ち着いてきていると考えられます。

また、粗大ごみの目標値の設定については図表3-32~33に示すように、令和3年度からの削減目標は28.9t/年(10%削減)で、令和4年度からの予測値(15.7t/年)は現実的

ではありませんが減少傾向にあるため、過去実績と比較することとします。過去実績と比較すると過去5年間最小値は24.8t/年（H29）で、令和3年度からの削減目標（28.9t/年）よりも小さくなるため、令和9年度目標値は過去5年間実績の最小値を採用することとします。

以上のことから、粗大ごみの令和9年度目標値は過去5年間実績のうち最小値である24.8t/年（H29）と同値に設定することとします。

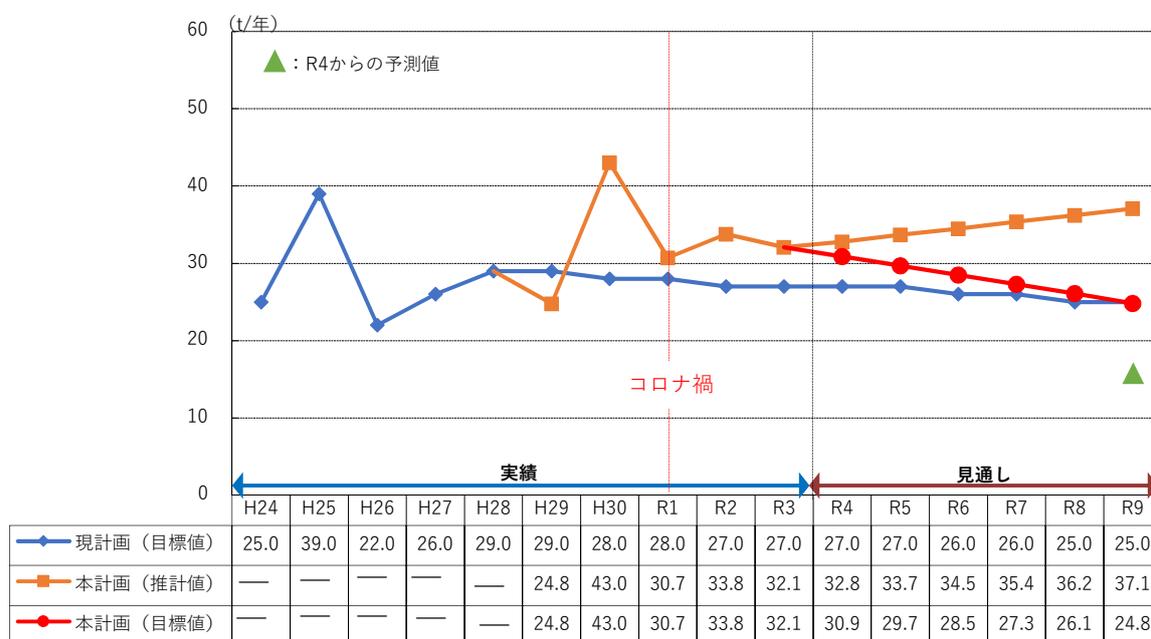
なお、目標値（24.8t/年）を達成することで推計値（37.1t/年）から33.2%の削減となります。

※過去10年間最小値を採用しなかったのは、過去5年間の増減傾向、推計値を考慮し、より直近の過去実績を重視したため

◆図表 3-32 粗大ごみの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					t/年	R3からの増減率 %		
実績		27.1	-8.5	24.7	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	25.0	-22.1	—	—
推計値		—	—	—	37.1	+15.6	×	R3実績値の方が小さい
R4からの予測値		= -8.5% × 6年			15.7	-51.1	×	過去実績を考慮すると非現実的
R3からの削減目標		—	—	—	28.9	-10	×	R4からの予測値は減少傾向にあり、過去5年間実績値の方が低い
過去5年最小		—	—	—	24.8	-22.7	○	
過去10年最小		—	—	—	22.0	-31.5	×	推計値は増加傾向にあることから、過去5年間最小値を採用
採用値		—	—	—	24.8	-22.7	—	

◆図表 3-33 粗大ごみの減量化目標



エ ペットボトル・発泡スチロール

目標採用値：2.9t/年 ← 実績値(R3)：3.6t/年
(-20%)

令和4年度(4~1月)実績値は、令和3年度の同期間と比較すると3.1%減少しており、ペットボトル・発泡スチロール(直接搬入ごみ)搬入量は今後、減少傾向にて推移するものとし、仮に3.1%ずつ減少(R3実績3.6t/年×3.1%=0.112t/年×6(R4~9の6年間)=0.67≒0.7t/年)したとすると令和9年度では2.9t/年となります。

ペットボトル・発泡スチロールは平成29~30年度に大きく増加しており、コロナ禍による影響との相関性は小さいと考えられます。

また、ペットボトル・発泡スチロールの目標値の設定については図表3-34~35に示すように、令和3年度からの削減目標は3.2t/年(10%削減)で、令和4年度からの予測値の方が小さいため、令和9年度の目標は高く設定できる余地があると考えられます。

次に、過去実績では過去5年間の最小値は3.0t/年(H29)、過去10年間実績の最小値は1.0t/年(H27及びH28)で、過去5年間の最小値(3.0t/年)は令和4年度からの予測値よりも大きく、令和9年度の目標値は高く設定できるため不採用とし、過去10年間最小値(1.0t/年、R3からの削減率：72.2%)は、過去5年間の増減傾向、推計値及び令和4年度からの予測値を考慮すると達成が困難であるため不採用とします。

そのため、令和4年度からの予測値2.9t/年(R3実績値からの削減率：19.4%)を上回る目標値として令和3年度実績値から20%減少した数値とします。

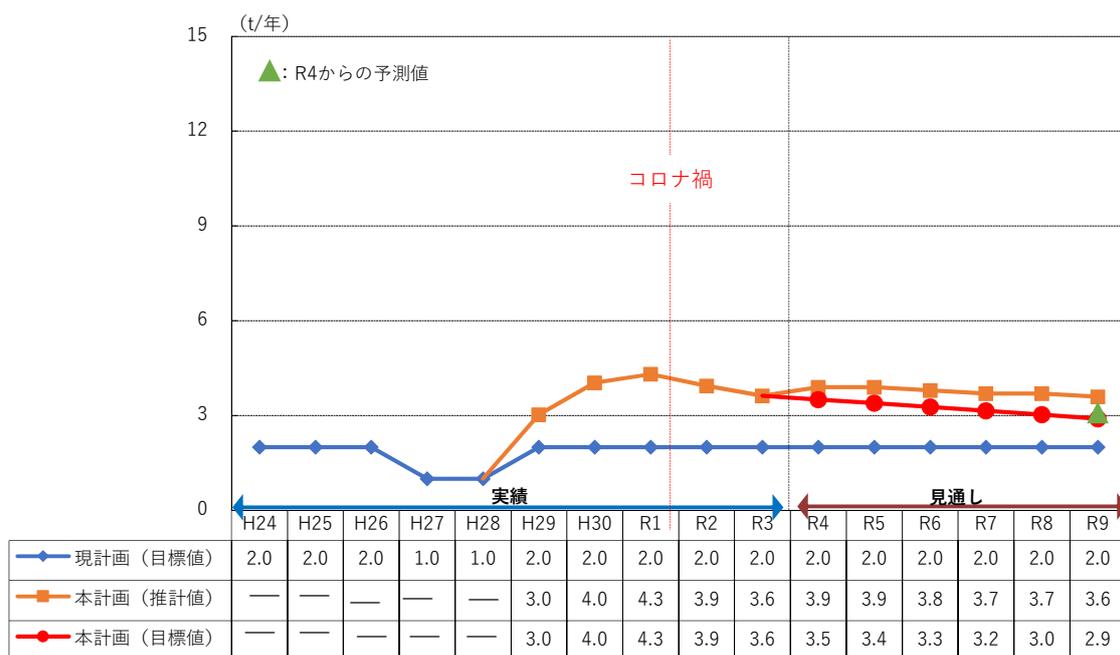
以上のことから、ペットボトル・発泡スチロールの令和9年度目標値は令和3年度実績値から20%減少させた2.9t/年に設定することとします。

なお、目標値(2.9t/年)を達成することで推計値(3.6t/年)から19.4%の削減となります。

◆図表3-34 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標設定

項目	R3実績値	R3実績値 (4~1月)	(R4-R3)	R4実績値 (4~1月)	R9目標値		判定	備考
					R3からの増減率			
単位	t/年	t/年	増減(%)	t/年	t/年	%		
実績		3.2	-3.1	3.1	—	—	—	—
現行計画		—	—	—	2.0	-44.4	—	—
推計値		—	—	—	3.6	0.0	×	実績値と同値であり、R9目標値は推計値より高く設定する
R4からの予測値		=-3.1%×6年			2.9	-19.4	×	R9目標値はR4からの予測値より高く設定する
R3からの削減目標	3.6	—	—	—	3.2	-10	×	R4からの予測値は減少傾向にあり、過去5年実績値の方が低い
過去5年最小		—	—	—	3.0	-16.7	×	R4からの予測値の方が小さい
過去10年最小		—	—	—	1.0	-72.2	×	過去5年間の増減傾向、推計値及びR4予測値を考慮すると非現実的
R3からの削減率		—	—	—	2.9	-20	○	
採用値		—	—	—	2.9	-20	—	

◆図表 3-35 ペットボトル・発泡スチロールの減量化目標



オ ダンボール

目標採用値：16.4t/年 ← 実績値(R3)：25.3t/年
(-35%)

令和 4 年度 (4～1 月) 実績値は、令和 3 年度の同期間と比較すると 5.4%減少しており、ダンボール (直接搬入ごみ) 搬入量は、推計と異なり今後は減少傾向にて推移するものとし、仮に 5.4%ずつ減少 (R3 実績 25.3t/年 × 5.4% = 1.37t/年 × 6 (R4～9 の 6 年間) = 8.2 t/年) したとすると令和 9 年度では 17.1t/年となります。

ダンボール搬入量はコロナ禍により急増しており、これはコロナ禍による自宅で過ごす時間の増加や不要不急の外出によって、購買行動が現地の店舗からインターネット等を通じたものにシフトし、宅配物量が増加したことが要因であり、このような便利な生活様式が大きく変化することは一般的には難しいと考えられますが、令和 4 年度の実績値 (4～1 月) の状況を考慮すると、令和 4 年度を転換点として今後は減少傾向になることが考えられます。

また、ダンボールの目標値の設定については図表 3-36～37 に示すように、令和 3 年度からの削減目標は 22.8t/年 (10%削減) で、令和 4 年度からの予測値 (17.1t/年) の方が小さいため、令和 9 年度の目標値は高く設定できる余地があります。

次に、過去実績では過去 5 年間の最小値は 7.4t/年、過去 10 年間実績の最小値は 3.0t/年で、過去 5 年間の増減傾向、推計値及び令和 4 年度からの予測値を考慮すると過去実績を目標値として設定することは現実的ではないため、令和 4 年度からの予測値 17.1t/年 (R3 実績値からの削減率：32.4%) を基に令和 3 年度実績値から 35%減少した数値とします。

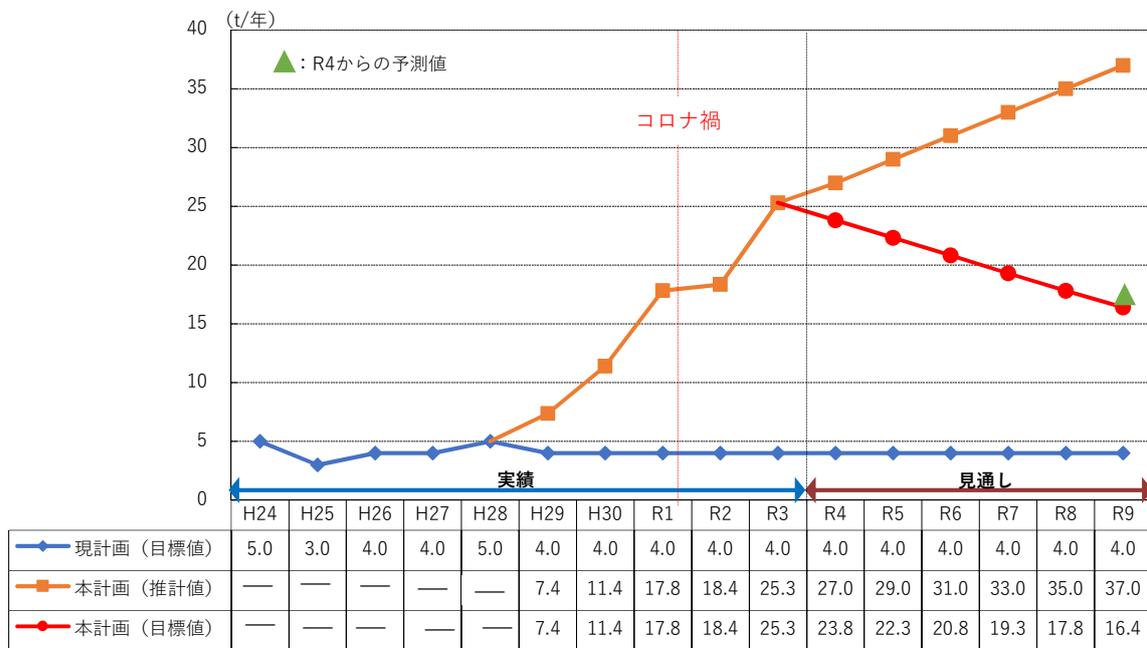
以上のことから、ダンボールの令和 9 年度目標値は令和 3 年度実績値から 35%減少させた 16.4t/年に設定することとします。

なお、目標値（16.4t/年）を達成することで推計値（37.0t/年）から55.7%の削減となります。

◆図表 3-36 ダンボールの減量化目標設定

項目	R3実績値 単位	R3実績値 (4~1月) t/年	(R4-R3) 増減(%)	R4実績値 (4~1月) t/年	R9目標値		判定	備考
					t/年	R3からの増減率 %		
実績		22.3	-5.4	21.1	-	-	-	-
現行計画		-	-	-	4.0	-84.2	-	-
推計値		-	-	-	37.0	+46.2	×	R3実績値の方が小さい
R4からの予測値		=-5.4%×6年			17.1	-32.4	×	R9目標値はR4からの予測値より高く設定
R3からの削減目標	25.3	-	-	-	22.8	-10	×	R4からの予測値の方が小さい
過去5年最小		-	-	-	7.4	-70.8	×	推計値が増加しており、過度な削減は達成困難
過去10年最小		-	-	-	3.0	-88.1	×	推計値が増加しており、過度な削減は達成困難
R3からの削減率		-	-	-	16.4	-35	○	
採用値		-	-	-	16.4	-35	-	

◆図表 3-37 ダンボールの減量化目標



3 本圏域の排出抑制後のごみ排出量（減量化目標値）

上述してきた本圏域の排出抑制後のごみ排出量の実績と見通しを図表 3-38~40 に示します。

◆図表 3-38 和泊町のごみ排出量の実績と見通し（排出抑制後 減量化目標値）

区 分		式(H29~R3)		式(R4~9)		単 位	年 度										
							H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
							実 績			中間目標	見 通 し			計画目標			
人口等	(1)	行政区域内人口		推計値		人	6,576	6,510	6,384	6,299	6,216	6,142	6,069	5,995	5,922	5,848	5,775
	(2)	計画処理区域内人口		(1)と同値			6,576	6,510	6,384	6,299	6,216	6,142	6,069	5,995	5,922	5,848	5,775
	(3)	計画収集人口		設定値			6,576	6,510	6,384	6,299	6,216	6,142	6,069	5,995	5,922	5,848	5,775
	(4)	自家処理人口		(2)-(3)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原単位	(5)	燃えるごみ	(32)/(3)/365	推計値		g/人日	494.4	494.9	503.5	513.4	492.4	488.7	485.0	481.3	477.6	473.9	470.0
	(6)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/(3)/365	推計値			23.3	23.6	28.9	27.7	27.3	26.6	25.9	25.2	24.5	23.8	23.3
	(7)	空きビン	(34)/(3)/365	推計値			14.1	15.1	19.4	17.5	17.4	16.7	16.0	15.3	14.6	13.9	13.1
	(8)	資源ごみ	Σ[(9)]	推計値			6.8	9.5	13.8	14.4	8.7	8.6	8.5	8.4	8.3	8.2	8.3
	(9)	ペットボトル・発泡スチロール	(36)/(3)/365	推計値			6.8	9.5	13.8	14.4	8.7	8.6	8.5	8.4	8.3	8.2	8.3
	(10)	計	Σ[(5)~(9)]				537.6	544.1	565.6	573.0	544.8	540.6	535.4	530.2	525.0	519.8	514.7
	(11)	燃えるごみ	(32)/365	(5)×(3)			3.25	3.23	3.22	3.23	3.06	3.00	2.94	2.89	2.83	2.77	2.71
	(12)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/365	(6)×(3)			0.15	0.16	0.19	0.18	0.17	0.16	0.16	0.15	0.15	0.14	0.13
	(13)	空きビン	(34)/365	(7)×(3)			0.10	0.10	0.12	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.08	0.08
	(14)	資源ごみ	Σ[(15)]	(8)×(3)			0.05	0.07	0.09	0.09	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
(15)	ペットボトル・発泡スチロール	(50)/365	(9)×(3)			0.05	0.07	0.09	0.09	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
(16)	計	Σ[(16)~(18)]				3.55	3.56	3.62	3.62	3.40	3.31	3.25	3.18	3.12	3.04	2.97	
(17)	燃えるごみ	(38)/365				1.75	1.92	1.69	1.77	1.94	1.87	1.81	1.74	1.67	1.60	1.53	
(18)	燃えないごみ・空き缶・その他	(39)/365				0.13	0.24	0.31	0.29	0.23	0.23	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	
(19)	粗大ごみ	(40)/365				0.09	0.15	0.12	0.13	0.12	0.11	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	
(20)	資源ごみ	Σ[(42)~(43)]				0.04	0.09	0.11	0.12	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
(21)	ペットボトル・発泡スチロール	(42)/365				0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
(22)	ダンボール	(43)/365				0.03	0.07	0.09	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	
(23)	計	Σ[(27)~(29)]				2.01	2.40	2.23	2.31	2.40	2.31	2.24	2.16	2.09	2.01	1.94	
(24)	燃えるごみ	(11)+(17)				5.00	5.15	4.91	5.00	5.00	4.87	4.75	4.63	4.50	4.37	4.24	
(25)	燃えないごみ・空き缶・その他	(12)+(18)				0.28	0.40	0.50	0.47	0.40	0.39	0.38	0.37	0.37	0.36	0.35	
(26)	空きビン	(13)				0.10	0.10	0.12	0.12	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.08	0.08	
(27)	粗大ごみ	(19)				0.09	0.15	0.12	0.13	0.12	0.11	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	
(28)	資源ごみ	(14)+(20)				0.09	0.16	0.20	0.21	0.17	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	
(29)	ペットボトル・発泡スチロール	(15)+(21)				0.06	0.09	0.11	0.11	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	
(30)	ダンボール	(22)				0.03	0.07	0.09	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	
(31)	計	Σ[(24)~(30)]				5.56	5.96	5.85	5.93	5.80	5.62	5.49	5.34	5.21	5.05	4.91	
要 処 理 量	(32)	燃えるごみ	(5)×(3)×365	実績		t/年	1,186.9	1,178.5	1,178.9	1,180.5	1,117.2	1,095.6	1,074.4	1,053.2	1,032.3	1,011.5	990.7
	(33)	燃えないごみ・空き缶・その他	(6)×(3)×365				56.0	58.5	69.9	66.2	62.1	59.6	57.4	55.1	53.0	50.8	49.1
	(34)	空きビン	(7)×(3)×365				36.4	36.1	45.5	42.7	39.7	37.4	35.4	33.5	31.6	29.7	27.6
	(35)	資源ごみ	(8)×(3)×365				18.9	25.0	34.7	33.3	22.0	19.3	18.8	18.4	17.9	17.5	17.5
	(36)	ペットボトル・発泡スチロール	(9)×(3)×365				18.9	25.0	34.7	33.3	22.0	19.3	18.8	18.4	17.9	17.5	17.5
	(37)	計	Σ[(32)~(36)]				1,298.1	1,298.0	1,329.0	1,322.6	1,241.0	1,211.9	1,186.0	1,160.2	1,134.8	1,109.5	1,084.9
	(38)	燃えるごみ		推計値			638.0	701.2	616.7	645.1	709.2	684.2	659.2	634.2	609.2	584.2	559.0
	(39)	燃えないごみ・空き缶・その他		推計値			47.9	88.5	114.8	104.8	83.1	82.4	81.7	81.0	80.3	79.6	78.9
	(40)	粗大ごみ		推計値			33.1	56.2	43.3	47.4	43.6	41.8	40.0	38.2	36.4	34.6	33.1
	(41)	資源ごみ		推計値			13.5	30.5	40.0	43.8	40.0	39.5	39.0	38.5	38.0	37.5	36.6
(42)	ペットボトル・発泡スチロール		推計値			2.3	6.2	7.8	7.7	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.4	
(43)	ダンボール		推計値			11.3	24.4	32.2	36.2	34.9	34.5	34.1	33.7	33.3	32.9	32.2	
(44)	計	Σ[(38)~(43)]				732.5	876.4	814.9	841.2	875.9	847.9	819.9	791.9	763.9	735.9	707.6	
(45)	燃えるごみ	(32)+(38)				1,824.8	1,879.6	1,795.6	1,825.6	1,826.4	1,779.8	1,733.6	1,687.4	1,641.5	1,595.7	1,549.7	
(46)	燃えないごみ・空き缶・その他	(33)+(39)				103.8	146.9	184.7	171.0	145.2	142.0	139.1	136.1	133.3	130.4	128.0	
(47)	空きビン	(34)				36.4	36.1	45.5	42.7	39.7	37.4	35.4	33.5	31.6	29.7	27.6	
(48)	粗大ごみ	(40)				33.1	56.2	43.3	47.4	43.6	41.8	40.0	38.2	36.4	34.6	33.1	
(49)	資源ごみ	(35)+(41)				32.5	55.5	74.7	77.1	62.0	58.8	57.8	56.9	55.9	55.0	54.1	
(50)	ペットボトル・発泡スチロール	(36)+(42)				21.2	31.2	42.5	40.9	27.2	24.4	23.8	23.3	22.7	22.2	21.9	
(51)	ダンボール	(43)				11.3	24.4	32.2	36.2	34.9	34.5	34.1	33.7	33.3	32.9	32.2	
(52)	計	Σ[(45)~(51)]				2,030.6	2,174.4	2,143.9	2,163.8	2,116.8	2,059.8	2,005.9	1,952.1	1,898.7	1,845.4	1,792.5	

※端数処理のため合計値が合致しない箇所があります。

◆図表 3-39 知名町のごみ排出量の実績と見通し（排出抑制後 減量化目標値）

区 分		式(H29~R3)		式(R4~9)		単 位	年 度												
							H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
							実 績			中間目標	見 通 し			計画目標					
人口等	(1) 行政区域内人口			推計値		人	5,981	5,915	5,787	5,697	5,611	5,514	5,417	5,320	5,223	5,125	5,028		
	(2) 計画処理区域内人口			(1)と同値			5,981	5,915	5,787	5,697	5,611	5,514	5,417	5,320	5,223	5,125	5,028		
	(3) 計画収集人口			設定値			5,981	5,915	5,787	5,697	5,611	5,514	5,417	5,320	5,223	5,125	5,028		
	(4) 自家処理人口			(2)-(3)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
原単位	収集 ごみ	(5) 燃えるごみ	(32)/(3)/365	推計値		g/人日	544.0	544.0	539.8	539.7	539.1	525.9	512.7	499.5	486.3	473.1	460.0		
		(6) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/(3)/365	推計値			26.1	31.0	27.9	28.5	29.8	29.3	28.8	28.3	27.8	27.3	26.8		
		(7) 空きビン	(34)/(3)/365	推計値			26.8	29.2	27.0	26.8	23.7	23.1	22.5	21.9	21.3	20.7	20.1		
		(8) 資源ごみ	Σ[(9)]	推計値			8.5	11.7	10.9	13.4	14.2	14.0	13.8	13.6	13.4	13.2	12.8		
		(9) ペットボトル・発泡スチロール	(36)/(3)/365	推計値			8.5	11.7	10.9	13.4	14.2	14.0	13.8	13.6	13.4	13.2	12.8		
		(10) 計	Σ[(5)~(9)]				606.4	615.9	605.6	609.4	606.8	592.3	577.8	563.3	548.8	534.3	519.7		
		要 処 理	収集 ごみ	(11) 燃えるごみ	(32)/365	(5)×(3)		t/日	3.25	3.22	3.13	3.08	3.03	2.90	2.78	2.66	2.54	2.42	2.31
				(12) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/365	(6)×(3)			0.16	0.18	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.15	0.15	0.14	0.13
				(13) 空きビン	(34)/365	(7)×(3)			0.17	0.17	0.16	0.16	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.10
				(14) 資源ごみ	Σ[(15)]	(8)×(3)			0.06	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	0.06
(15) ペットボトル・発泡スチロール	(50)/365			(9)×(3)			0.06	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.06	
(16) 計	Σ[(16)~(18)]						3.64	3.65	3.53	3.49	3.42	3.27	3.13	3.00	2.87	2.74	2.60		
要 処 理	直接 搬入 ごみ	(17) 燃えるごみ	(38)/365			t/日	1.18	1.26	1.24	1.35	1.44	1.43	1.42	1.41	1.40	1.39	1.37		
		(18) 燃えないごみ・空き缶・その他	(39)/365				0.07	0.18	0.16	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11		
		(19) 粗大ごみ	(40)/365				0.07	0.12	0.08	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07		
		(20) 資源ごみ	Σ[(42)~(43)]				0.03	0.04	0.06	0.06	0.08	0.08	0.07	0.07	0.06	0.06	0.05		
		(21) ペットボトル・発泡スチロール	(42)/365				0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
		(22) ダンボール	(43)/365				0.02	0.03	0.05	0.05	0.07	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04		
(23) 計	Σ[(27)~(29)]				1.35	1.60	1.54	1.62	1.73	1.71	1.69	1.68	1.64	1.63	1.60				
要 処 理	合 計	(24) 燃えるごみ	(11)+(17)			t/日	4.43	4.48	4.37	4.43	4.47	4.33	4.20	4.07	3.94	3.81	3.68		
		(25) 燃えないごみ・空き缶・その他	(12)+(18)				0.23	0.36	0.33	0.29	0.29	0.28	0.28	0.27	0.26	0.25	0.24		
		(26) 空きビン	(13)				0.17	0.17	0.16	0.16	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.10		
		(27) 粗大ごみ	(19)				0.07	0.12	0.08	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07		
		(28) 資源ごみ	(14)+(20)				0.09	0.12	0.13	0.14	0.16	0.16	0.14	0.14	0.13	0.13	0.11		
		(29) ペットボトル・発泡スチロール	(15)+(21)				0.07	0.09	0.08	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07		
		(30) ダンボール	(22)				0.02	0.03	0.05	0.05	0.07	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04		
		(31) 計	Σ[(24)~(30)]				4.99	5.25	5.07	5.11	5.15	4.98	4.82	4.68	4.51	4.37	4.20		
		要 処 理	収集 ごみ	(32) 燃えるごみ	(5)×(3)×365	実績		t/年	1,187.6	1,174.7	1,145.5	1,124.5	1,104.3	1,058.4	1,013.7	969.9	927.1	885.0	844.2
(33) 燃えないごみ・空き缶・その他	(6)×(3)×365						57.0	67.1	61.3	61.5	63.2	59.0	56.9	55.0	53.0	51.1	49.2		
(34) 空きビン	(7)×(3)×365						60.8	63.3	59.5	57.9	50.8	46.5	44.5	42.5	40.6	38.7	36.9		
(35) 資源ごみ	(8)×(3)×365						20.9	27.6	25.4	28.0	29.2	28.2	27.3	26.4	25.5	24.7	23.5		
(36) ペットボトル・発泡スチロール	(9)×(3)×365						20.9	27.6	25.4	28.0	29.2	28.2	27.3	26.4	25.5	24.7	23.5		
(37) 計	Σ[(32)~(36)]						1,326.3	1,332.7	1,291.6	1,271.9	1,247.4	1,192.1	1,142.4	1,093.8	1,046.2	999.5	953.8		
要 処 理	直接 搬入 ごみ		(38) 燃えるごみ	推計値			t/年	431.4	458.8	453.6	491.8	526.3	522.3	518.3	514.3	510.3	506.3	500.0	
			(39) 燃えないごみ・空き缶・その他	推計値				24.9	64.4	56.8	44.9	45.1	44.3	43.5	42.7	41.9	41.1	40.6	
			(40) 粗大ごみ	推計値				24.8	43.0	30.7	33.8	32.1	30.9	29.7	28.5	27.3	26.1	24.8	
			(41) 資源ごみ	推計値				10.4	15.4	22.1	22.3	28.9	27.3	25.7	24.1	22.5	20.8	19.3	
			(42) ペットボトル・発泡スチロール	推計値				3.0	4.0	4.3	3.9	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2	3.0	2.9	
			(43) ダンボール	推計値				7.4	11.4	17.8	18.4	25.3	23.8	22.3	20.8	19.3	17.8	16.4	
(44) 計	Σ[(38)~(43)]				491.5	581.6	563.3	592.8	632.5	624.9	617.2	609.6	602.0	594.4	584.7				
要 処 理	合 計	(45) 燃えるごみ	(32)+(38)			t/年	1,619.1	1,633.5	1,599.0	1,616.3	1,630.6	1,580.7	1,532.0	1,484.2	1,437.4	1,391.3	1,344.2		
		(46) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)+(39)				81.9	131.6	118.2	106.4	108.4	103.3	100.4	97.7	94.9	92.2	89.8		
		(47) 空きビン	(34)				60.8	63.3	59.5	57.9	50.8	46.5	44.5	42.5	40.6	38.7	36.9		
		(48) 粗大ごみ	(40)				24.8	43.0	30.7	33.8	32.1	30.9	29.7	28.5	27.3	26.1	24.8		
		(49) 資源ごみ	(35)+(41)				31.3	43.0	47.5	50.3	58.1	55.5	53.0	50.5	48.0	45.5	42.8		
		(50) ペットボトル・発泡スチロール	(36)+(42)				23.9	31.6	29.7	32.0	32.8	31.7	30.7	29.7	28.7	27.7	26.4		
		(51) ダンボール	(43)				7.4	11.4	17.8	18.4	25.3	23.8	22.3	20.8	19.3	17.8	16.4		
		(52) 計	Σ[(45)~(51)]				1,817.8	1,914.3	1,854.9	1,864.7	1,879.9	1,817.0	1,759.6	1,703.4	1,648.2	1,593.9	1,538.5		

※端数処理のため合計値が合致しない箇所があります。

◆図表 3-40 本圏域のごみ排出量の実績と見通し（排出抑制後 減量化目標値）

区 分		式(H29~R3)	式(R4~9)	単 位	年 度												
					H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
		実 績			中 間 目 標			見 通 し			計 画 目 標						
人口等	(1) 行政区域内人口		推計値	人	12,557	12,425	12,171	11,996	11,827	11,656	11,486	11,315	11,145	10,973	10,803		
	(2) 計画処理区域内人口	実績	(1)と同値		12,557	12,425	12,171	11,996	11,827	11,656	11,486	11,315	11,145	10,973	10,803		
	(3) 計画収集人口		設定値		12,557	12,425	12,171	11,996	11,827	11,656	11,486	11,315	11,145	10,973	10,803		
	(4) 自家処理人口		(2)-(3)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
原単位	(5) 燃えるごみ	(32)/(3)/365	推計値	g/人日	518.0	517.8	520.7	526.4	513.5	506.3	498.1	489.9	481.7	473.5	465.3		
	(6) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/(3)/365	推計値		23.6	27.6	29.4	29.1	28.0	27.9	27.3	26.7	26.0	25.4	24.9		
	(7) 空きビン	(34)/(3)/365	推計値		21.1	20.9	22.5	22.9	20.9	19.7	19.1	18.4	17.7	17.1	16.4		
	(8) 資源ごみ	Σ[(9)]	推計値		7.6	10.5	13.4	13.0	10.8	11.2	11.0	10.8	10.7	10.5	10.4		
	(9) ペットボトル・発泡スチロール	(36)/(3)/365	推計値		7.6	10.5	13.4	13.0	10.8	11.2	11.0	10.8	10.7	10.5	10.4		
	(10) 計	Σ[(5)~(9)]			571.3	576.8	586.0	591.4	574.2	565.1	555.4	545.8	536.2	526.6	517.0		
	要 日平均発生量	(11) 燃えるごみ	(32)/365		(5)×(3)	t/日	6.51	6.45	6.35	6.32	6.09	5.90	5.72	5.54	5.37	5.20	5.03
		(12) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)/365		(6)×(3)		0.31	0.34	0.36	0.35	0.34	0.32	0.31	0.30	0.29	0.28	0.27
		(13) 空きビン	(34)/365		(7)×(3)		0.27	0.27	0.29	0.28	0.25	0.23	0.22	0.21	0.20	0.19	0.18
		(14) 資源ごみ	Σ[(15)]		(8)×(3)		0.11	0.14	0.16	0.17	0.14	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11
(15) ペットボトル・発泡スチロール		(50)/365	(9)×(3)	0.11	0.14		0.16	0.17	0.14	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11		
(16) 計		Σ[(16)~(18)]		7.20	7.20		7.16	7.12	6.82	6.58	6.38	6.17	5.98	5.79	5.59		
処 直接搬入ごみ	(17) 燃えるごみ	(38)/365		t/日	2.93	3.18	2.93	3.11	3.38	3.31	3.23	3.15	3.07	2.99	2.90		
	(18) 燃えないごみ・空き缶・その他	(39)/365			0.20	0.42	0.47	0.41	0.35	0.35	0.34	0.34	0.33	0.33	0.33		
	(19) 粗大ごみ	(40)/365			0.16	0.27	0.20	0.22	0.21	0.20	0.19	0.18	0.17	0.17	0.16		
	(20) 資源ごみ	Σ[(42)~(43)]			0.06	0.13	0.17	0.18	0.18	0.18	0.17	0.17	0.16	0.16	0.15		
	(21) ペットボトル・発泡スチロール	(42)/365			0.01	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
	(22) ダンボール	(43)/365			0.05	0.10	0.14	0.15	0.16	0.16	0.15	0.15	0.14	0.14	0.13		
	(23) 計	Σ[(27)~(29)]			3.35	4.00	3.77	3.92	4.12	4.04	3.93	3.84	3.73	3.65	3.54		
	理 合計	(24) 燃えるごみ	(11)+(17)			t/年	9.44	9.63	9.28	9.43	9.47	9.21	8.95	8.69	8.44	8.19	7.93
		(25) 燃えないごみ・空き缶・その他	(12)+(18)				0.51	0.76	0.83	0.76	0.69	0.67	0.65	0.64	0.62	0.61	0.60
		(26) 空きビン	(13)				0.27	0.27	0.29	0.28	0.25	0.23	0.22	0.21	0.20	0.19	0.18
(27) 粗大ごみ		(19)		0.16	0.27		0.20	0.22	0.21	0.20	0.19	0.18	0.17	0.17	0.16		
(28) 資源ごみ		(14)+(20)		0.17	0.27		0.33	0.35	0.32	0.31	0.30	0.29	0.28	0.28	0.26		
(29) ペットボトル・発泡スチロール		(15)+(21)		0.12	0.17		0.19	0.20	0.16	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	0.13		
(30) ダンボール		(22)		0.05	0.10		0.14	0.15	0.16	0.16	0.15	0.15	0.14	0.14	0.13		
(31) 計		Σ[(24)~(30)]		10.55	11.20		10.93	11.04	10.94	10.62	10.31	10.01	9.71	9.44	9.13		
量 年間発生量		(32) 燃えるごみ	(5)×(3)×365	実績	t/年		2,374.5	2,353.2	2,324.3	2,305.0	2,221.4	2,154.0	2,088.1	2,023.1	1,959.4	1,896.5	1,834.9
	(33) 燃えないごみ・空き缶・その他	(6)×(3)×365	112.9			125.6	131.2	127.7	125.3	118.6	114.3	110.1	106.0	101.9	98.3		
	(34) 空きビン	(7)×(3)×365	97.1			99.4	105.0	100.6	90.4	83.9	79.9	76.0	72.2	68.4	64.5		
	(35) 資源ごみ	(8)×(3)×365	39.8			52.6	60.1	61.3	51.2	47.5	46.1	44.8	43.5	42.2	41.0		
	(36) ペットボトル・発泡スチロール	(9)×(3)×365	39.8			52.6	60.1	61.3	51.2	47.5	46.1	44.8	43.5	42.2	41.0		
	(37) 計	Σ[(32)~(36)]	2,624.4	2,630.7		2,620.6	2,594.5	2,488.4	2,404.0	2,328.4	2,254.0	2,181.0	2,109.0	2,038.7			
	(38) 燃えるごみ	推計値	実績	1,069.4		1,160.0	1,070.3	1,136.9	1,235.5	1,206.5	1,177.5	1,148.5	1,119.5	1,090.5	1,059.0		
	(39) 燃えないごみ・空き缶・その他	推計値		72.8		152.9	171.7	149.8	128.3	126.8	125.3	123.8	122.3	120.8	119.5		
	(40) 粗大ごみ	推計値		57.9		99.3	74.1	81.2	75.7	72.7	69.7	66.7	63.7	60.7	57.9		
	(41) 資源ごみ	推計値		23.9		46.0	62.2	66.1	68.9	66.8	64.7	62.6	60.5	58.3	55.9		
	(42) ペットボトル・発泡スチロール	推計値		5.3		10.2	12.1	11.6	8.8	8.6	8.3	8.1	7.9	7.7	7.3		
	(43) ダンボール	推計値		18.7		35.8	50.0	54.5	60.2	58.3	56.4	54.5	52.6	50.7	48.6		
	(44) 計	Σ[(38)~(43)]	1,224.0	1,458.1		1,378.2	1,433.9	1,508.4	1,472.8	1,437.1	1,401.5	1,365.9	1,330.3	1,292.3			
	(45) 燃えるごみ	(32)+(38)		3,443.9		3,513.1	3,394.6	3,441.9	3,456.9	3,360.5	3,265.6	3,171.6	3,078.9	2,987.0	2,893.9		
	(46) 燃えないごみ・空き缶・その他	(33)+(39)		185.7		278.5	302.9	277.4	253.6	245.4	239.6	233.9	228.3	222.7	217.8		
	(47) 空きビン	(34)		97.1		99.4	105.0	100.6	90.4	83.9	79.9	76.0	72.2	68.4	64.5		
(48) 粗大ごみ	(40)		57.9	99.3	74.1	81.2	75.7	72.7	69.7	66.7	63.7	60.7	57.9				
(49) 資源ごみ	(35)+(41)		63.8	98.5	122.2	127.4	120.1	114.3	110.8	107.4	104.0	100.5	96.9				
(50) ペットボトル・発泡スチロール	(36)+(42)		45.1	62.8	72.2	72.9	60.0	56.1	54.4	52.9	51.4	49.9	48.3				
(51) ダンボール	(43)		18.7	35.8	50.0	54.5	60.2	58.3	56.4	54.5	52.6	50.7	48.6				
(52) 計	Σ[(45)~(51)]		3,848.4	4,088.7	3,998.8	4,028.5	3,996.7	3,876.8	3,765.6	3,655.5	3,547.0	3,439.3	3,331.0				

※端数処理のため合計値が合致しない箇所があります。